

津市立安東小学校給食受入施設改修工事

設計図

図面リスト					
図面番号	建築	図面番号	電気設備	図面番号	機械設備
A-01	特記仕様書01	E-01	電気設備特記仕様書1	M-01	機械設備 特記仕様書1
A-02	特記仕様書02	E-02	電気設備特記仕様書2	M-02	機械設備 特記仕様書2
A-03	特記仕様書03	E-03	電気設備特記仕様書3	M-03	図示記号・衛生器具表
A-04	特記仕様書04	E-04	電灯設備・自動火災報知設備 1F平面図(改修前)	M-04	平面詳細図1F(改修前) 給排水衛生設備
A-05	特記仕様書05	E-05	電灯設備・自動火災報知設備 1F平面図(改修後)	M-05	平面詳細図1F(改修後) 給排水衛生設備
A-06	特記仕様書06	E-06	コンセント・動力設備 1F平面図(改修前)	M-06	空調機器表・換気機器表
A-07	附近見取図、配置図	E-07	コンセント・動力設備 1F平面図(改修後)	M-07	平面詳細図1F(改修前) 空調換気設備
A-08	仕上表、1階平面図兼内部仮設計画図	E-08	弱電設備 1F・2F平面図(改修後)	M-08	平面詳細図1F(改修後) 空調換気設備
A-09	平面詳細図1F(改修前)				
A-10	平面詳細図1F(改修後)				
A-11	矩計図(改修前・後)				
A-12	展開図01(改修前)				
A-13	展開図01(改修後)				
A-14	展開図02(改修後)				
A-15	天井伏図1F(改修前)				
A-16	天井伏図1F(改修後)				
A-17	建具配置図・建具表(改修前・後)				
A-18	雑詳細図(改修後)				
A-19	雑詳細図(改修後)				
A-20	外構図(改修前)				
A-21	外構図(改修後)				

NISSHIN
SEKKEI

日新設計株式会社

防水改修工事

Table with 4 columns: 工法, 種別, 施工箇所, 仕上塗料. Includes sections for 1 アスファルト防水, 2 改質アスファルトシート防水, 3 合成高分子系ルーフィングシート防水, 4 塗膜防水, 5 既存防水層表面の仕上塗料の除去.

Table with 4 columns: 種類, 材種, 施工箇所, 改修工法. Includes sections for 6 シーリング, 7 とい, 8 アルミニウム製笠木, 4 外壁改修工事.

Table with 4 columns: 改修工法等, 種類, 材料, 仕様. Includes sections for 3 改修工法等, 4.2.2(a) through 4.5.16, and a table for 4.5.17 regarding tile specifications.

原図: A2

Table with 2 columns: 備考, 内容. Includes drawing title '津市立安東小学校給食受入施設改修工事' and drawing number '特記仕様書02'.

Logo and name for NISSHIN SEKKEI 日新設計株式会社. Includes address: 三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹.

Table with 2 columns: 備考, 内容. Includes drawing title '津市立安東小学校給食受入施設改修工事' and drawing number '特記仕様書02'. Includes a table for 4.5.17 regarding tile specifications.

<p>④ 塗り仕上げ (4.2.2)(j) (表4.2.4(その1) (その2))</p>	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>呼び名</th> <th>仕上げ形状</th> <th>工法</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">薄付け仕上塗材</td> <td rowspan="2">外装薄塗材E</td> <td>・ 砂壁状 ・ ゆず形状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ゆず形状 ・ さざ波状</td> <td>ローラー</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">厚付け仕上塗材</td> <td rowspan="2">外装厚塗材C</td> <td>・ 吹出し ・ 凸部処理</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起し ・ 掻き落とし</td> <td>こて</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">複層仕上塗材</td> <td rowspan="2">外装厚塗材S 外装厚塗材E</td> <td>・ 吹出し ・ 凸部処理</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起し</td> <td>・ こて ・ ローラー</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">可とう形改修用仕上塗材</td> <td rowspan="2">複層塗材E 複層塗材F 防水形複層塗材E 防水形複層塗材F</td> <td>・ ゆず形状</td> <td>ローラー</td> </tr> <tr> <td>・ 凸部処理 ・ 凹凸模様</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">可とう形改修用仕上塗材</td> <td rowspan="2">可とう形改修塗材E 可とう形改修塗材F 可とう形改修塗材E</td> <td>・ 平たん状 ・ さざ波状 ・ ゆず形状</td> <td>ローラー</td> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> </table> <p>・ 外装厚塗Cの上塗材がセメントスタッコ以外の場合 材所要量(kg/m²)</p> <p>(4.7.2) (表4.7.1) マスチック塗材塗り ・ A種 ・ B種 仕上材塗り()</p> <p>(表4.2.5) 複層仕上塗材の上塗材の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>樹脂種類</th> <th>溶剤種類</th> <th>外観</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ アクリル系</td> <td>・ 溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック</td> </tr> <tr> <td>・ 弱溶剤系 ・ 水系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ シリカ系</td> <td>・ 水系</td> <td>・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ 溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ ポリウレタン系</td> <td>・ 弱溶剤系 ・ 水系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ 溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ アクリルシリコン系</td> <td>・ 弱溶剤系 ・ 水系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ 溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ ふっ素系</td> <td>・ 弱溶剤系 ・ 水系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ 水系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> </table> <p>(注) 艶無及びメタリックは、可とう形複層塗材、防水形複層塗材、及び可とう形改修塗材には適用しない。</p> <p>(4.6.3) 既存塗膜等の除去及び下地処理</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>処理範囲</th> </tr> <tr> <td>・ サンダー工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 高圧水洗工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 塗膜よく離れ工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 水洗い工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ テッキブラシ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 高圧ポンプ</td> <td></td> </tr> </table> <p>(4.6.4) 下地調整 ・ O-1 ・ O-2 ・ OM2 ・ E ・ ()</p>	種類	呼び名	仕上げ形状	工法	薄付け仕上塗材	外装薄塗材E	・ 砂壁状 ・ ゆず形状	吹付け	・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ゆず形状 ・ さざ波状	ローラー	・ ()		・ ()	・ ()	厚付け仕上塗材	外装厚塗材C	・ 吹出し ・ 凸部処理	吹付け	・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起し ・ 掻き落とし	こて	複層仕上塗材	外装厚塗材S 外装厚塗材E	・ 吹出し ・ 凸部処理	吹付け	・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起し	・ こて ・ ローラー	・ ()		・ ()	・ ()	可とう形改修用仕上塗材	複層塗材E 複層塗材F 防水形複層塗材E 防水形複層塗材F	・ ゆず形状	ローラー	・ 凸部処理 ・ 凹凸模様	吹付け	・ ()		・ ()	・ ()	可とう形改修用仕上塗材	可とう形改修塗材E 可とう形改修塗材F 可とう形改修塗材E	・ 平たん状 ・ さざ波状 ・ ゆず形状	ローラー	・ ()	・ ()	樹脂種類	溶剤種類	外観	・ アクリル系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック	・ 弱溶剤系 ・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無	・ シリカ系	・ 水系	・ 艶無	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック	・ ポリウレタン系	・ 弱溶剤系 ・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック	・ アクリルシリコン系	・ 弱溶剤系 ・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック	・ ふっ素系	・ 弱溶剤系 ・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無	工法	処理範囲	・ サンダー工法		・ 高圧水洗工法		・ 塗膜よく離れ工法		・ 水洗い工法		・ テッキブラシ		・ 高圧ポンプ		<p>7 網戸 (5.2.3)(e)</p> <p>8 樹脂製建具 (5.3.2)~(5.3.5) (表5.3.1)~(表5.3.3)</p> <p>9 鋼製建具 (5.4.2)</p> <p>(5.4.3)</p> <p>(5.4.4)</p> <p>10 鋼製軽量建具 (5.5.2) (5.5.5) (5.2.2)(b) (5.5.3) (5.5.4) (5.7.3)(a) (5.2.3)(a)</p> <p>11 ステンレス製建具 (5.6.2) (5.4.2)</p> <p>(5.6.3)</p> <p>(5.6.4)</p> <p>(5.6.5)</p> <p>12 建具用金物 (5.7.2)</p> <p>(5.7.4)</p> <p>13 自動ドア開閉装置 (5.8.2)</p> <p>(5.8.3) (表5.8.3)</p> <p>(5.8.3)(f)</p> <p>14 自閉式上吊り引戸装置 (5.9.3)</p> <p>15 重量シャッター (5.10.2)</p> <p>(5.10.2)(c) (表5.10.1)</p> <p>(5.10.2)(f) (5.10.3)</p> <p>16 軽量シャッター (5.11.2) (表5.11.1)</p> <p>(5.11.4)</p>	<p>17 オーバーヘッドドア (5.12.2)</p> <p>18 板ガラス (5.13.2)(a) (5.13.4)</p> <p>19 ガラス留め材 (5.13.2)(b)</p> <p>20 ガラス溝の寸法、形状等 (5.13.3)</p> <p>21 ガラスブロック積み (5.13.5)</p> <p>⑥ 内装改修工事</p> <p>1 一般事項 (6.1.3)(b)</p> <p>(6.1.3)(c)</p> <p>(6.1.3)(f)</p> <p>2 既存床撤去、下地補修 (6.2.2)(a)(1) (6.2.2)(a)(2) (6.2.2)(c)</p> <p>3 既存壁撤去、下地補修 (6.3.2)</p> <p>4 木下地等 (6.5.1)(c) (表6.5.1) (6.5.2)(a)(2) (表6.5.2) (6.5.2)(b)(1) (6.5.2)(b)(2) (6.5.2)(b)(3) (表6.5.3) (6.5.2)(b)(3) (6.5.2)(c)(i)</p>	<p>型式及び機構 セクション材料 ・ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ</p> <p>耐風圧強度(Pa以上)</p> <p>開閉方式 ・ ハランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式</p> <p>収納形式 ・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形</p> <p>ガイドレール ・ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板</p> <p>図示(図面番号: A-17)</p> <p>シーリング ・ ガスケット()</p> <p>図示(図面番号:) 改修標準仕様書(表5.13.1)による</p> <p>ガラスブロック 表面形状、寸法、厚さ ・ 図示(図面番号:) 金属枠、補修材 ・ 図示(図面番号:)</p> <p>化粧カバー ・ 図示(図面番号:) 工法 ・ 図示(図面番号:) 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する。</p> <p>既存閉仕切壁の撤去に伴う 取り合い部分の改修範囲</p> <table border="1"> <tr> <th>改修部分</th> <th>改修範囲</th> </tr> <tr> <td>・ 天井</td> <td>・ 図示(図面番号:)</td> </tr> <tr> <td>・ 壁</td> <td>・ 図示(図面番号:)</td> </tr> <tr> <td>・ 床</td> <td>・ 図示(図面番号:)</td> </tr> </table> <p>天井内の既存壁の撤去に伴う 取り合い部の天井改修範囲 ・ 図示(図面番号: A-10) ・ ()</p> <p>天井の撤去に伴う 取り合い部の壁面改修 ・ 図示(図面番号: A-10) ・ ()</p> <p>既存床仕上げ材の除去等 浮き、欠損部等による下地モルタルの除去 ○ 行う ・ 行わない</p> <p>合成樹脂塗料床材の除去等 ・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法</p> <p>改修後の床の清掃範囲 ○ 施工範囲及び施工によって汚れが生じた範囲 ・ ()</p> <p>既存閉仕切壁の撤去に伴う 他の構造体の補修工法 ○ (材料塗)</p> <p>表面仕上げ ・ A種 ・ B種 ・ C種</p> <p>木材の含水率(工事現場搬入時、質量比)</p> <table border="1"> <tr> <th>部材名称</th> <th>種別</th> </tr> <tr> <td>下地材</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> </table> <p>製材 「製材の日本農林規格」による製材</p> <table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>樹種・寸法・形状</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> </tr> <tr> <td>下地用 針葉樹製材</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td>造作用 針葉樹製材</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td>広葉樹製材</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> </table> <p>「製材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、難燃処理及び含水率 ・ 図示(図面番号:) 造作材の材面の品質 ・ A種 ・ ()</p> <table border="1"> <tr> <th>部 位</th> <th>樹 種</th> <th>県 産 材</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>代用樹種の使用 ・ 禁止する ・ 禁止しない</p> <p>造作用集材 「集材の日本農林規格」による造作用集材</p> <table border="1"> <tr> <th>部 位</th> <th>樹 種 ・ 寸 法</th> <th>見付け材面の等級</th> <th>厚 さ</th> </tr> <tr> <td>造作用集材</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td>化粧張り造作用集材</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td>化粧張り構造用造作用集材</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ ()</td> <td></td> </tr> </table>	改修部分	改修範囲	・ 天井	・ 図示(図面番号:)	・ 壁	・ 図示(図面番号:)	・ 床	・ 図示(図面番号:)	部材名称	種別	下地材	・ A種 ・ B種	造作材	・ A種 ・ B種	部位	樹種・寸法・形状	等級	含水率	下地用 針葉樹製材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()	造作用 針葉樹製材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()	広葉樹製材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()	部 位	樹 種	県 産 材										部 位	樹 種 ・ 寸 法	見付け材面の等級	厚 さ	造作用集材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()		化粧張り造作用集材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()		化粧張り構造用造作用集材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()		<p>原 因: A2</p>
	種類	呼び名	仕上げ形状	工法																																																																																																																																																			
薄付け仕上塗材	外装薄塗材E	・ 砂壁状 ・ ゆず形状	吹付け																																																																																																																																																				
		・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ゆず形状 ・ さざ波状	ローラー																																																																																																																																																				
・ ()		・ ()	・ ()																																																																																																																																																				
厚付け仕上塗材	外装厚塗材C	・ 吹出し ・ 凸部処理	吹付け																																																																																																																																																				
		・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起し ・ 掻き落とし	こて																																																																																																																																																				
複層仕上塗材	外装厚塗材S 外装厚塗材E	・ 吹出し ・ 凸部処理	吹付け																																																																																																																																																				
		・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起し	・ こて ・ ローラー																																																																																																																																																				
・ ()		・ ()	・ ()																																																																																																																																																				
可とう形改修用仕上塗材	複層塗材E 複層塗材F 防水形複層塗材E 防水形複層塗材F	・ ゆず形状	ローラー																																																																																																																																																				
		・ 凸部処理 ・ 凹凸模様	吹付け																																																																																																																																																				
・ ()		・ ()	・ ()																																																																																																																																																				
可とう形改修用仕上塗材	可とう形改修塗材E 可とう形改修塗材F 可とう形改修塗材E	・ 平たん状 ・ さざ波状 ・ ゆず形状	ローラー																																																																																																																																																				
		・ ()	・ ()																																																																																																																																																				
樹脂種類	溶剤種類	外観																																																																																																																																																					
・ アクリル系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック																																																																																																																																																					
	・ 弱溶剤系 ・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無																																																																																																																																																					
・ シリカ系	・ 水系	・ 艶無																																																																																																																																																					
	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック																																																																																																																																																					
・ ポリウレタン系	・ 弱溶剤系 ・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無																																																																																																																																																					
	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック																																																																																																																																																					
・ アクリルシリコン系	・ 弱溶剤系 ・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無																																																																																																																																																					
	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック																																																																																																																																																					
・ ふっ素系	・ 弱溶剤系 ・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無																																																																																																																																																					
	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無																																																																																																																																																					
工法	処理範囲																																																																																																																																																						
・ サンダー工法																																																																																																																																																							
・ 高圧水洗工法																																																																																																																																																							
・ 塗膜よく離れ工法																																																																																																																																																							
・ 水洗い工法																																																																																																																																																							
・ テッキブラシ																																																																																																																																																							
・ 高圧ポンプ																																																																																																																																																							
改修部分	改修範囲																																																																																																																																																						
・ 天井	・ 図示(図面番号:)																																																																																																																																																						
・ 壁	・ 図示(図面番号:)																																																																																																																																																						
・ 床	・ 図示(図面番号:)																																																																																																																																																						
部材名称	種別																																																																																																																																																						
下地材	・ A種 ・ B種																																																																																																																																																						
造作材	・ A種 ・ B種																																																																																																																																																						
部位	樹種・寸法・形状	等級	含水率																																																																																																																																																				
下地用 針葉樹製材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()																																																																																																																																																				
造作用 針葉樹製材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()																																																																																																																																																				
広葉樹製材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()																																																																																																																																																				
部 位	樹 種	県 産 材																																																																																																																																																					
部 位	樹 種 ・ 寸 法	見付け材面の等級	厚 さ																																																																																																																																																				
造作用集材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()																																																																																																																																																					
化粧張り造作用集材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()																																																																																																																																																					
化粧張り構造用造作用集材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()																																																																																																																																																					
備考	<p>NISSHIN SEKKEI 目新設計株式会社 三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹</p>		<p>DATE</p> <p>SCALE</p> <p>Nb Scale</p> <p>A-03</p>																																																																																																																																																				

<p>(6.5.2)(c)(ii) 「集材材の日本農林規格」以外の製材 種類、寸法、見付け材面の品質 ・ 図示(図面番号:) 含水率 ・ 1.5%以下 ・ ()</p> <p>(6.5.2)(d)(i) 造作用単板積層材 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 部位 厚さ 表面の品質 防虫処理 造作用単板積層材 (図面番号:) ・ () ・ ()</p> <p>(6.5.2)(d)(ii) 「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 厚さ、表面の品質、防虫処理 ・ 図示(図面番号:) 含水率 ・ 1.4%以下 ・ ()</p> <p>(6.5.2)(e) 床張り用合板等 部材名称 樹種名 接着の程度 等級 板面の品質 防虫処理等 厚さ 耐水用合板 珧 1類 2級 C-D 12</p> <p>(6.5.5)(a) ・ 防腐、防蟻処理 適用部位 図示(図面番号:) 保存処理性能区分() 薬剤の塗布等の処理方法() ボード 原料接着剤への防腐、防蟻処理()</p> <p>(6.5.5)(b) ・ 防虫処理 ・ 図示(図面番号:)</p> <p>⑤ 軽量鉄骨天井下地 (6.6.2) 野縁等の種類 (表6.6.1) ① 屋内 ② 19形 ・ () ③ 屋外 ④ 25形 ・ () (6.6.3) 形式及び寸法 ・ 屋外 ・ 図示(図面番号:) ・ 耐震天井 ・ 図示(図面番号:) ・ ふところ≧1.5m ・ 改修標準仕様書(6.6.4)(h) ・ 図示(図面番号:) ・ ふところ>3m ・ 図示(図面番号:)</p> <p>(6.6.4) 既存埋込マイナースート ① 使用する ・ 使用しない 既存埋込マイナースート、あと施工アンカーの引き抜き試験 ・ 行う(図示(図面番号:)) ・ 行わない 耐震天井 ・ 図示(図面番号:)</p> <p>⑥ 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3) スタッド、ランナー等の種類 ① 図示</p> <p>⑦ ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り (6.8.2) 材料 ① ビニル床シート【JISA 5705(ビニル系床材)】 種類の記号 色柄 厚さ 備考 FS マブル 2.5mm</p> <p>(6.8.2)(a) ・ ビニル床タイル【JISA 5705(ビニル系床材)】 種類の記号 厚さ 備考</p> <p>(6.8.2)(c)(1) ・ 帯電防止床シート又は床タイル 種類 性能 厚さ 備考</p> <p>(6.8.2)(c)(2) ・ 視覚障害者用床タイル 種類 形状 備考 ビニル床タイル 300×300×7.0mm</p> <p>(6.8.2)(c)(3) ・ 耐動荷重性床シート 種類 性能 厚さ 備考</p> <p>(6.8.2)(c)(4) ・ 防滑性床シート又は床タイル 種類 性能 厚さ 備考</p> <p>(6.8.2)(e) ・ ゴム床タイル 種類 厚さ 備考</p> <p>(6.8.3)(a) 工法 下地 ① モルタル下地 ・ 木下地 ・ その他()</p> <p>(6.8.3)(b) ビニル床シート張り 熱溶接工法 ① 適用する ・ 適用しない</p>	<p>8 カーペット敷き (6.9.3)(a) ① 織じゅうたん (表6.9.1) 種類 バイルの形状 帯電性 品質の程度 ・ A種 ・ カット/バイル ・ 人体帯電圧 3KV以下 ・ () ・ B種 ・ ループ/バイル ・ C種 ・ カット、ループ併用 ・ () 品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。(以下同様)</p> <p>(6.9.3)(b) ・ タフテッドカーペット (表6.9.2) バイルの形状 バイル長(mm) 帯電性 工法 品質の程度 ・ カット/バイル ・ 人体帯電圧 3KV以下 ・ 全面接着工法 ・ () ・ ループ/バイル ・ () ・ カット、ループ併用 ・ ()</p> <p>(6.9.3)(c) ・ ニードルパンチカーペット (表6.9.3) 厚さ(mm) 帯電性 備考 ・ 人体帯電圧 3KV以下 ・ ()</p> <p>(6.9.3)(d) ・ タイルカーペット (表6.9.2) 種類 バイルの形状 寸法(mm) 総厚さ(mm) 品質の程度 ・ カット/バイル ・ 500×500 ・ 6.5 ・ () ・ ループ/バイル ・ ()</p> <p>(6.9.3)(e) 下敷き材 ・ 第2種第2号、厚さ8mm ・ ()</p> <p>(6.9.3)(f) 見切り、押え金物 ・ 適用する(材質、種類及び形状) ・ 図示(図面番号:)</p> <p>(6.9.4)(e) 敷き方 平場 ・ 市松敷き ・ 樹葉敷き ・ () 階段部分 ・ 市松敷き ・ 樹葉敷き ・ ()</p> <p>9 合成樹脂塗床 (6.10.3)(b)(1) 弾性ウレタン樹脂系塗床の仕上げ種類、工程 (表6.10.4) ・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ</p> <p>(6.10.3)(b)(2) エポキシ樹脂系塗床の仕上げ種類 (6.10.3)(c) ・ 潮気耐し展べ仕上げ ・ 平滑 ・ 防滑 ・ 厚膜耐し展べ仕上げ ・ 平滑 ・ 防滑 (表6.10.5) ・ 樹脂モルタル仕上げ ・ 平滑 ・ 防滑 ・ 潮気型塗床仕上げ(平滑)</p> <p>10 フローリング張り (6.11.4) ・ 釘留め工法 (表6.11.2) 材料 種類 仕様 ・ フローリングボード (根太張り) ・ A種 ・ なら ・ 複合フローリング (根太張り) ・ B種 ・ () ・ C種 防湿処理 ・ 図示(図面番号:)</p> <p>(6.11.5) ・ 接着工法 (表6.11.3) 材種 仕様 厚さ 大きさ (表6.11.5) ・ フローリングボード(直張り) ・ フローリングブロック(直張り) ・ 複合1種フローリング(直張り) ・ A種 ・ なら ・ 複合2種フローリング(直張り) ・ B種 ・ () ・ 複合3種フローリング(直張り) ・ C種 ・ モザイクパーケット(直張り) ・ () ・ () ・ () 緩衝材 ・ 合成樹脂発泡シート ・ 図示(図面番号:)</p> <p>(6.11.6)(2) 塗装 ・ ウレタン樹脂系ニス塗り(1液形、B種) ・ オイルステイン塗りのうえワックス塗り ・ 生地そのままワックス塗り ・ ()</p> <p>11 畳敷き (6.12.2) 種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種</p> <p>⑧ せつこうボード、その他ボード及び合板張り (6.13.2) 材種 種類 厚さ(mm) ① せつこうボード 壁 ・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃) 天井 ② 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃)</p> <p>(6.13.2)(h) ・ 化粧せつこうボード ・ トラバーチン模様 ・ 9.5(準不燃) ・ 木目模様 ・ 9.5(準不燃) ・ ロックウール化粧吸音板 ・ 普通 ・ 9 ・ 立体模様 ① けい酸カルシウム板 ② タイプ II 0.8FK ③ 6 ④ 強化石膏ボード ⑤ 15</p> <p>(6.13.2)(h) 遮音シール材 ・ シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド</p> <p>(6.13.3)(e)(3) 合板類の張付け ・ A種 ① B種</p> <p>(6.13.3)(g)(1) せつこうボードの目地工法 (表6.13.5) ・ 縦目処理 ① 突付け ② 目透し</p> <p>13 壁紙張り (6.14.2) 施工箇所 品質 防火性能 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 不燃 ・ 準不燃</p>	<p>14 モルタル塗り (6.15.3) 既製目地材 ・ 使用する(形状:) 床の目地 ・ 図示(図面番号:)</p> <p>15 タイル張り (6.16.2) 伸縮調整目地 (6.16.3) 位置 ・ 図示(図面番号:)</p> <p>(6.16.3)(b)(1) タイルの種類 施工箇所 形状寸法 工法 用途による区分 すべり抵抗性 区分 I類(磁器) II類(せつ器) III類(陶器) 役物 標準・特注色 耐凍害・性有無</p> <p>16 セルフレベリング材塗り (6.17.2) ・ せつこう系 ・ セメント系 (6.17.3) 塗厚() mm</p> <p>17 断熱材 (9.5.2) 断熱材打込み工法 種類 ・ A種 ・ B種 種類 種類 厚さ(mm) 施工箇所 ・ ビーズ法ポリスチレンフォーム ・ 押出法ポリスチレンフォーム ・ A種硬質ウレタンフォーム ・ フェノールフォーム</p> <p>(9.5.3) 断熱材現場発泡工法(吹付硬質ウレタンフォーム) 種類 厚さ(mm) 施工箇所 ・ A種1 ・ 窓回り等の断熱材材補修部分、ルーフトレン回りの床版 ・ A種2 ・ () ・ A種3 ・ ()</p> <p>⑦ 塗装改修工事 ① 材料 (7.1.3)(b) ② 下地調整 (7.2.1~7.2.7) (表7.2.1)~(表7.2.7) ③ 錆止め塗料塗り (7.3.2) (7.3.3) (表7.3.3)~(表7.3.4) ④ 合成樹脂調整ペイント塗り(SF) (7.4.2) (7.4.3)~(表7.4.3) ⑤ クリヤラッカー塗り(OL) (7.5.2) (表7.5.1) ⑥ アクリル樹脂系非水分散形塗料(NF) (7.7.2) (表7.7.1) ⑦ 耐候性塗料塗り(IP) (7.8.2)~(7.8.4) (表7.8.1)~(表7.8.3)</p> <p>① 材料 (7.1.3)(b) ② 下地調整 (7.2.1~7.2.7) (表7.2.1)~(表7.2.7) ③ 錆止め塗料塗り (7.3.2) (7.3.3) (表7.3.3)~(表7.3.4) ④ 合成樹脂調整ペイント塗り(SF) (7.4.2) (7.4.3)~(表7.4.3) ⑤ クリヤラッカー塗り(OL) (7.5.2) (表7.5.1) ⑥ アクリル樹脂系非水分散形塗料(NF) (7.7.2) (表7.7.1) ⑦ 耐候性塗料塗り(IP) (7.8.2)~(7.8.4) (表7.8.1)~(表7.8.3)</p> <p>既存塗膜の除去範囲(塗り替えてR/B種の場合) ① 図示 種類 種類 種類 種類 種類 種類 下地 種類 種類 種類 種類 種類 ① 木部 ・ F4種 ・ F5種 ・ F6種 ・ 鉄鋼面 ・ F4種 ・ F5種 ・ F6種 ・ 垂鉛めっき鋼面 ・ F4種 ・ F5種 ・ F6種 ② モルタル、プaster面 ・ F4種 ・ F5種 ・ F6種 ・ 行う ・ コンクリート、ALCパネル面 ・ F4種 ・ F5種 ・ F6種 ・ 行う ・ コンクリート、押出成形セメント板面 ・ F4種 ・ F5種 ・ F6種 ・ 行う ・ せつこうボード、その他ボード面 ・ F4種 ・ F5種 ・ F6種</p> <p>錆止め塗料塗り (7.3.2) 種類 (7.3.3) ・ 垂鉛めっき鋼面 (表7.3.3) ・ A種 ・ B種 ・ C種 錆止め塗料塗り種類 (表7.3.4) 種類 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 垂鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種</p> <p>④ 合成樹脂調整ペイント塗り(SF) (7.4.2) (7.4.3)~(表7.4.3) 種類 種類 下地 種類 種類 種類 種類 ① 木部 ・ A種 ② B種 ・ C種 ・ 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 垂鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種</p> <p>⑤ クリヤラッカー塗り(OL) (7.5.2) (表7.5.1) 種類 木部 ・ A種 ・ B種</p> <p>⑥ アクリル樹脂系非水分散形塗料(NF) (7.7.2) (表7.7.1) 種類 ・ A種 ・ B種</p> <p>⑦ 耐候性塗料塗り(IP) (7.8.2)~(7.8.4) (表7.8.1)~(表7.8.3) 上塗り等級 ・ 1級(フッ素系) ・ 2級(シリコン系) ・ 3級(ポリウレタン系) 種類 下地 種類 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 垂鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 コンクリート面及び押出成形セメント板面 ・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種</p>	<p>原図: A2</p> <p>備考</p>
---	--	---	-------------------------

8 つや有合成樹脂 エマルジョンペ イント塗り (EP-G) (7.9.2)~(7.9.5) (表7.9.1)~ (表7.9.4)	種別	下地	種別
	コンクリート、モルタル、 プaster、せつこうボード、 その他ボード面	・ A種 ・ B種 ・ C種 しみ止め ()	
	木部 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種	
	鉄鋼面 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種	
亜鉛めっき鋼面 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種		
9 合成樹脂エマ ルジョンペイン ト塗り (EP) (7.10.2) (表7.10.1)	種別	・ A種 ・ B種 ・ C種 しみ止め ()	
10 合成樹脂エマ ルジョン模様塗 料塗り (EP-T) (7.11.2) (表7.11.1)	種別	・ A種 ・ B種 ・ C種	
11 ウレタン樹脂 ワニス塗り (UC) (7.12.2) (表7.12.1)	種別	・ A種 ・ B種	
12 ラッカーエナ メル塗り (LE) (7.13.2) (表7.13.1)	種別	・ A種 ・ B種	
13 木造保護塗料 塗り (WP) (7.15.2) (表7.15.1)	種別	・ A種 ・ B種	
8 の 1 耐震改修工事 共通事項	(一般事項) ① 適用範囲 (8.1.1) (8.1.2)	工事内容 ・ 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 ・ 鉄骨プレースの設置工事 ・ 柱補強工事 (溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法) ・ 柱補強工事 (鋼板巻き工法又は帯板巻き付け工法) ・ 柱補強工事 (連続繊維補強工法) ・ 耐震スリット新設工事 ・ 免震改修・制震改修工事 工事種別 ○ 鉄筋工事 ○ あと施工アンカー工事 ○ コンクリート工事 ・ 鉄骨工事 ・ グラウト工事 ・ 連続繊維補強工事 ・ スリット新設工事 ・ 免震改修・制震改修工事 ○ 基礎工事	
	② 既存部分の撤去等 (8.21.2) (8.22.2) (8.23.2) (8.24.2)	撤去の範囲 ○ 図示 ・ 新設のコンクリート、モルタル、グラウト材、鉄骨、連続繊維に接する部分 ・ 既存コンクリート撤去範囲に面する部分 () 既存設備機器、配管撤去、新設、移設等処置 本工事の範囲 ○ 本工事の範囲として図示された設備機器及び配管、壁等の撤去及び処分 ・ 設備機器及び配管、壁等の撤去及び処分は本工事の範囲としない。 () 撤去範囲 ○ 図示	
8 の 2 耐震改修工事 撤去工事	① 既存部分の撤去 (8.21.2) (8.22.2) (8.23.2) (8.24.2)	既存構造体の撤去 撤去範囲 ○ 図示 はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置 既存鉄筋コンクリート内の鉄筋の切断 鉄筋の切断 範囲 適用 ・ 既存鉄筋は切断せず残す ・ 図示 (図面番号:) ・ 全ての撤去部分 ・ () ・ 適用なし ・ コンクリートの撤去範囲の周囲 より一定長さを残し切断する ・ 図示 ・ 全ての撤去部分 ・ () ・ 適用なし ○ コンクリート撤去範囲の鉄筋は 切断する ○ 切断せず残す範囲を除く撤去する既 存鉄筋コンクリートの範囲 ・ ()	
	② 既存部分の撤去 (8.21.2) (8.22.2) (8.23.2) (8.24.2)	はつりだした鉄筋の処置 ・ 鉄筋に損傷を与えないよう適切な養生を施す。 () はつりだした鉄骨の処置 ・ コンクリート等を除去し鉄面を表す。 () 既存構造体コンクリート面の表層目荒らし 目荒らし程度 ○ 平均深さ5~10mmで最大深さ15mm程度の凹凸を100mm間隔程度で施す ・ 図示 (図面番号:)	
(既存部分の処理) 3 既存構造体コン クリートの表層 目荒らし (8.21.3) (8.22.3)			

8 の 3 耐震改修工事 鉄筋工事

① 鉄筋 (8.2.1) (表8.2.1)	材料 改修標準仕様書(表8.2.1)による
	種別 径(mm) ○ SD295A D10、13 ・ SD345 ・ SD390 ・ ()
2 溶接金網 (8.2.2)	網目の形状、寸法及び鉄線の径 網目の形状、寸法 鉄線の径(mm)
3 加工 (8.3.2)	90°未満の折曲げの内法直径 () 図示(図面番号:)
④ 鉄筋の継手及び 定着 (8.3.4)	径 部位 重ね継手 ○ D 16以下 ガス圧接 ・ D 19以上
	主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ ・ 改修標準仕様書(8.3.4)(c)(1)による ・ 図示(図面番号:) 継手位置 ・ 各部配筋参考図による ・ 図示(図面番号:) 先組み工法等 ・ 柱・梁主筋の継手を同一箇所にはける 鉄筋の定着長さ ○ 改修標準仕様書(表8.3.4)による ・ 図示(図面番号:) 帯筋組立の形 ・ 図示(図面番号:) 軽量コンクリートで土に接する部分 ・ 無し ・ 有り 適用箇所 () 最小かぶり厚さ (30) mm 耐久性上不利な部分 (塩害を受けるおそれのある部分等) ・ 無し ・ 有り 適用箇所 () 最小かぶり厚さ () mm
⑤ 鉄筋のかぶり厚 さ及び間隔 (8.3.5)	○ 図示 (A-18)
⑥ 各部配筋	圧接完了後の試験 超音波探傷試験 ・ 行う ・ 行わない
7 ガス圧接 (8.3.8)	割製補強筋の適用 種類 材料 材種 径 本数・ピッチ 適用箇所 ・ スパイラル筋 ・ 鉄筋コンクリート用 棒鋼 R235 ・ 6Φ スパイラルの径(mm) ・ 図示 ・ () ・ () ・ () () () (図面番号:) ・ () ・ () ・ () スパイラルのピッチ(mm) () 8 割製補強筋 (8.21.6) (8.22.7) ・ はしご筋 ・ 鉄筋コンクリート用 棒鋼(異形鉄筋) ・ 295A ・ 10 壁内方向筋 () ・ () ・ () 壁面外方向筋 ()
9 鉄筋の機械式継 手及び溶接継手 (8.4.2) (8.4.3)	・ 機械式継手 種類 () 工法 () 品質の確認方法 () 修正方法 () 鉄筋相互のあき () mm ・ 溶接継手 工法 () 品質の確認方法 () 修正方法 () 鉄筋相互のあき () mm
⑧ の 4 耐震改修工事 コンクリート工事	コンクリートの種別 ○ I類 ・ II類
	① コンクリートの 種類及び強度 (8.1.3) (8.1.4) (8.9.1) (8.9.2) (表8.9.1)
③ コンクリートの 材料 (8.2.5) (表8.2.3)	軽量コンクリートの設計基準強度 設計基準強度F _c [N/mm ²] 種別 適用範囲 気乾単位容積質量 所要気乾単位容積質量 スランプ ・ 36 ・ 1類 18 ・ () ・ 2類
	合板せき板を用いる場合の打放し仕上げの種別 ・ A種 ○ B種 ・ C種 セメントの種類 ○ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 () ・ 高炉セメントB種又はフライアッシュセメントB種 適用箇所 ()

8 の 4 耐震改修工事 コンクリート工事

④ 混和材料 (8.2.5)	骨材 アルカリシリカ反応性による区分 ○ AL (コンクリート中のアルカリ総量を規制) ・ A (安全と認められる骨材を使用) なお、ALで規制できない場合は、Aとし、その試験前、施工前、工事中1回/6ヶ月かつ産地が変わった場合に信頼できる試験機関で行い、試験に用いる骨材の採取は、請負者立ち会いのもと、試験を行う者が生コン工場のストックヤードから試料を採取して試験を行うこと。 ・ 特殊な骨材の使用 ・ フェロニッケルスラグ細骨材 ・ 鋼スラグ細骨材 ・ 電気炉処理スラグ骨材 ・ 再生骨材I ○ 混和剤 混和剤の種類 ○ 改修標準仕様書(8.2.5)(d)(1)による ・ 図示(図面番号:) ・ 混和材 混和材の種類 ・ 改修標準仕様書(8.2.5)(d)(2)による ・ 図示(図面番号:)
	⑤ 調査管理強度 (8.2.5) (8.8.3) (8.10.2)
⑥ 型枠 (8.2.7) (8.7.8)	材料 ○ 複合合板(厚さ ○ 12mm ・ ()) スリーブ ・ 改修標準仕様書(8.2.7)(a)(2)(i)による ・ 改修標準仕様書(8.2.7)(a)(2)(ii)による ・ 材種() 規格()
7 暑中コンクリ ート (8.10.2)	構造体強度補正值(S) ・ 6N/mm ² ・ ()
⑧ 無筋コンクリ ート (8.11.1)	構造体強度補正值(S) ○ 18N/mm ² ・ () スランプ ○ 15cm ・ 18cm ・ ()
(現場打ち鉄筋コン クリート壁の増設工 事、溶接金網巻き工 法及び溶接閉鎖フ ープ巻き工法) 9 コンクリートの 打込み工法等 (8.21.8) (8.23.5)	部位別のコンクリートの打設工法の指定 補強工法 打設工法 部位 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 ・ 流込み工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(1)及び(b) ・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ () ・ 圧入工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(2)及び(c) ・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ () ○ 工法指定なし ・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ () ・ () ・ 図示(図面番号:) ・ () 鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法 ・ 流込み工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(1)及び(b) ・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ () ・ 圧入工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(2)及び(c) ・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ () ・ 工法指定なし ・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ () ・ 図示(図面番号:) ・ ()
(8.23.6)	柱頭鉄筋の横間留留の型枠 ・ 発泡プラスチック保温材等を埋込む () 柱頭鉄筋の横間寸法 ・ 図示(図面番号:) 打ち込みコンクリート又はグラウト材の厚さ ・ 図示(図面番号:) ・ 60mm ・ () ・ 図示(図面番号:)
10 増設壁工事後の 仕上げ (8.21.10) (8.23.7)	

⑧ の 5 耐 震 改 修 工 事 あ と 施 工 ア ン カ ー 工 事	(あと施工アンカー)	種類 ① 金属系 セットの方式 ② 本体打込み式(③ 改良型 ・ 従来型) 径及び埋込み深さ ・ 図示(図面番号:) 引張耐力 ・ 図示(図面番号:) せん断耐力 ・ 図示(図面番号:) 接合筋の種類・ 径・ 長さ ・ 図示(図面番号:) ④ 接着系 カプセル型回転 ・ 打撃式 ⑤ 有機系 ・ 無機系 径及び埋込み深さ ・ 図示(図面番号: A-18) 引張耐力 ・ 図示(図面番号:) せん断耐力 ・ 図示(図面番号:) アンカー筋の種類 ・ 図示(図面番号:) アンカー筋の新設壁内への定着長さ ・ 図示(図面番号:) あと施工アンカーの性能確認試験 ・ 行う ⑥ 行わない
	② あと施工アンカーの施工 (8. 12. 2) (8. 12. 4) (8. 12. 5)	穿孔 埋込み配管等の深査の方法 ・ 鉄筋探知機 金属探知機により検査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。 ・ はつり出しによる。 ・ () あと施工アンカーの施工確認試験 ・ 実施する ⑦ 実施しない 確認試験方法 ・ 改修標準仕様書(8. 11. 5) による ・ () 確認強度 ・ ()
	場所打ちコンクリート壁の増設工事 3 シアコネクター (8. 28. 2) (8. 28. 3)	場所打ちコンクリート 壁の増設に用いる既存部とのシアコネクター 種類 ・ 金属系あと施工アンカーの異形差筋アンカー ・ 接着系あと施工アンカーの異形差筋アンカー 径[mm] ・ D10 長さ[mm] ・ 増打壁厚→40 ・ () 埋込み深さ[mm] ・ 5d(d シアコネクターの径)以上 ・ () 間隔[mm] ・ 500×500 シアコネクターとセパレーターの兼用 ・ 兼用してもよい ・ 兼用しない ・ ()

8 の 6 耐 震 改 修 工 事 鉄 骨 工 事	1 鉄骨製作工場 (8. 1. 5)	株日本鉄骨評価センター又は株全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工事の性能評価基準」に定めるグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 ・ J ・ R ・ M ・ H ・ S
	2 施工管理技術者 (8. 1. 5)	施工管理技術者(鉄骨製作管理技術者、鉄骨工事管理責任者等)の適用 ・ しない ・ する
	3 鋼材 (8. 2. 8)	材質・ 形状及び寸法 ・ 図示(図面番号:)
	4 高カポルト (8. 2. 9) (8. 14. 2) (8. 14. 7)	高カポルトの適用 ・ トルシア形高カポルト 2種(S10T) ・ JIS系高カポルト 2種(F10T) ・ 溶融処理めっき高カポルト 1種(F8T相当)

8 の 7 耐 震 改 修 工 事 グ ラ ウ ト 工 事	(グラウト 工事) 1 モルタル及びグラウト材 (8. 2. 6) (8. 2. 11) (表 8. 2. 5) (表 8. 2. 10)	構造体用モルタル ・ 改修標準仕様書(8. 2. 6)及び(8. 2. 11)による。 無収縮モルタル ・ 改修標準仕様書(8. 2. 11)(a)による ・ () グラウト材 ・ 改修標準仕様書(8. 2. 11)(b)による。								
	現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事及び鉄骨プレースの設置工事等) 2 既存構造体との取合部の処理方法 (8. 21. 9) (8. 22. 7)	増設の現場打ち鉄筋コンクリート 壁と既存構造体との取合部の処理方法 <table border="1"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>処理方法</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>増設壁の上部</td> <td>グラウト材を注入 ・ ()</td> <td>寸法は図示による ・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> </tbody> </table>	部位	処理方法	備考	増設壁の上部	グラウト材を注入 ・ ()	寸法は図示による ・ ()	・ ()	・ ()
部位	処理方法	備考								
増設壁の上部	グラウト材を注入 ・ ()	寸法は図示による ・ ()								
・ ()	・ ()	・ ()								

8 の 8 耐 震 改 修 工 事 柱 補 強 工 事	(連続繊維補強工事) 1 連続繊維シート等による工法 (8. 24. 1)	連続繊維による補強、補修工法 ・ (財) 日本建築防災協会の評価を受けた工法とする。 ・ ()
	2 連続繊維シート及び含湿接着樹脂等の材料 (8. 23. 6)	連続繊維の材料 ・ () 工法 ・ () 引張強度(含湿硬化後) ・ () ヤング係数(含湿硬化後) ・ ()
	3 連続繊維シートの施工準備	仕上げモルタルの除去 ・ 既存構造体表面まで除去する ・ モルタル除去は行わない ・ ()

8 の 9 耐 震 補 強 工 事 ス リ ット 新 設 工 事 免 震 改 修 工 事	耐震スリット新設工事 1 スリットの種類 (8. 25. 1) (8. 25. 2)	付着強度試験 ・ 実施する(JIS A6909に準拠する) 試験数量() ・ 実施しない 耐震スリットの種類及び形状 完全スリット の形状 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>一般型</th> <th>一面せん断型</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>記号</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>形状</td> <td>・ 図示(図面番号:)</td> <td>・ 図示(図面番号:)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>幅W(mm)</td> <td>・ 図示(図面番号:)</td> <td>・ 図示(図面番号:)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>既存鉄筋の処理</td> <td>・ () ・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい ・ ()</td> <td>・ () ・ 切断してよい ・ ()</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 部分スリット の形状 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>片側スリット</th> <th>両面スリット</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>記号</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>形状</td> <td>・ 図示(図面番号:)</td> <td>・ 図示(図面番号:)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>幅W(mm)</td> <td>・ 図示(図面番号:)</td> <td>・ 図示(図面番号:)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>目地部の残存厚さ ts(mm)</td> <td>・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下 ・ ()</td> <td>・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下 ・ ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td>既存鉄筋の処理</td> <td>・ 存置する ・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい ・ ()</td> <td>・ 存置する ・ 切断してよい ・ ()</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		一般型	一面せん断型		記号				形状	・ 図示(図面番号:)	・ 図示(図面番号:)		幅W(mm)	・ 図示(図面番号:)	・ 図示(図面番号:)		既存鉄筋の処理	・ () ・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい ・ ()	・ () ・ 切断してよい ・ ()			片側スリット	両面スリット		記号				形状	・ 図示(図面番号:)	・ 図示(図面番号:)		幅W(mm)	・ 図示(図面番号:)	・ 図示(図面番号:)		目地部の残存厚さ ts(mm)	・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下 ・ ()	・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下 ・ ()		既存鉄筋の処理	・ 存置する ・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい ・ ()	・ 存置する ・ 切断してよい ・ ()	
		一般型	一面せん断型																																											
記号																																														
形状	・ 図示(図面番号:)	・ 図示(図面番号:)																																												
幅W(mm)	・ 図示(図面番号:)	・ 図示(図面番号:)																																												
既存鉄筋の処理	・ () ・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい ・ ()	・ () ・ 切断してよい ・ ()																																												
	片側スリット	両面スリット																																												
記号																																														
形状	・ 図示(図面番号:)	・ 図示(図面番号:)																																												
幅W(mm)	・ 図示(図面番号:)	・ 図示(図面番号:)																																												
目地部の残存厚さ ts(mm)	・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下 ・ ()	・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下 ・ ()																																												
既存鉄筋の処理	・ 存置する ・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい ・ ()	・ 存置する ・ 切断してよい ・ ()																																												
8 の 10 そ の 他 工 事	1 基礎工事 (8. 28. 2) (8. 28. 3)	既存杭の撤去 ・ 図示(図面番号:) 埋戻し及び盛土の材料及び工法 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 建設発生土の処理 ・ 自由処分 ・ 処分地指定 処分地() ・ 処分地未定につき相互協議する。暫定運搬距離 8km 山留めの撤去 ・ 撤去 ・ 存置																																												

8 の 10 そ の 他 工 事	1 アスベスト含有材の処理工事 (9. 1. 1)	施工調査 ・ アスベスト含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及び資する設計図書等によりアスベストを含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査し、監督職員に報告する。 調査範囲 ・ 図示(図面番号:) ・ () 資与資料 () 分析によるアスベスト含有建材の調査 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイト、クロシドライト、トリモライト 分析方法 ・ JISA 1481-1(建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第1部 市販のレキ材からの試料採取及び定性的判定方法)による ・ JISA 1481-2(建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部 試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法)による ・ JISA 1481-3(建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第3部 アスベスト含有率のX線回折定量分析方法)による
	材料名	定性分析
・ ()	・ 箇所数()	・ 箇所数()
・ ()	・ 箇所数()	・ 箇所数()
・ ()	・ 箇所数()	・ 箇所数()
・ ()	・ 箇所数()	・ 箇所数()

サンプル数 1箇所あたり3サンプル
採取箇所 ・ 図示(図面番号:) ・ ()

アスベスト 粉じん濃度測定
測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)
・	測定1	処理作業前	処理作業室内	計 点
・	測定2		調査対象室外部の付近	計 点
・	測定3	処理作業中	処理作業室内	計 点
・	測定4		負圧・ 除じん装置の排気出口 出口吹出し風速1m/s 以下の位置	計 点
・	測定5		処理作業室外(敷地境界)	計 点
・	測定6	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	計 点
・	測定7	処理作業後シート 撤去後1週間 以降	処理作業室内	計 点
・	測定8		調査対象室外部の付近	計 点

測定方法

	測定 3	測定 1, 2, 4, 6, 7, 8	測定 5
メンブレンフィルタ 直径(mm)	25	25	47
試料の吸引流量(L/min)	・ 1 ・ ()	・ 5 ・ ()	・ 10 ・ ()
試料の吸引時間(min)	・ 5 ・ ()	・ 120 ・ ()	・ 240 ・ ()

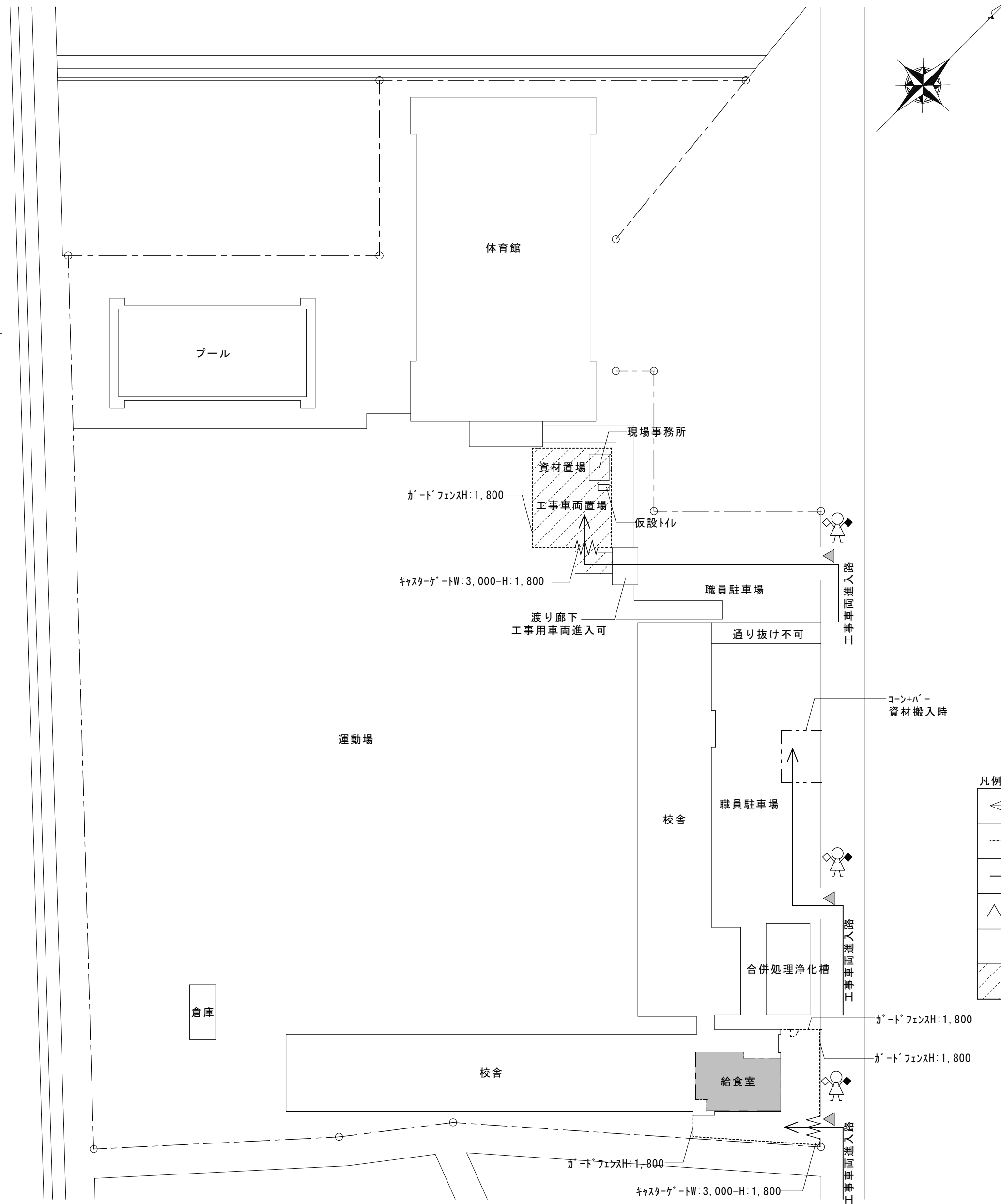
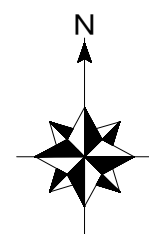
備 考		

NISSHIN
SEKKEI
目新設計株式会社
 三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

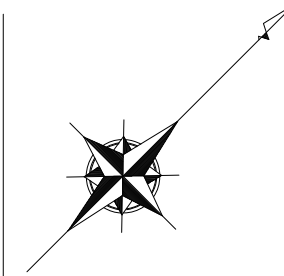
Job Title		津市立安東小学校給食受入施設改修工事		DATE
Drawing Title		特記仕様書06		SCALE
				Nb Scale
管理建築士	担当建築士			A-06
一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.215909 藤分進之	一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.327099 倉田和彦	



附近見取図



配置図兼外部仮設計画図 S:1/500



凡例

	工事車輛進入路
	仮囲い ガートフェンス H=1800
	コンパハ-
	キャストゲート
	交通誘導員 (大型車輛搬入時)
	仮設鉄板敷き (t22)

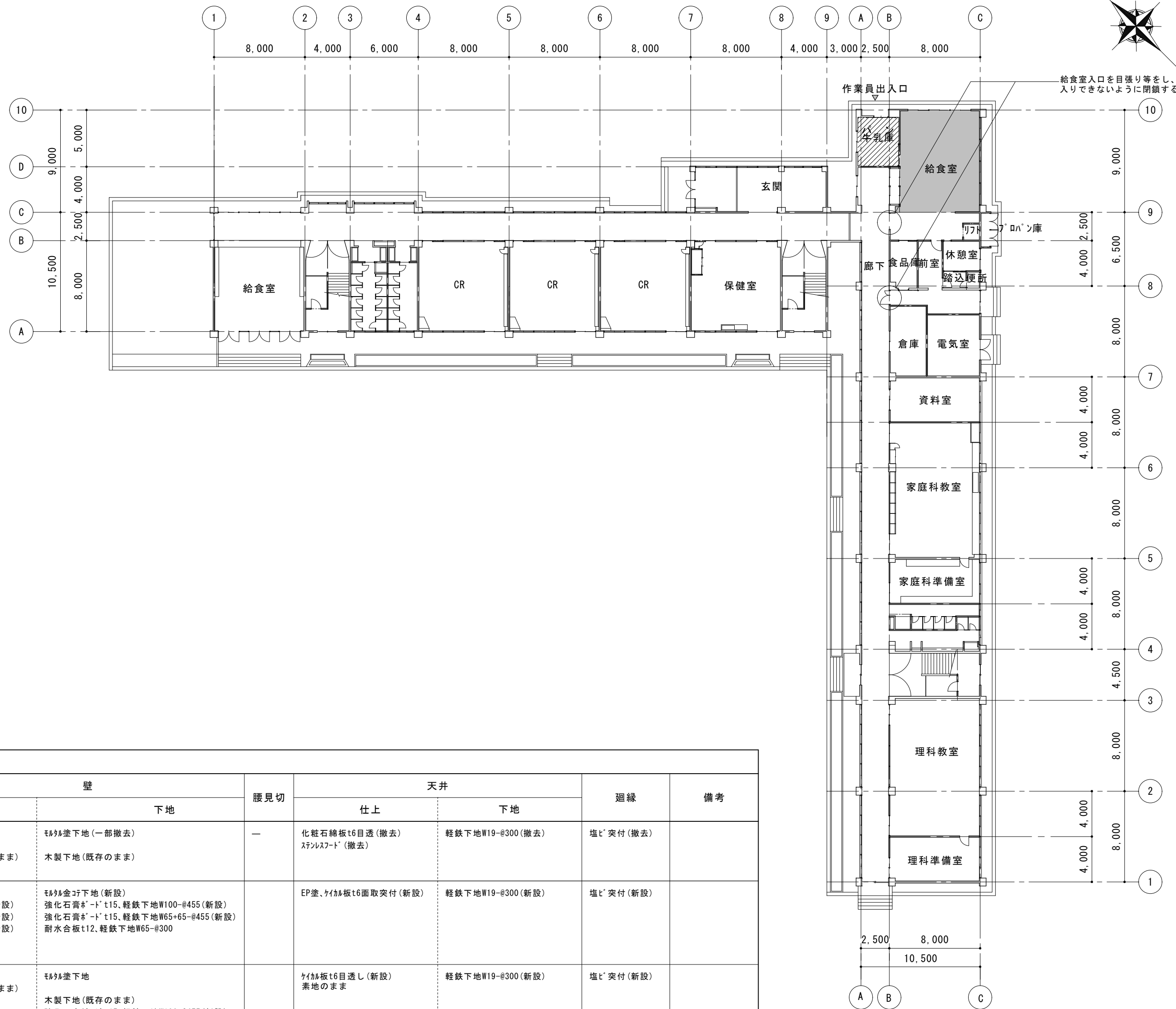
■:改修箇所

原図: A2

備考

NISSHIN
SEKKEI
日新設計株式会社
 三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

Job Title 津市立安東小学校給食受入施設改修工事		DATE	
Drawing Title 附近見取図、配置図		SCALE A2: 1/500 A3: 1/700	
管理建築士 一級建築士 No.265708 出口基樹	担当建築士 一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.265709 倉田和彦	一級建築士 No.265709 倉田和彦
		A-07	



階	状況	場所	仕上内容	
			仕上	下地
改修前	改修前	給食室前	モルタル毛引き(一部撤去) アスファルト舗装(一部撤去) 側溝(一部撤去)	壁躯体RCt150(一部撤去)
		配膳室前	複層塗材E吹付(新設) フラットフォーム(新設) アスファルト舗装(新設) 側溝(新設) 7&M製庇(新設) ポール(新設)	モルタル毛引き(一部新設)

階	状況	室名	床		巾木	壁		腰見切	天井		廻縁	備考
			仕上	下地		仕上	下地		仕上	下地		
改修前	改修前	給食室	モルタル金コシ仕上(一部撤去)	土間コンクリート(一部撤去)	—	陶器質100角タイル(一部撤去) モルタル金コシ仕上(既設のまま) 化粧石綿板t6目透(既設のまま)	モルタル塗下地(一部撤去) 木製下地(既設のまま)	—	化粧石綿板t6目透(撤去) ステンレスト(撤去)	軽鉄下地W19-#300(撤去)	塩ビ'突付(撤去)	
		配膳室	ビニル床シート2.5(新設)	モルタル金コシ下地 土間コンクリートt120(新設)	ビニル巾木H300(新設)	下地調整の上、NAD塗 EP塗、ケイカル板t6面取突付(新設) EP塗、ケイカル板t6面取突付(新設) EP塗、ケイカル板t6面取突付(新設)	モルタル金コシ下地(新設) 強化石膏'-'t15、軽鉄下地W100-#455(新設) 強化石膏'-'t15、軽鉄下地W65+65-#455(新設) 耐水合板t12、軽鉄下地W65-#300	—	EP塗、ケイカル板t6面取突付(新設)	軽鉄下地W19-#300(新設)	塩ビ'突付(新設)	
改修後	改修後	給食室	モルタル金コシ仕上(新設) 排水溝(新設) グレーチング(新設)	土間コンクリートt120(新設)	ビニル巾木H300(新設)	モルタル金コシ仕上(新設) 化粧石綿板t6目透(既設のまま) ケイカル板t6面取突付(新設) ケイカル板t6面取突付(新設)	モルタル塗下地 木製下地(既設のまま) 強化石膏'-'t15、軽鉄下地W100-#455(新設) 強化石膏'-'t15、軽鉄下地W65+65-#455(新設)	—	ケイカル板t6目透し(新設) 素地のまま	軽鉄下地W19-#300(新設)	塩ビ'突付(新設)	

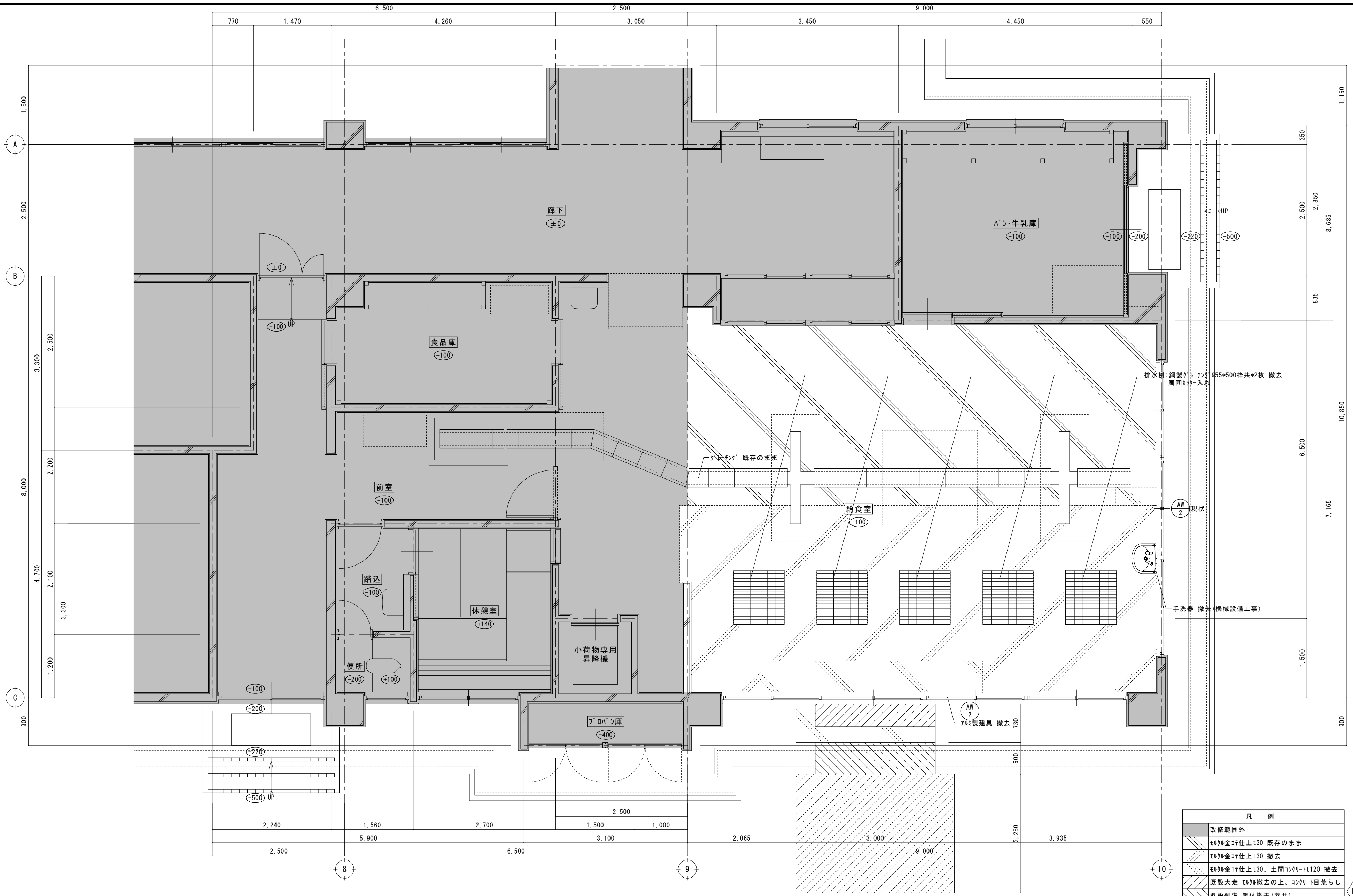
1階平面図兼内部仮設計画図 S:1/300

	工事範囲を示す
	床養生を示す(シート+ベニヤ板t12)

備 考	

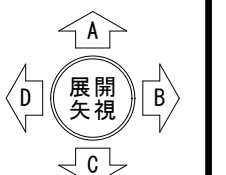
NISSHIN
SEKKEI
日新設計株式会社
 三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

Job Title	津市立安東小学校給食受入施設改修工事				原図: A2
DATE					
SCALE					
Drawing Title	仕上表、1階平面図兼内部仮設計画図				A2: 1/300 A3: 1/420
管理建築士		担当建築士			
一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.215909 藤分進之	一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.265709 倉田和彦		A-08



凡例	
[Pattern]	改修範囲外
[Pattern]	モルタル仕上t30 既存のまま
[Pattern]	モルタル仕上t30 撤去
[Pattern]	モルタル仕上t30、土間コンクリートt120 撤去
[Pattern]	既設犬走 モルタル撤去の上、コンクリート目荒らし
[Pattern]	既設側溝 躯体撤去(蓋共)
[Pattern]	既設アスファルト舗装 撤去(砕石共)
※撤去部周囲カッター入れ	

平面詳細図1F 1/50



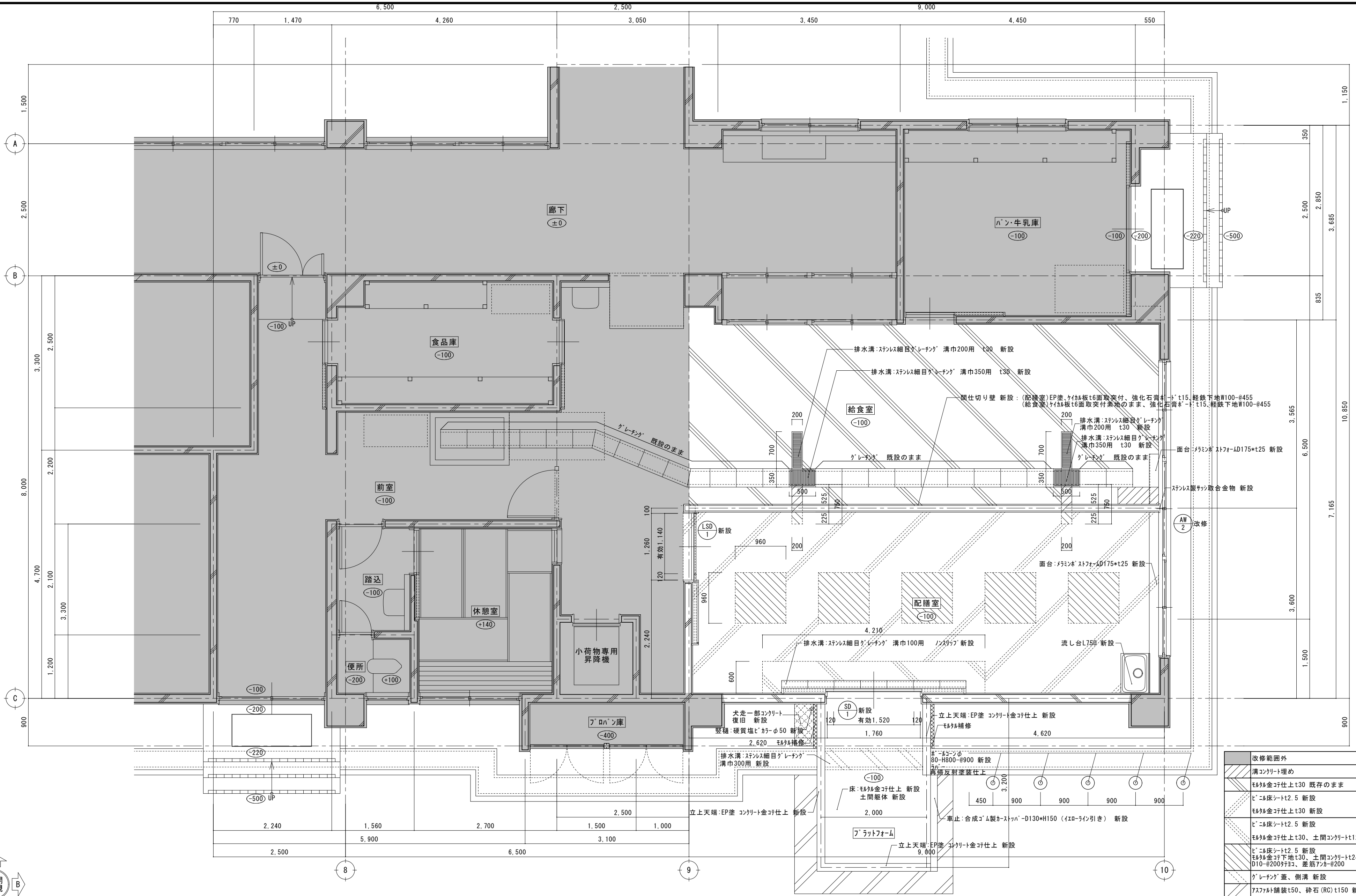
原図: A2

備考	
備	

NISSHIN
SEKKEI
日新設計株式会社
 三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

Job Title	津市立安東小学校給食受入施設改修工事			
Drawing Title	平面詳細図1F(改修前)			
管理建築士	担当建築士			
一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.215909 藤分憲之	一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.277099 倉田和彦	

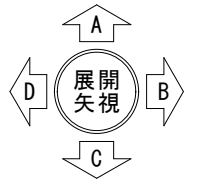
DATE	
SCALE	A2: 1/50 A3: 1/70
	A-9



改修範囲外	
	溝コンクリート埋め
	モルタル金子仕上 t30 既存のまま
	ビニル床シート2.5 新設
	モルタル金子仕上 t30 新設
	ビニル床シート2.5 新設
	モルタル金子仕上 t30、土間コンクリート t120 新設
	ビニル床シート2.5 新設
	モルタル金子下地 t30、土間コンクリート t240 新設 D10-φ200の筋交い、差筋φ100-φ200
	グレーチング 蓋、側溝 新設
	アスファルト舗装 t50、砕石 (Rc) t150 新設
	モルタル補修 新設
	犬走一部コンクリート復旧 新設

平面詳細図 1F 1/50

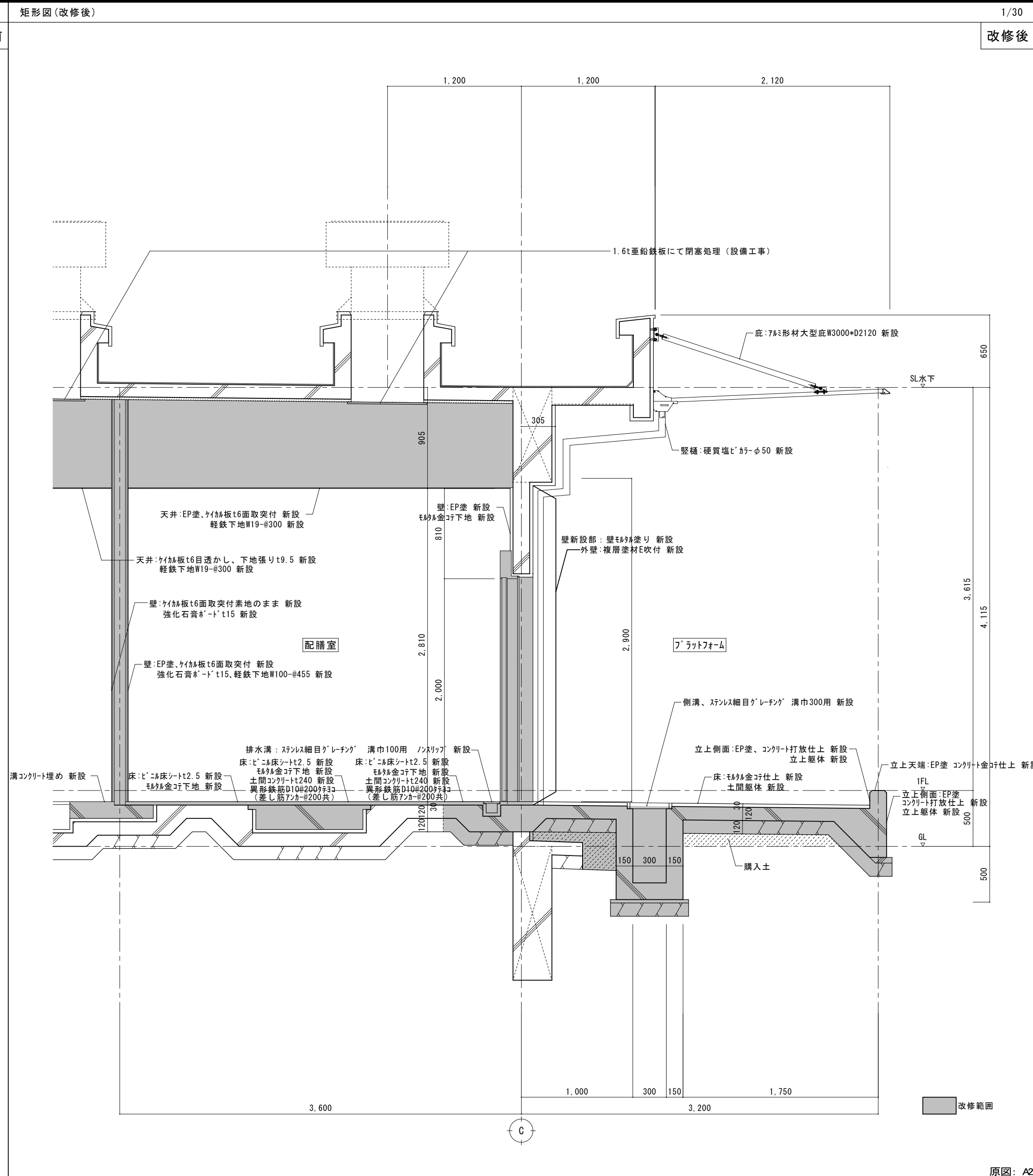
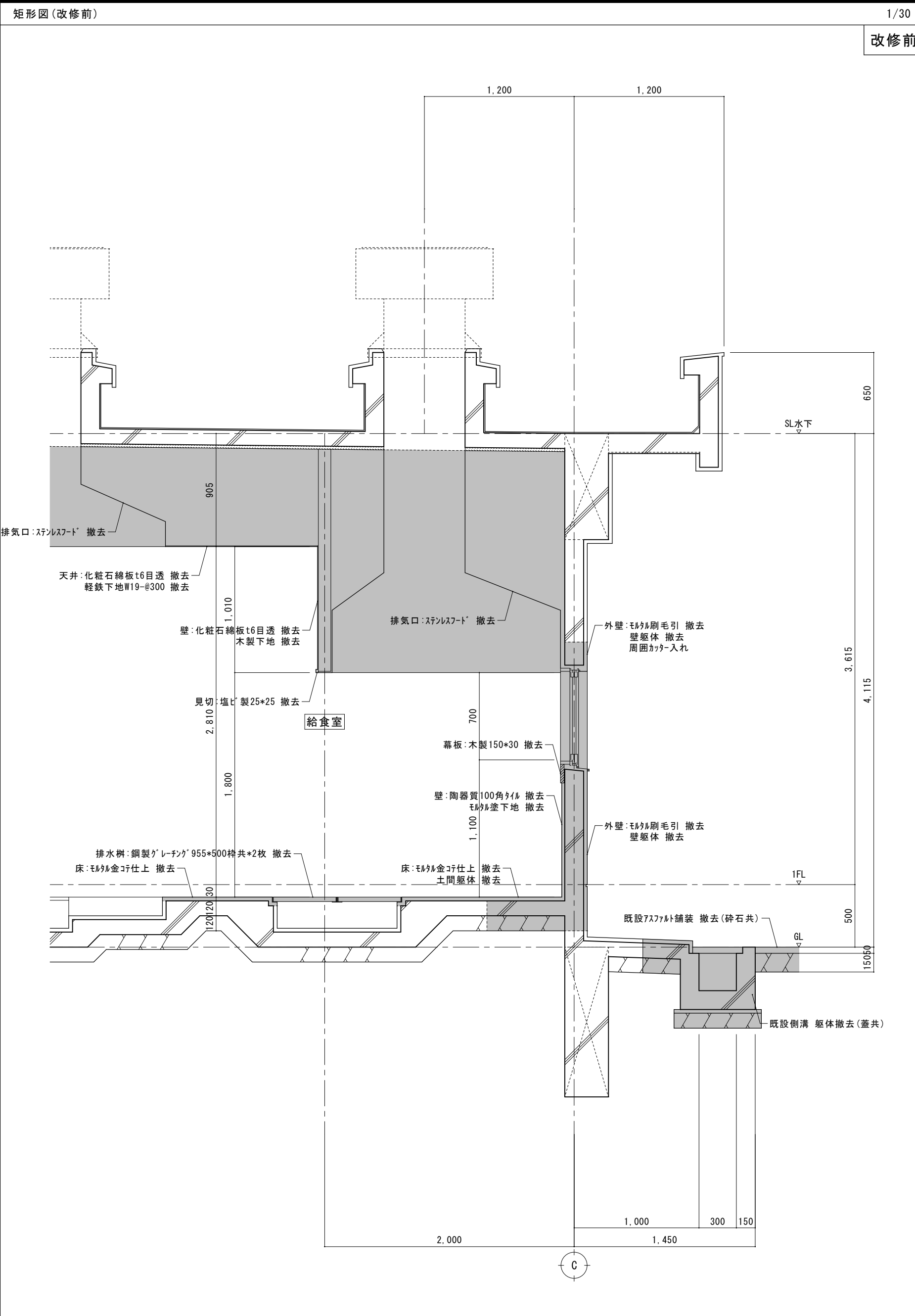
原図: A2



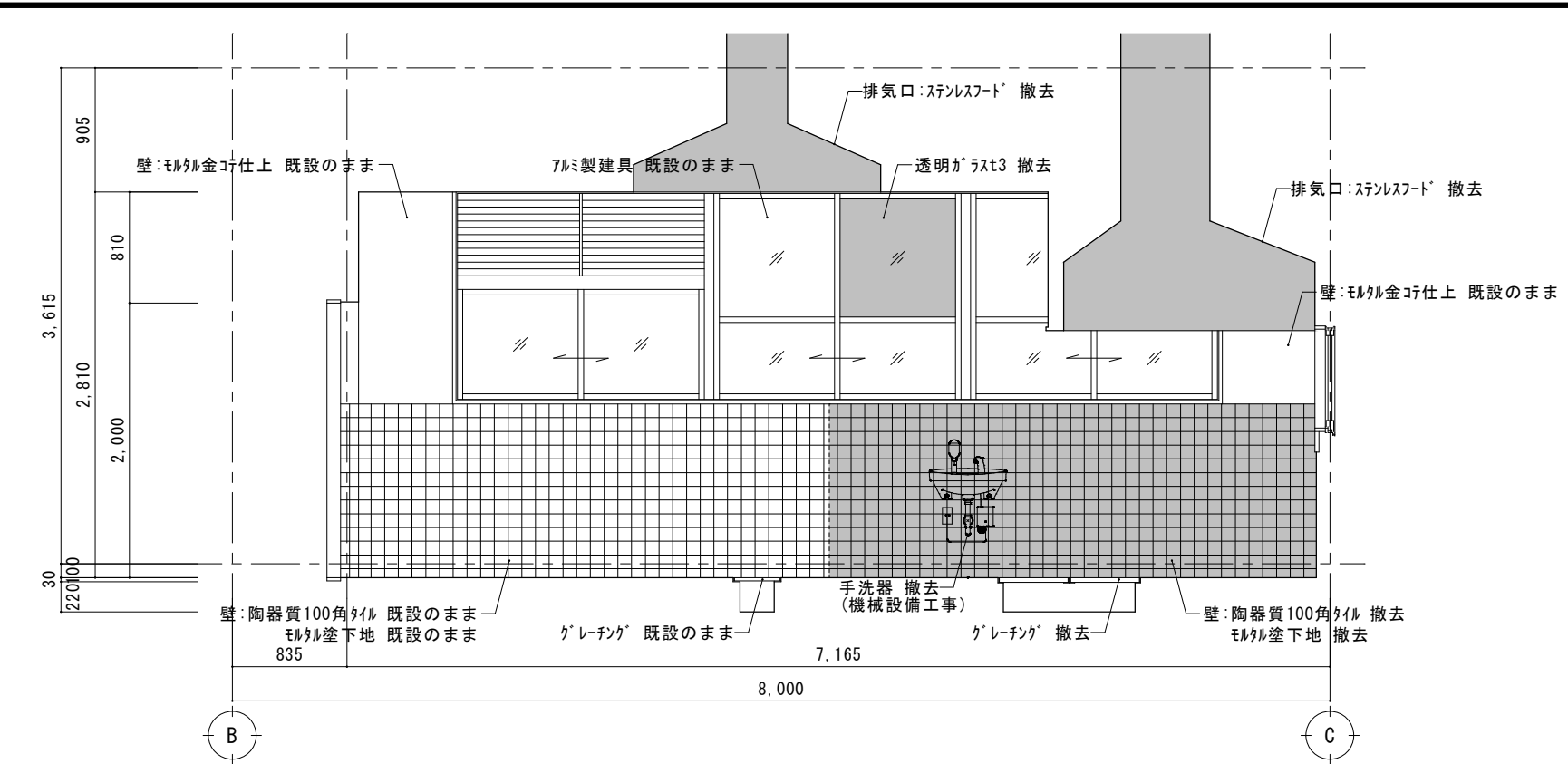
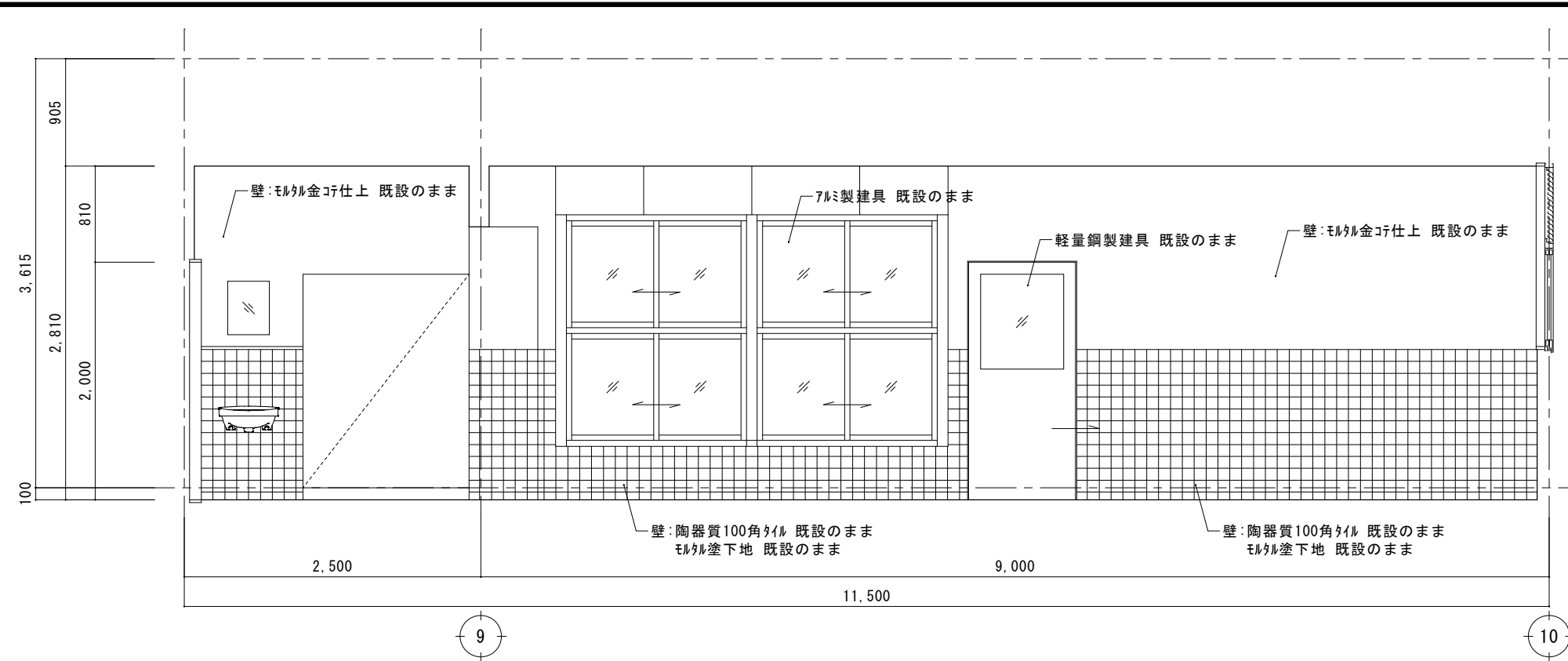
備考

NISSHIN
SEKKEI
日新設計株式会社
 三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

Title		DATE	
津市立安東小学校給食受入施設改修工事			
Drawing Title		SCALE	
平面詳細図 1F (改修後)		A2: 1/50 A3: 1/70	
Management Architect		Responsible Architect	
管理建築士	一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.265708 倉田和彦
A-10			



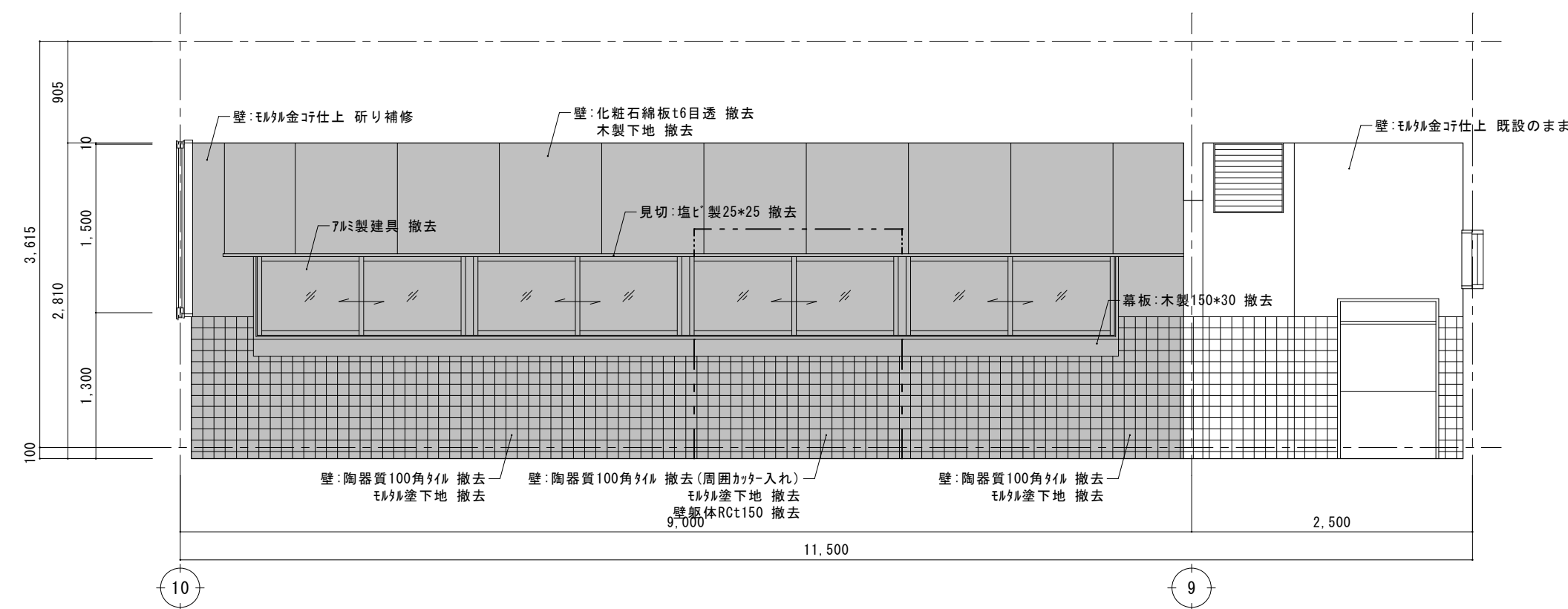
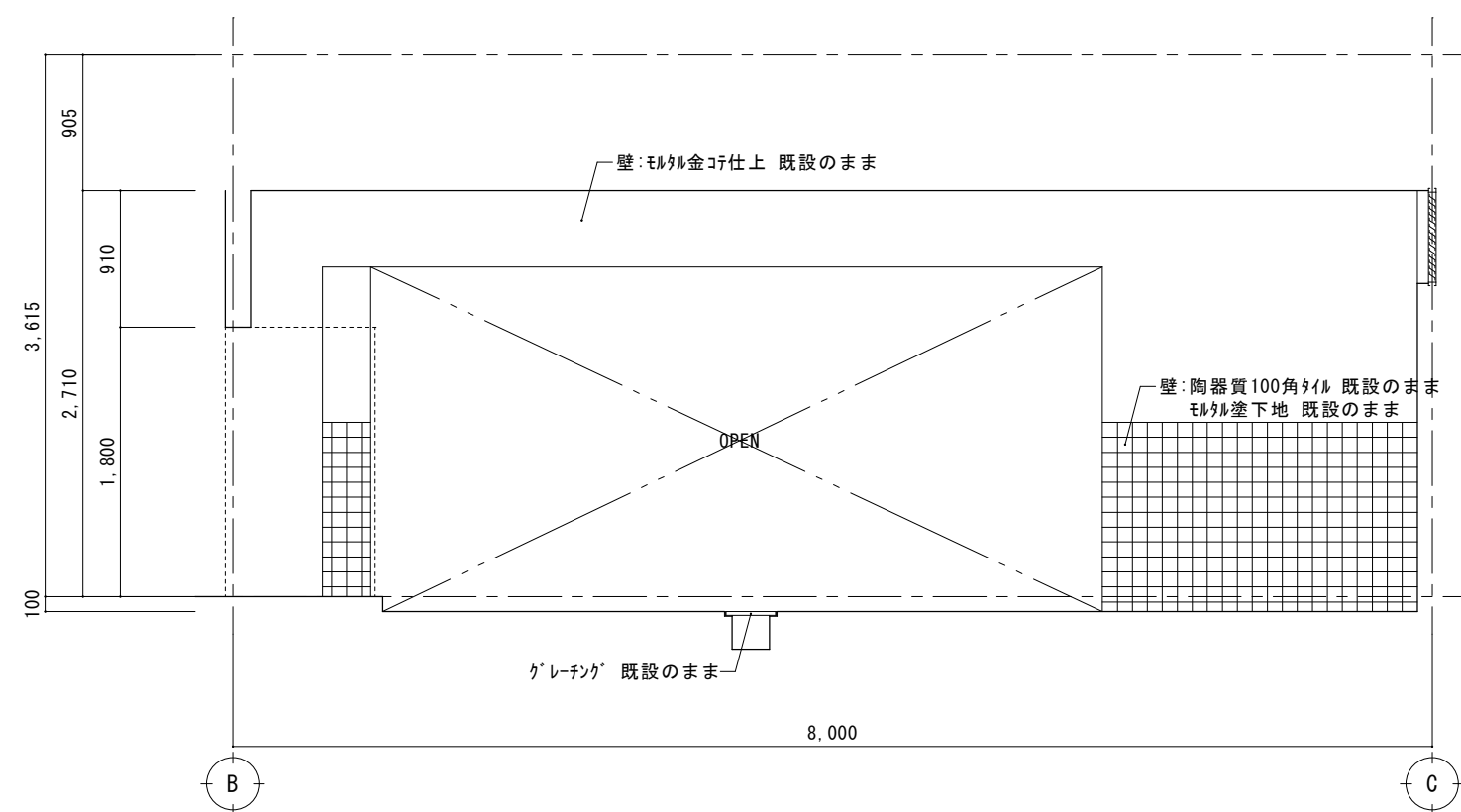
備 考	NISSHIN SEKKEI 日新設計株式会社 三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹		津市立安東小学校給食受入施設改修工事 矩形図(改修前・後)		原図: A2 DATE SCALE A2: 1/30 A3: 1/42
			管理建築士 担当建築士		A-11
			一級建築士 No.265708 出口基樹 一級建築士 No.265708 出口基樹 一級建築士 No.265708 出口基樹 一級建築士 No.265708 出口基樹		
			一級建築士 No.265708 出口基樹 一級建築士 No.265708 出口基樹		



給食室

A面

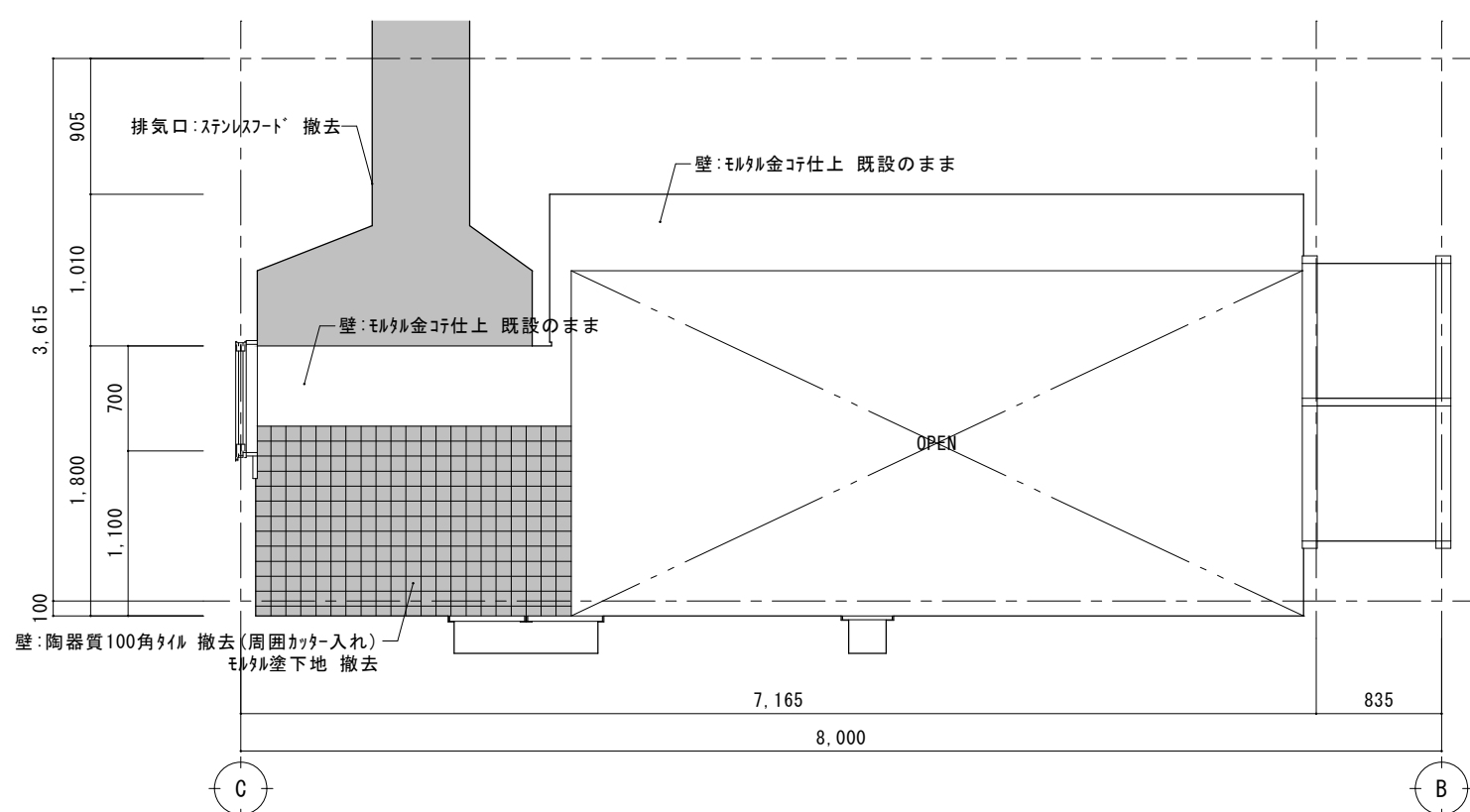
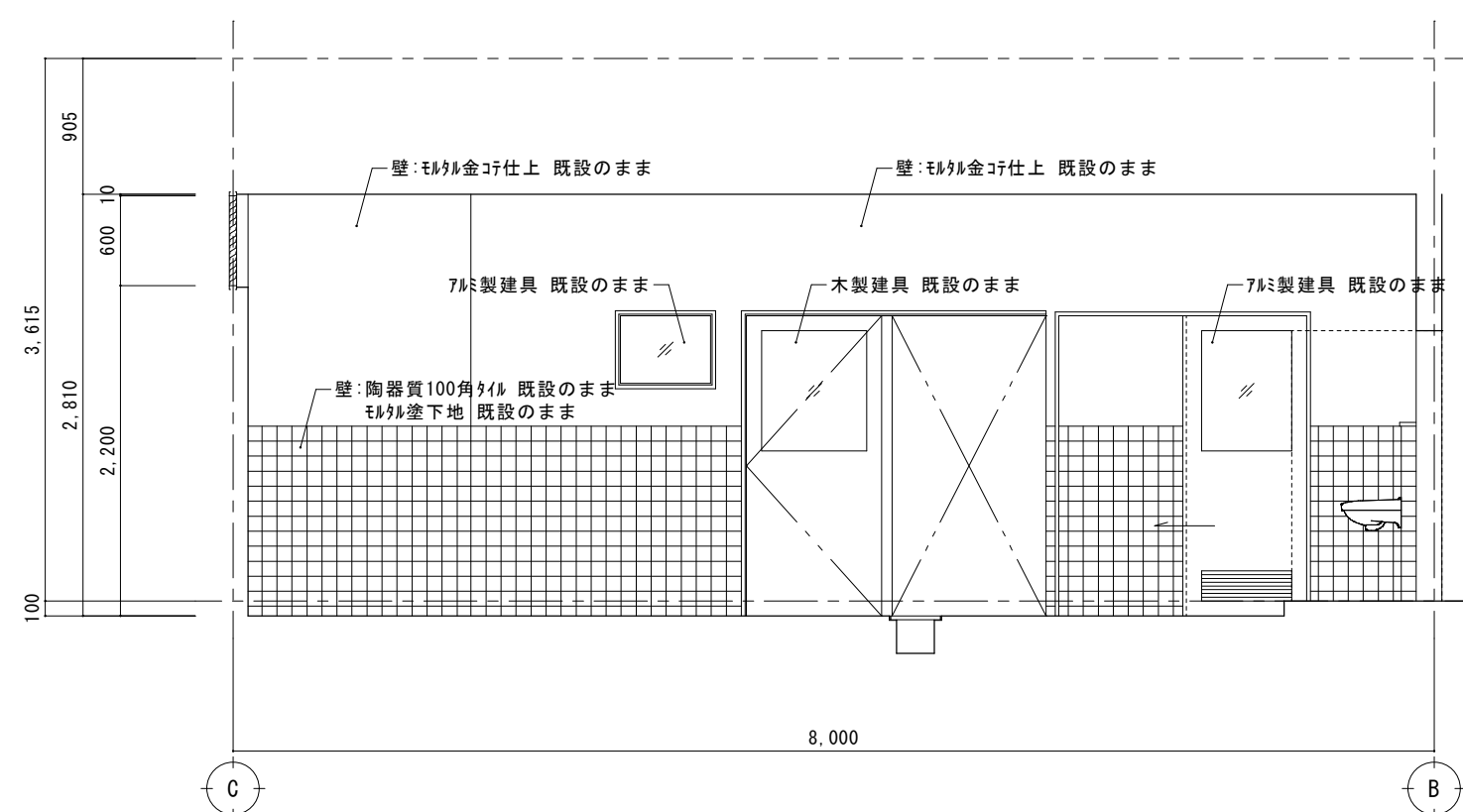
B面



給食室

B面

C面



給食室

D面

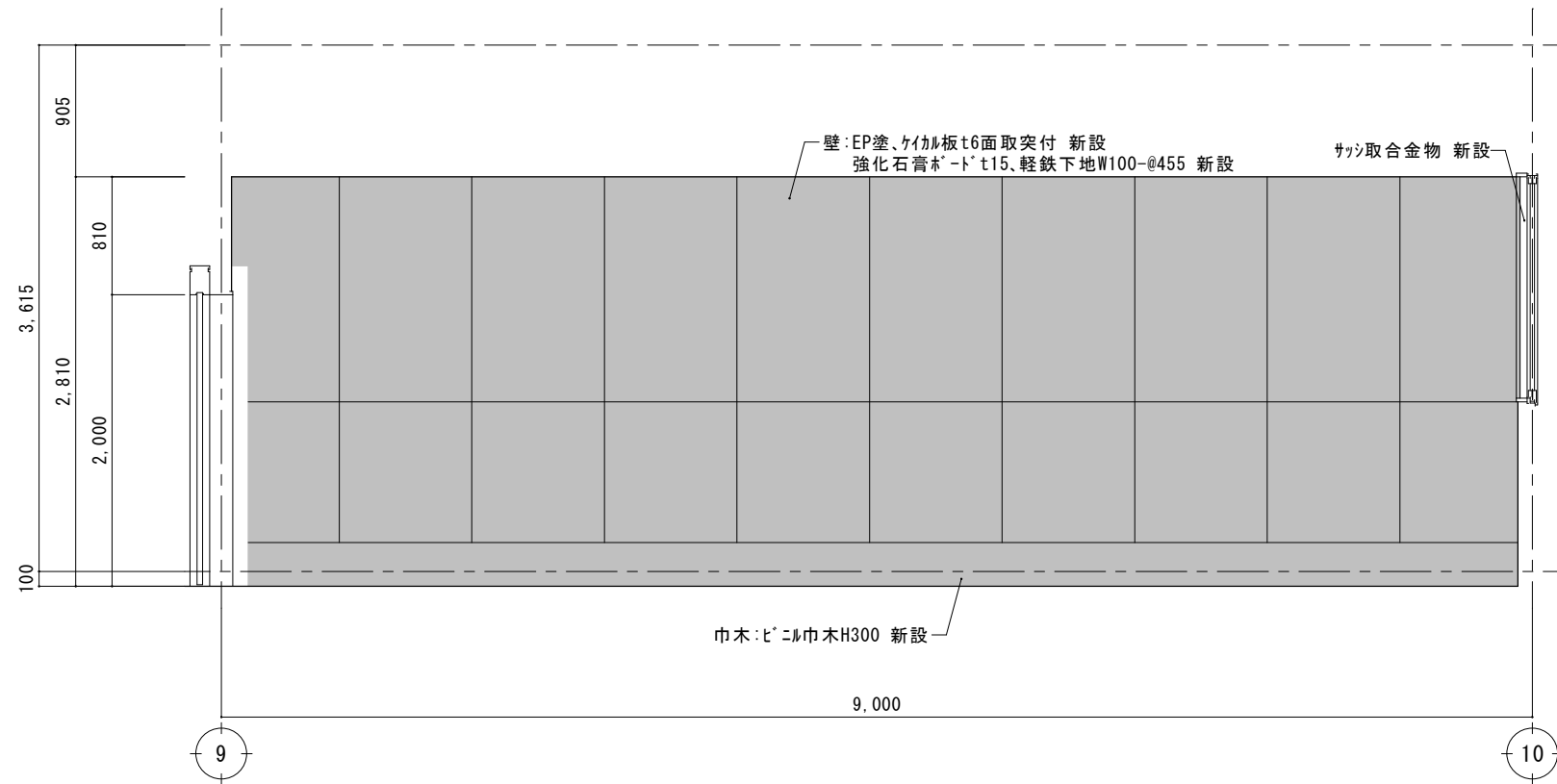
E面

改修範囲

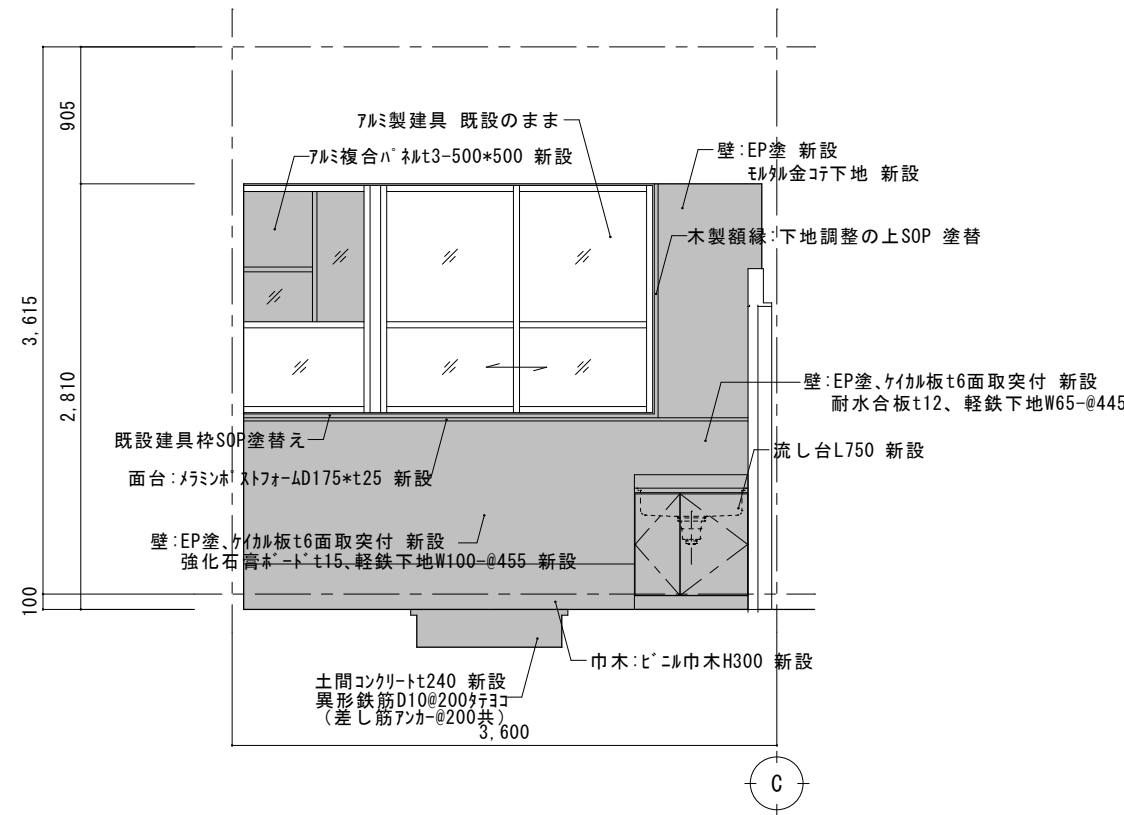
備考

NISSHIN
 SEKKEI
 日新設計株式会社
 三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

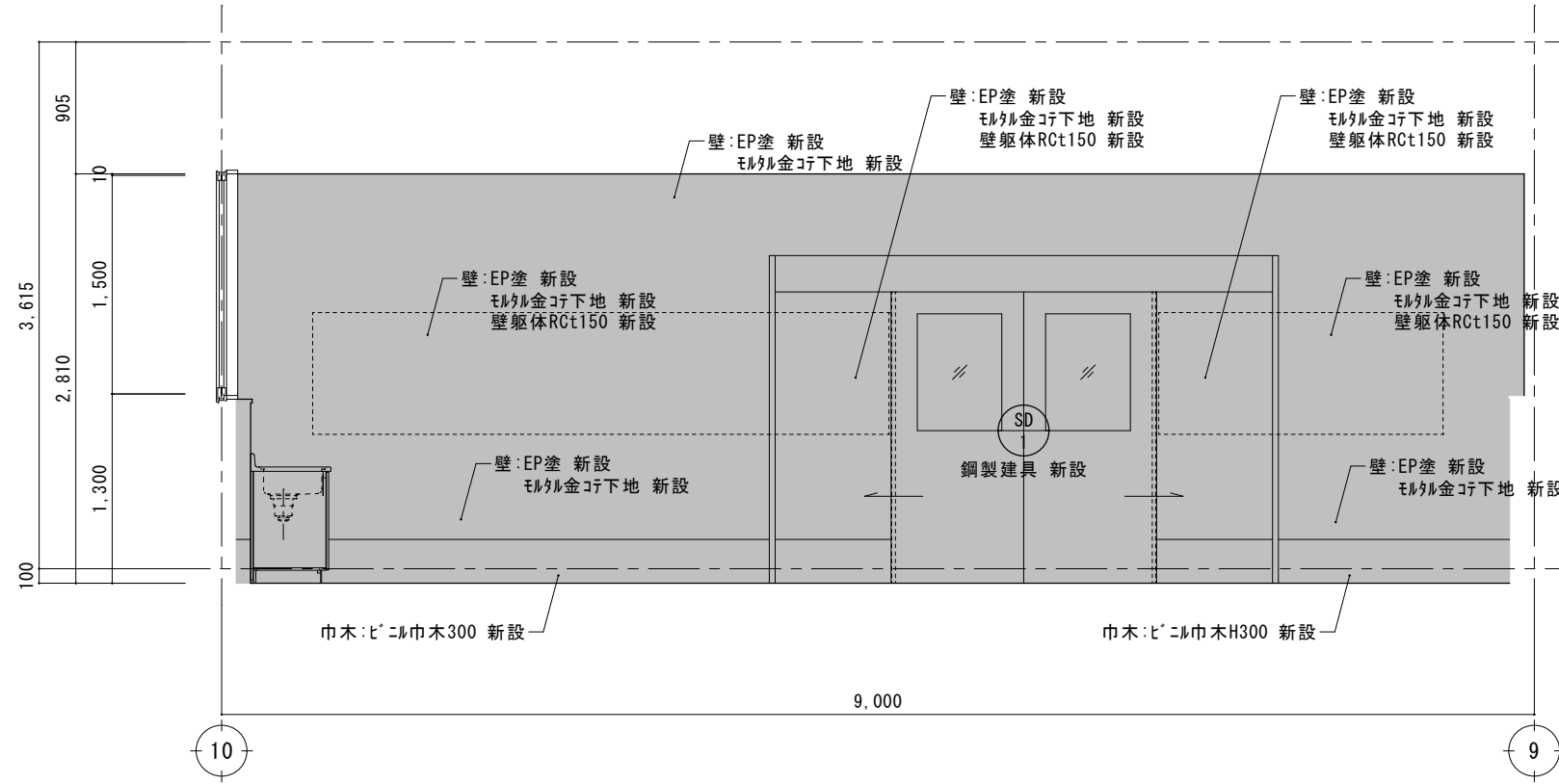
Job Title		津市立安東小学校給食受入施設改修工事		原図: A2
Drawing Title		展開図01(改修前)		DATE
Manager		Responsible Architect		SCALE
Architect		Architect		A2: 1/50 A3: 1/70
Architect		Architect		A-12



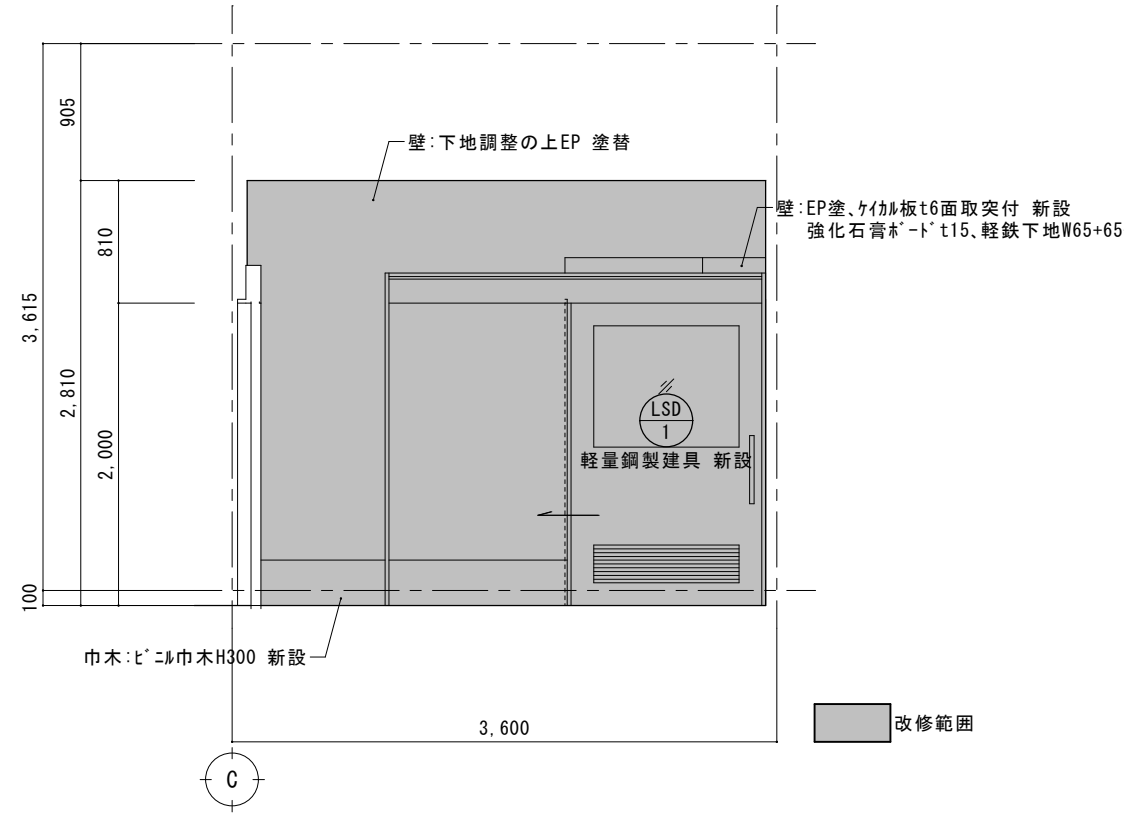
A面



B面



C面



D面

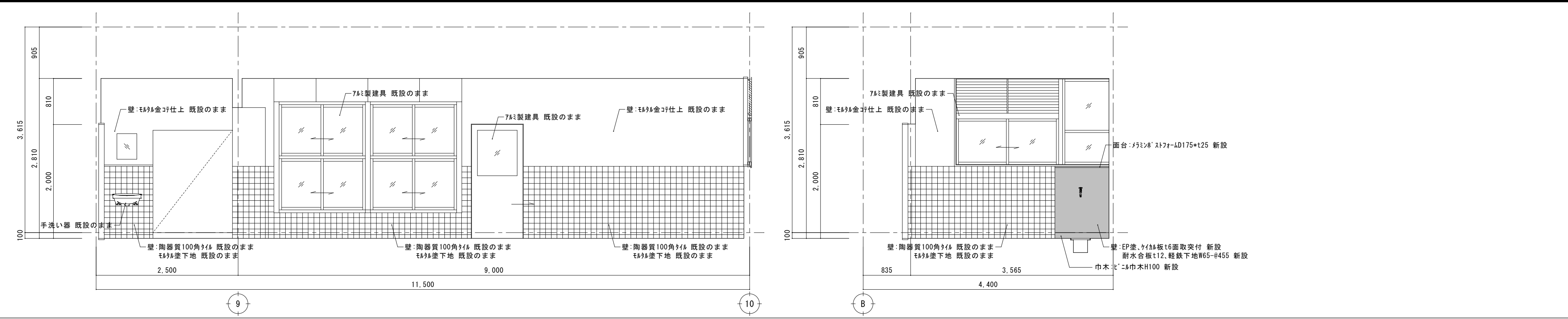
配膳室

配膳室

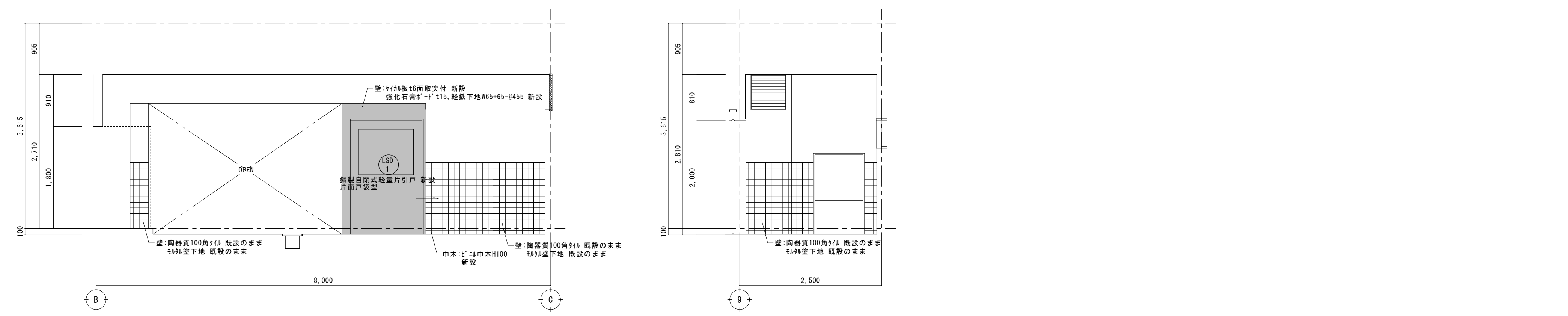
原図: A2

備考

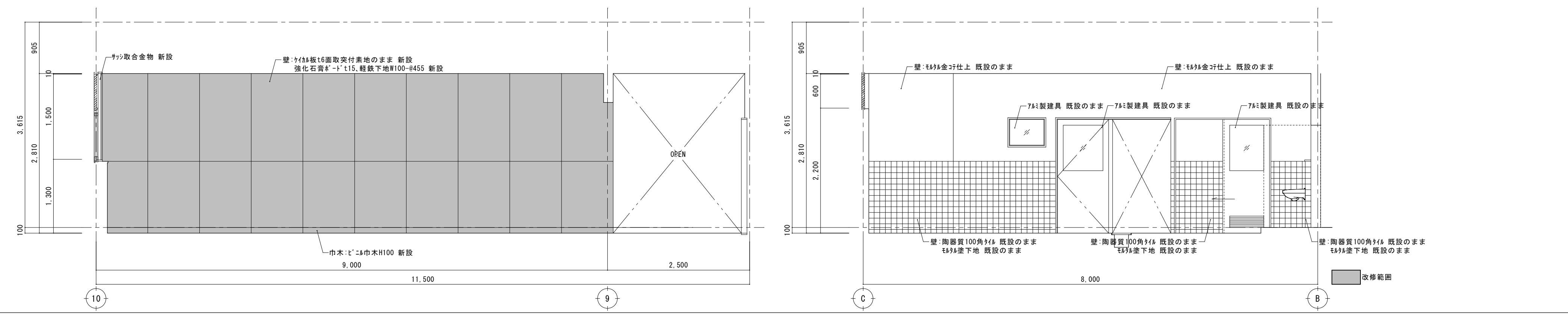
<p style="text-align: center;">NISSHIN SEKKEI 日新設計株式会社</p> <p style="text-align: center;">三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹</p>		<p>Job Title 津市立安東小学校給食受入施設改修工事</p>		DATE
		<p>Drawing Title 展開図01(改修後)</p>		SCALE A2: 1/50 A3: 1/70
		管理建築士	担当建築士	
一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.215909 藤分恵之	一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.327099 倉田和彦	A-13



給食室 A面 B面

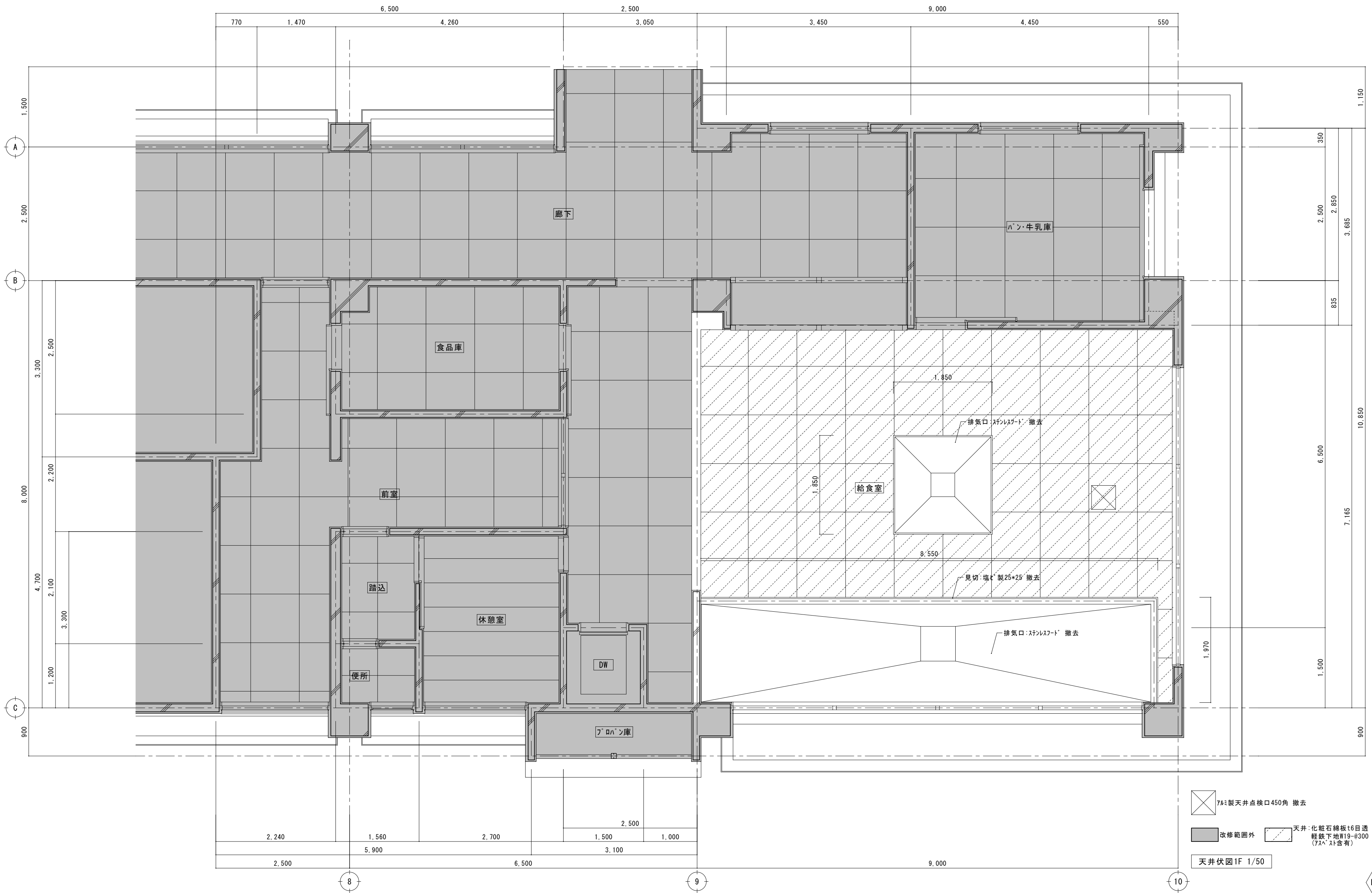


給食室 B面 C面



給食室 C面 D面

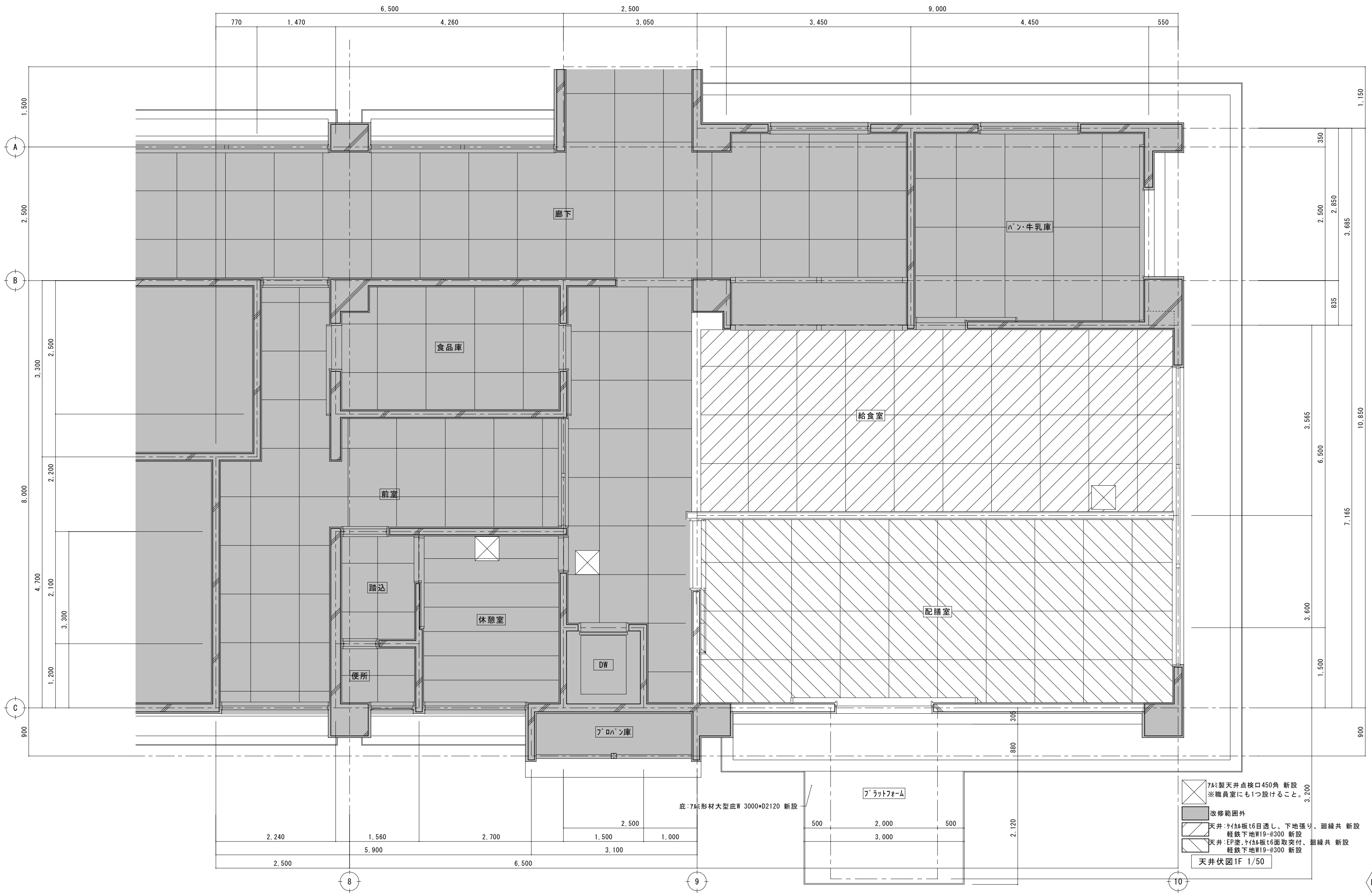
備考	<p>原図: A2</p>						
	<p>DATE</p>						
	<p>SCALE</p>						
	<p>A2: 1/50 A3: 1/70</p>						
<p>Job Title 津市立安東小学校給食受入施設改修工事</p>		<p>担当建築士</p> <table border="1"> <tr> <td>管理建築士</td> <td>一級建築士 No.265708 出口基樹</td> <td>一級建築士 No.265708 蔵分恵之</td> <td>一級建築士 No.265708 出口基樹</td> <td>一級建築士 No.267089 倉田和彦</td> </tr> </table>	管理建築士	一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.265708 蔵分恵之	一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.267089 倉田和彦
管理建築士	一級建築士 No.265708 出口基樹		一級建築士 No.265708 蔵分恵之	一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.267089 倉田和彦		
<p>Drawing Title 展開図02(改修後)</p>							
<p>管理建築士</p>							
<p>一級建築士 No.265708 蔵分恵之</p>							
<p>NISSHIN SEKKEI 日新設計株式会社</p>		<p>A-14</p>					
<p>三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹</p>							



備考
天井仕上材にアスベストが含有されているため、注意すること。

**NISSHIN
SEKKEI**
日新設計株式会社
三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

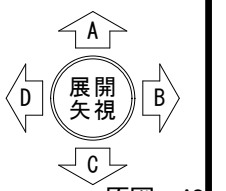
Job Title 津市立安東小学校給食受入施設改修工事		DATE	
Drawing Title 天井伏図1F(改修前)		SCALE A2: 1/50 A3: 1/70	
管理建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.215909 藤分恵之	一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.327099 倉田和彦



底:7桁形材大型底W 3000×D2120 新設

ラットフォーム

- 7桁型天井点検口450角 新設 ※職員室にも1つ設けること。 3.200
 - 改修範囲外
 - 天井:ケイホル板t6目透し、下地張り、廻縁共 新設
 - 軽鉄下地W19-@300 新設
 - 天井:EP塗、ケイホル板t6面取突付、廻縁共 新設
 - 軽鉄下地W19-@300 新設
- 天井伏図 1F 1/50



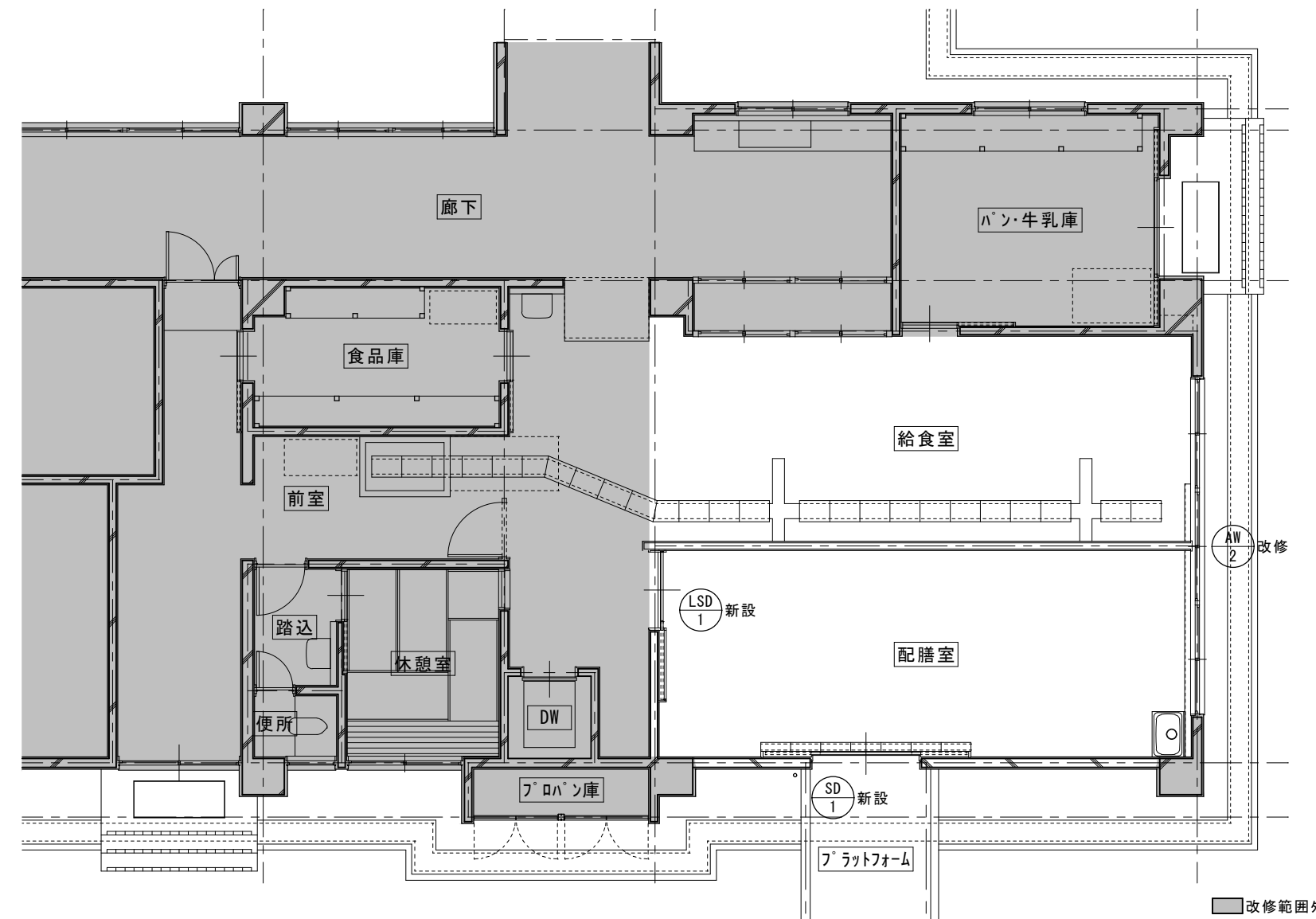
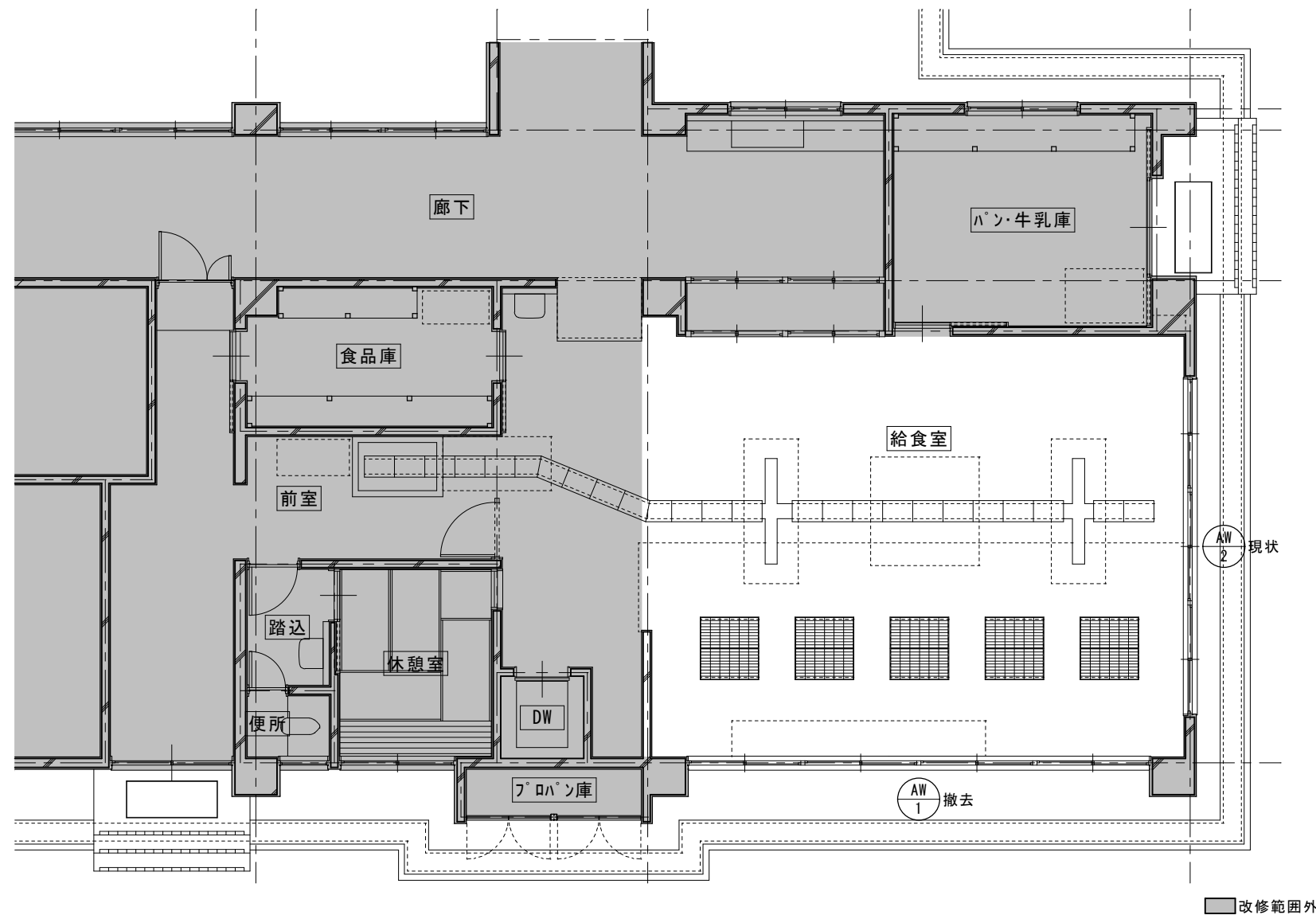
備考

NISSHIN
SEKKEI
日新設計株式会社
三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

Job Title 津市立安東小学校給食受入施設改修工事		DATE	
Drawing Title 天井伏図1F(改修後)		SCALE A2: 1/50 A3: 1/70	
管理建築士	担当建築士	一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.265708 出口基樹
一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.215909 藤分恵之	一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.327099 倉田和彦

改修前

改修後



建具記号	室名・数量	AW 1 撤去	1ヶ所	AW 2 現状	1ヶ所	AW 2 改修	1ヶ所	SD 1 新設	1ヶ所	LSD 1 新設	1ヶ所
窓											
形式	内法	4連引違窓	7.630*700	3連固定ガラス付3連引違窓	5.540*1.500	3連固定ガラス付3連引違窓	5.540*1.500	両引分戸	3.410*2.000	自閉式軽量片引戸 片面戸袋型	2.465*2.000
枠見込	建具見込	70		70		70		155	40	295	38
建具材質	仕上	7&S		7&S		7&S		亜鉛めっき鋼板	SOP	亜鉛めっき鋼板	粉体焼付塗装
金物・他	付属金物一式			付属金物一式		付属金物一式		カイトレール、カイトロー、引戸錠、戸当り、SUS引手L450、SUS製レール、付属金物一式		自閉装置、ステップ、SUS引手L450、引戸錠、7&S引手、SUS製床見切り、付属金物一式	
ガラス	透明ガラス	透明ガラス		透明ガラス		強化ガラス		型板強化ガラス		型板強化ガラス	
備考	木製額縁75*25			木製額縁75*25 SOP塗		木製額縁75*25 SOP一部塗替、7&S複合ガラス3-500*500新設					

原図: A2

備考

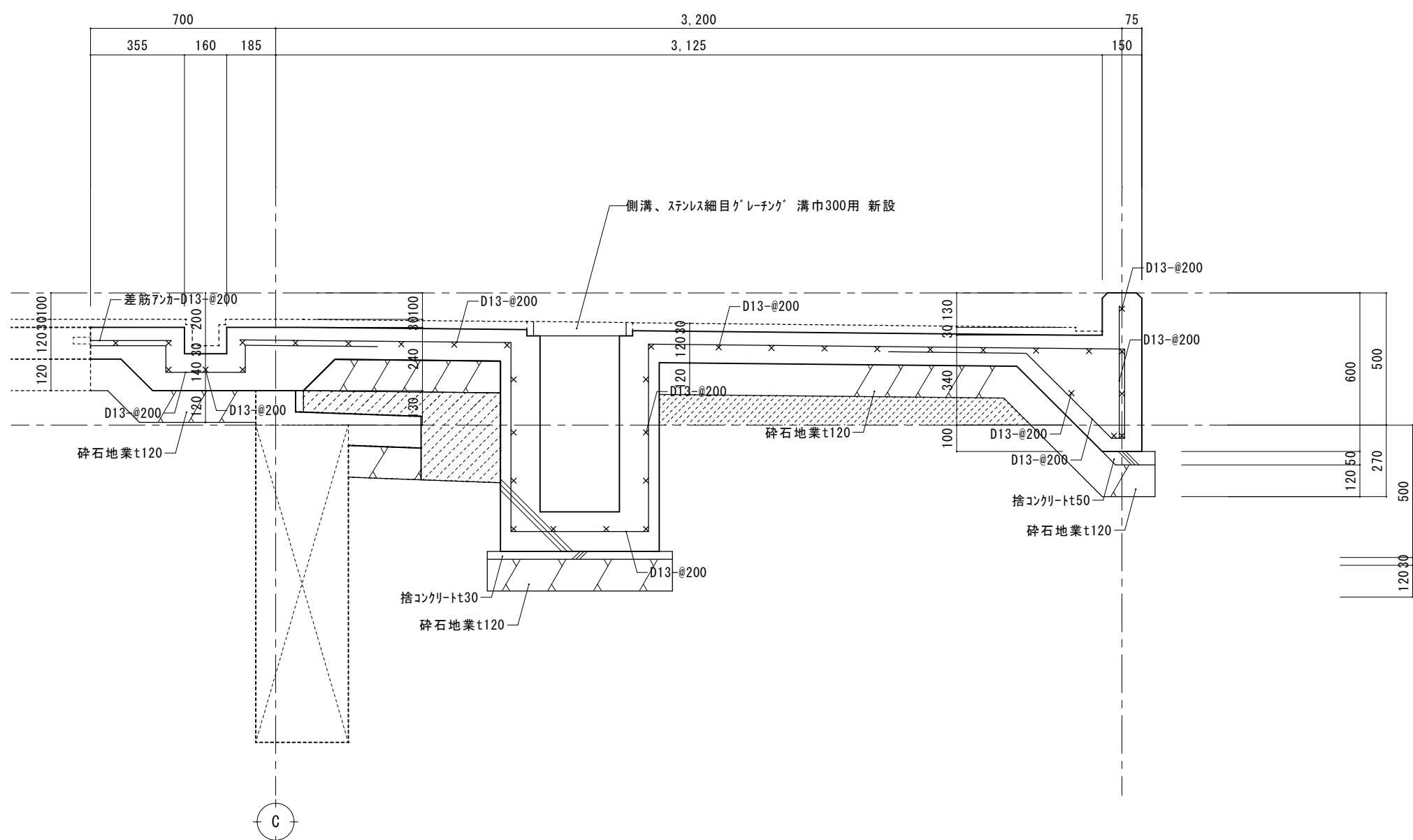
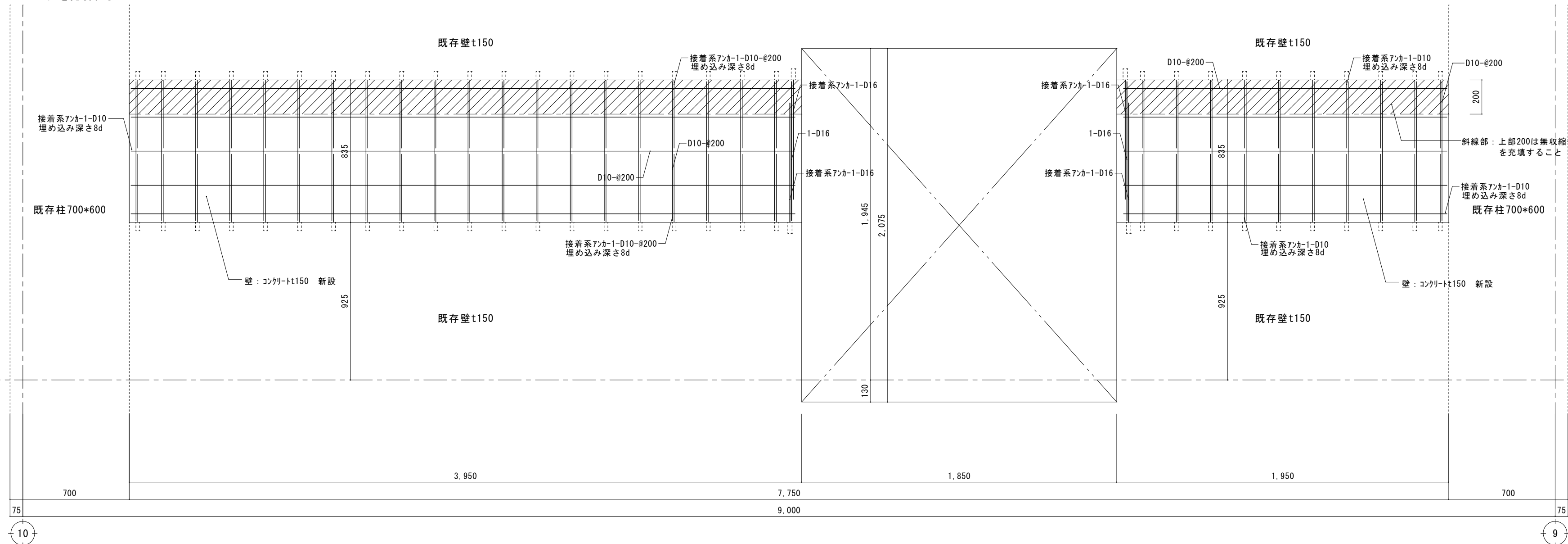
**NISSHIN
SEKKEI**
日新設計株式会社
三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

津市立安東小学校給食受入施設改修工事
建具配置図・建具表(改修前・後)

管理建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.215909 藤分憲之	一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.327099 倉田和彦
----------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------

SCALE
A2: 1/100 A3: 1/140
A-17

新設躯体の上端から200mmは無収縮モルタルを充填すること
新躯体外部周囲シーリング（PU-2 10×10）を充填すること

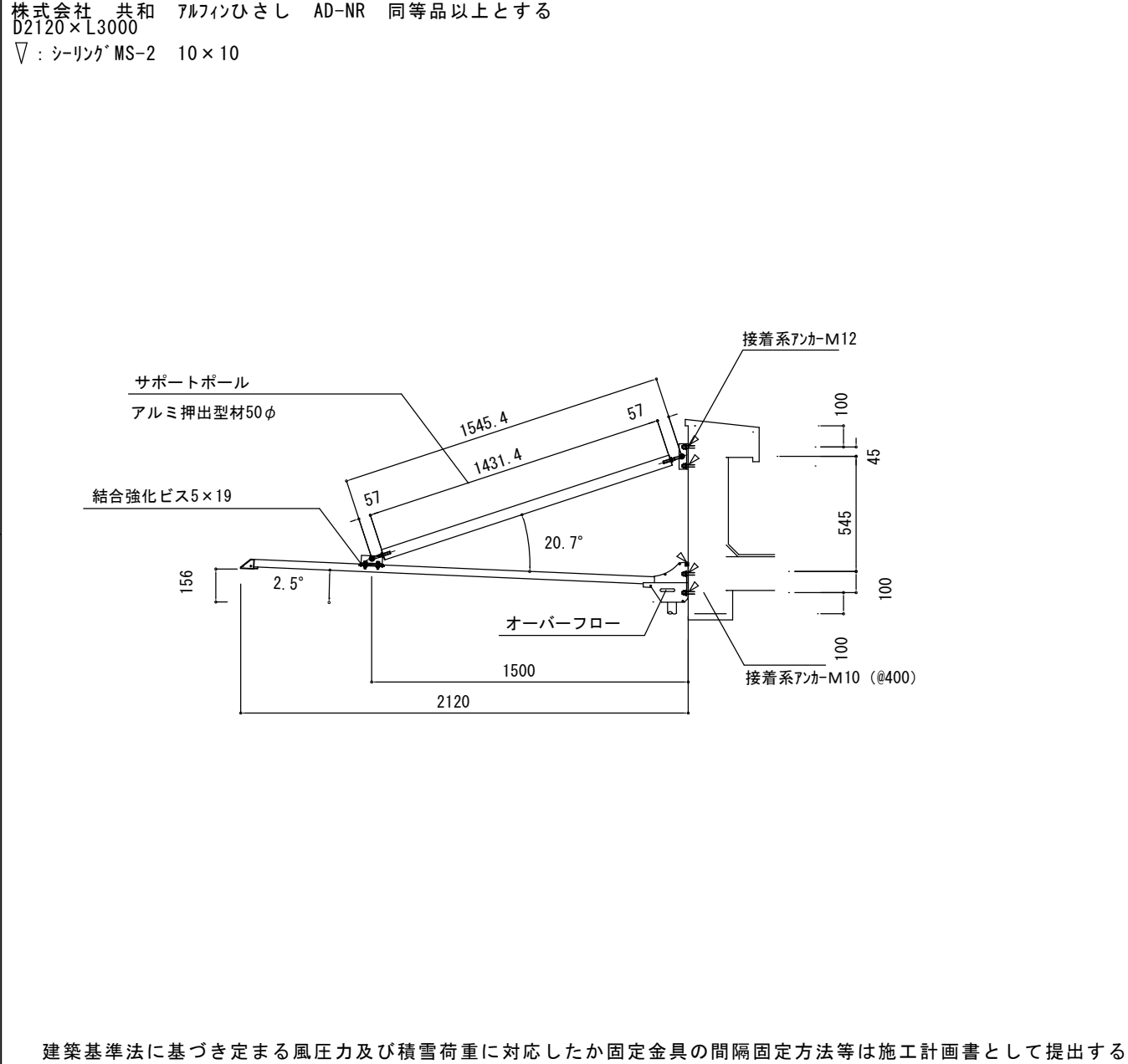
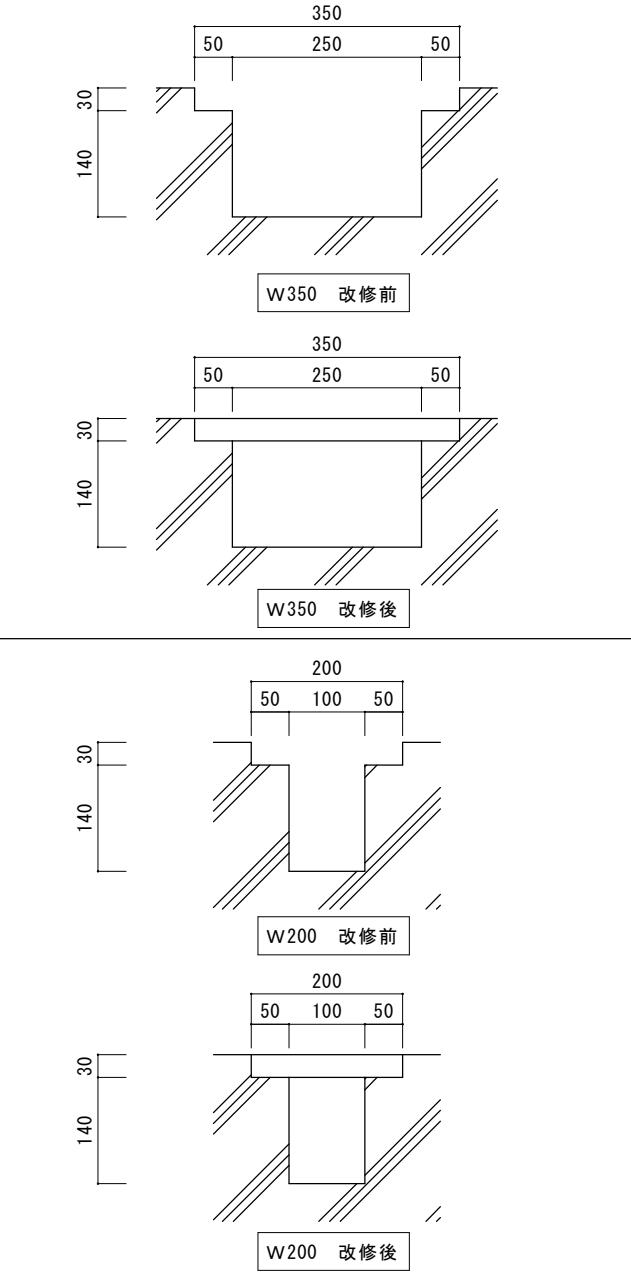
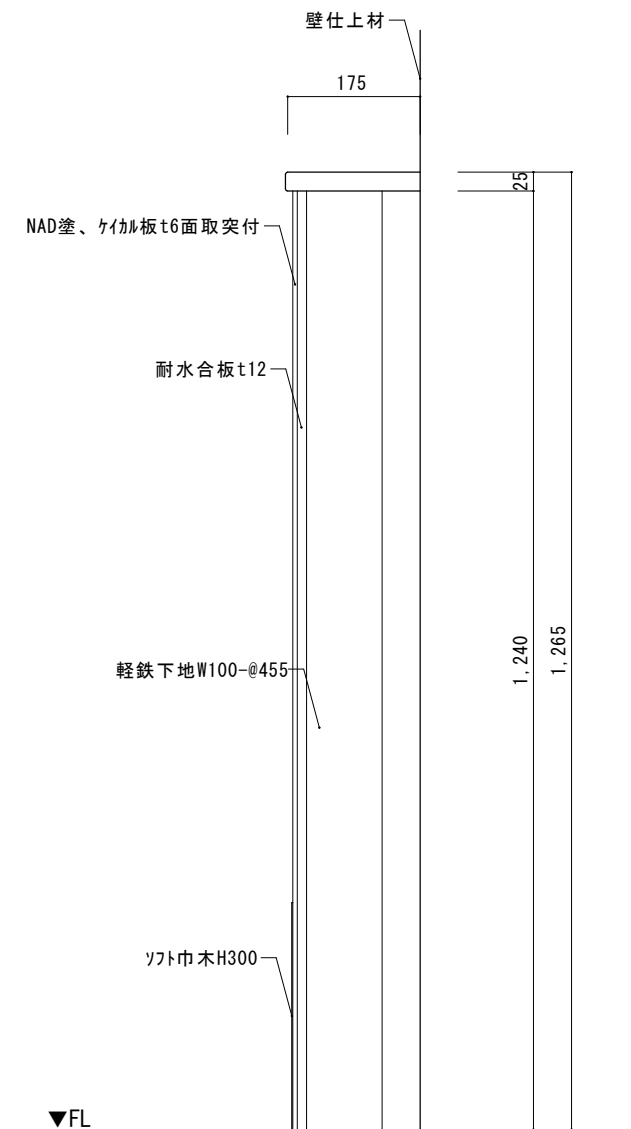
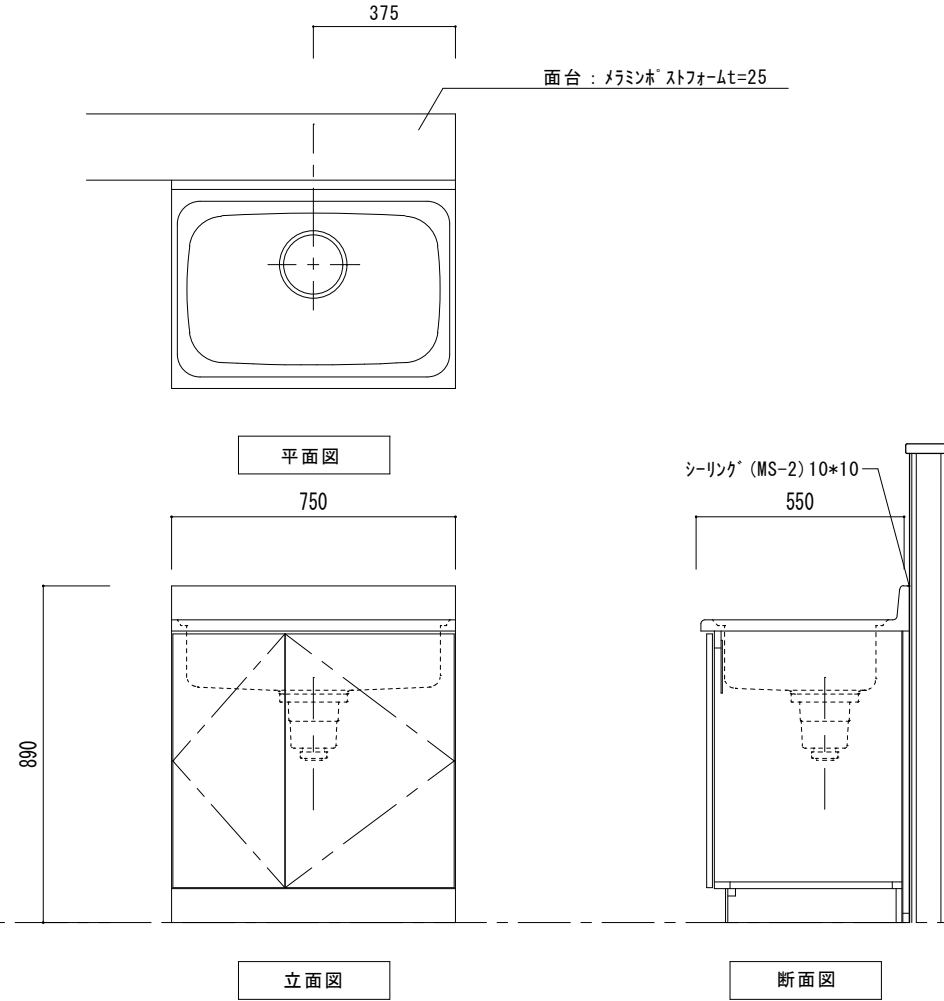


備考

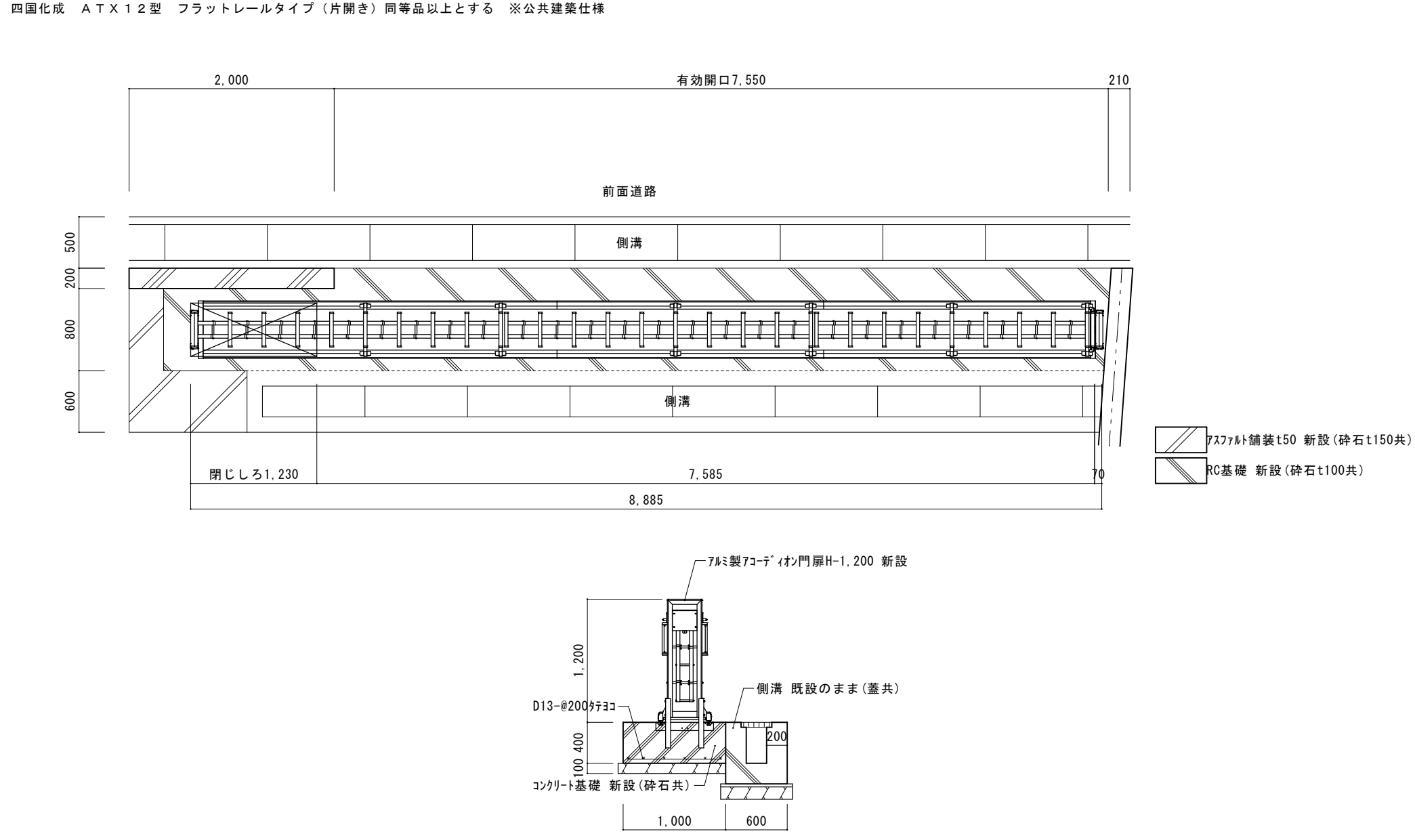
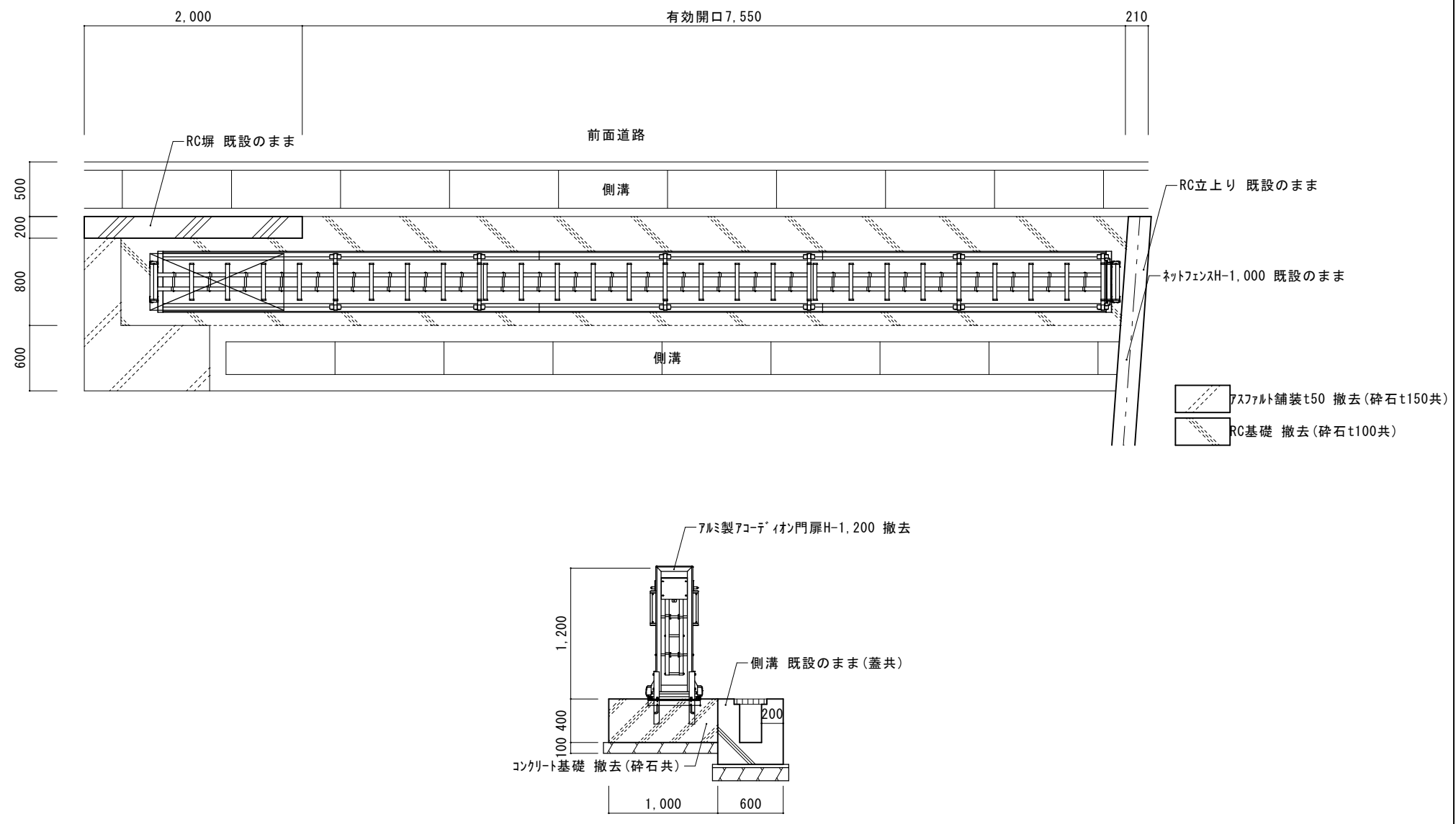
NISSHIN
SEKKEI
日新設計株式会社
 三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

Jkk Title		津市立安東小学校給食受入施設改修工事		DATE
Drawing Title		雑詳細図(改修後)		SCALE
管理建築士		担当建築士		A2: 1/20 A3: 1/28
一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.215909 磯分恵之	一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.265709 倉田和彦	A-18

参考品番 カウエブ工業(株) GK-S-75同等品 水切りプレート付
 ※化粧板・ファッシュ芯材・下地合板・接着剤は、F☆☆☆☆認定品とする
 ※家具塗装は、F☆☆☆☆認定品とする



建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応したか固定金具の間隔固定方法等は施工計画書として提出する。

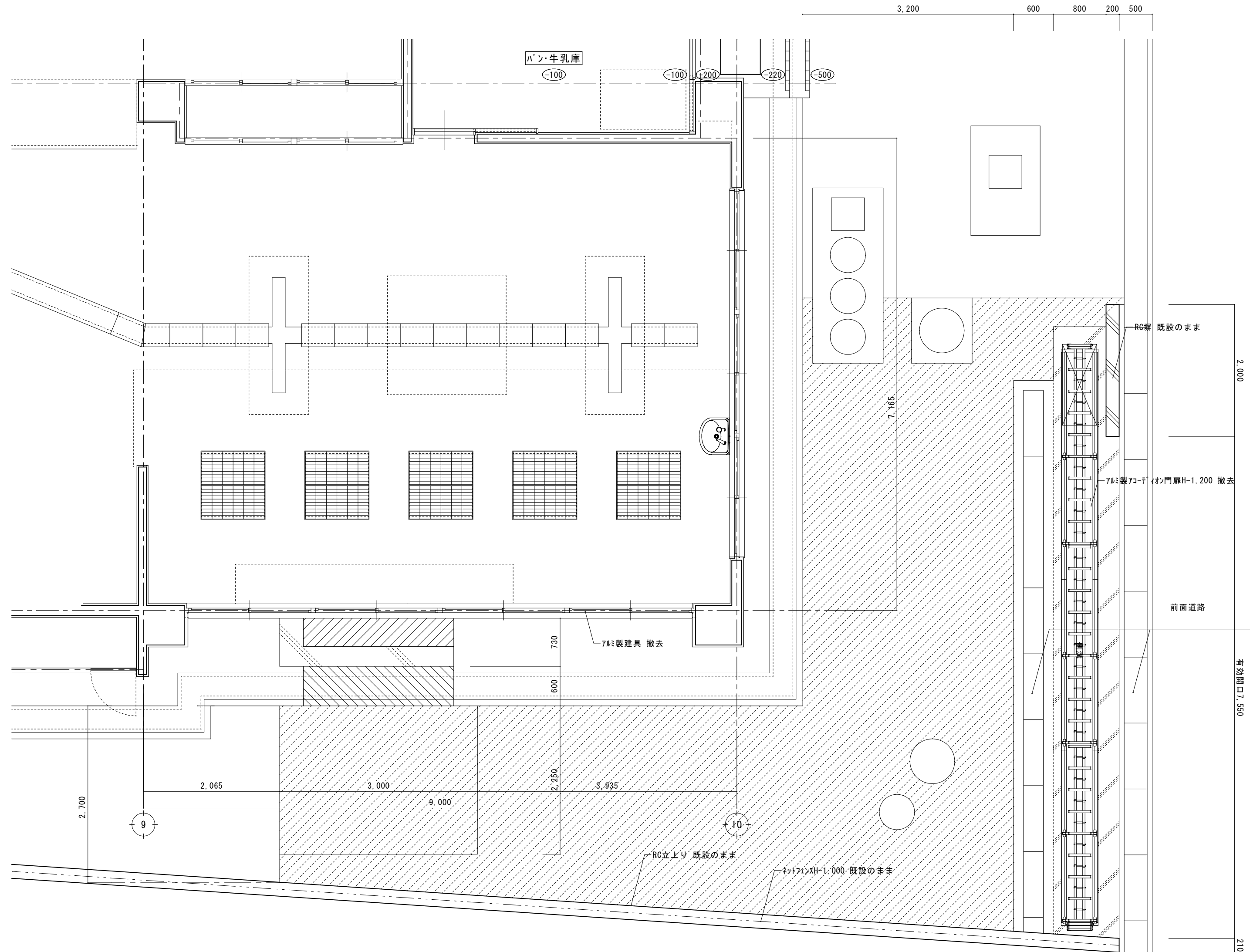


備 考	

NISSHIN SEKKEI
 日新設計株式会社
 三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

Job Title 津市立安東小学校給食受入施設改修工事		DATE	
Drawing Title 雑詳細図(改修後)		SCALE	
A2: 1/20 A3: 1/28		A-19	
管理建築士	担当建築士	一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.265708 倉田和彦

原図: A2



凡 例	
	既設犬走 目荒らし
	既設側溝 躯体撤去(蓋共)
	既設7%製舗装 撤去(砕石共)
	既設土間 エルメタリ撤去
	RC基礎 撤去(砕石t100共)
	エルメタリ仕上げt30、土間コンクリートt120 撤去

※撤去部周囲カケ入

外構図 1/50

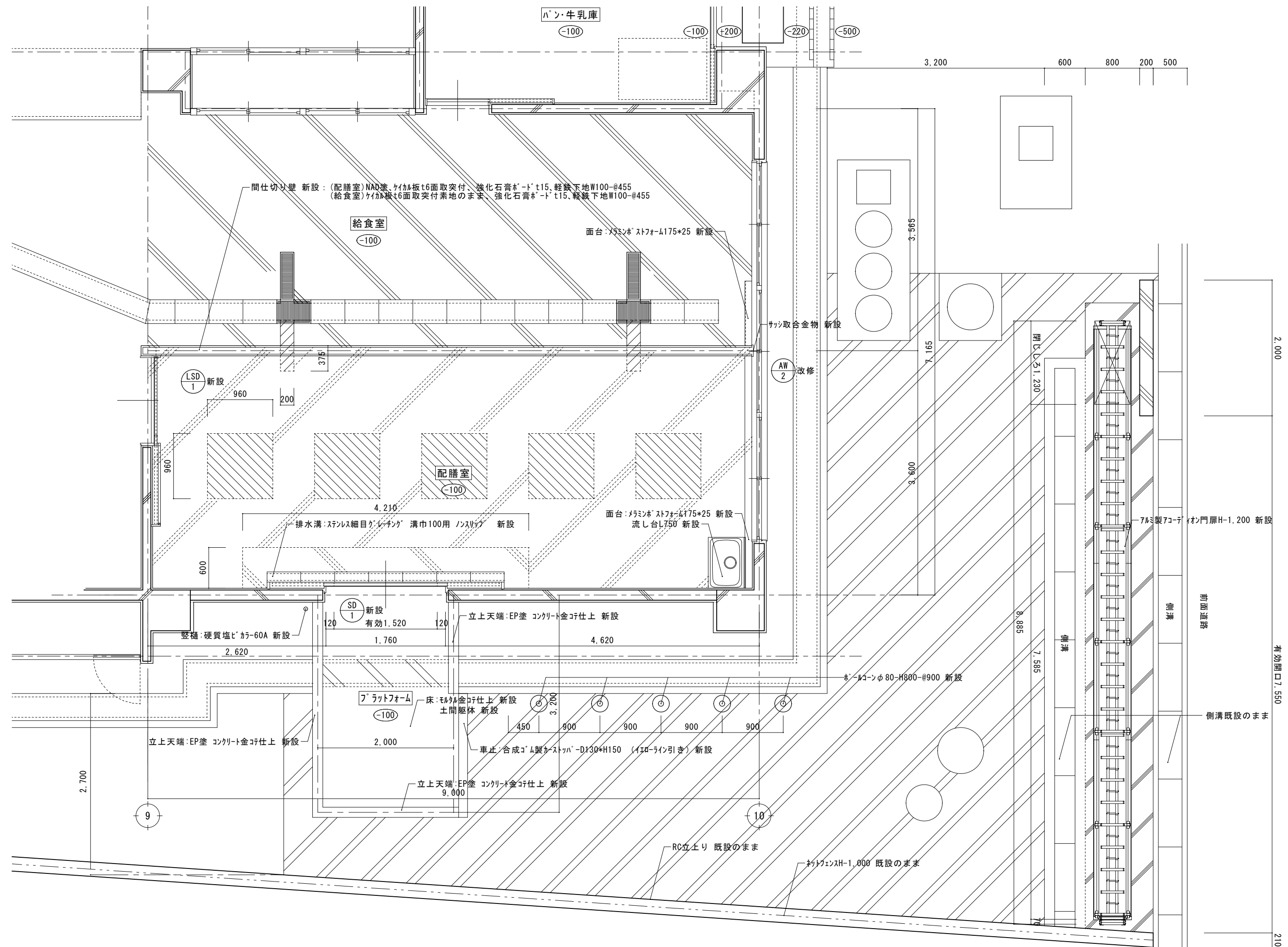
原図: A2

備 考	

**NISSHIN
SEKKEI**
日新設計株式会社

三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

Job Title 津市立安東小学校給食受入施設改修工事		DATE	
Drawing Title 外構図(改修前)		SCALE A2: 1/50 A3: 1/70	
管理建築士	担当建築士	一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.265708 倉田和彦



平面詳細図1F 1/50

凡 例	
	グレーチング蓋、側溝 新設
	アスファルト舗装t50、砕石(RC)t200 新設
	RC基礎 新設(砕石t100共)

原図: A2

備 考	

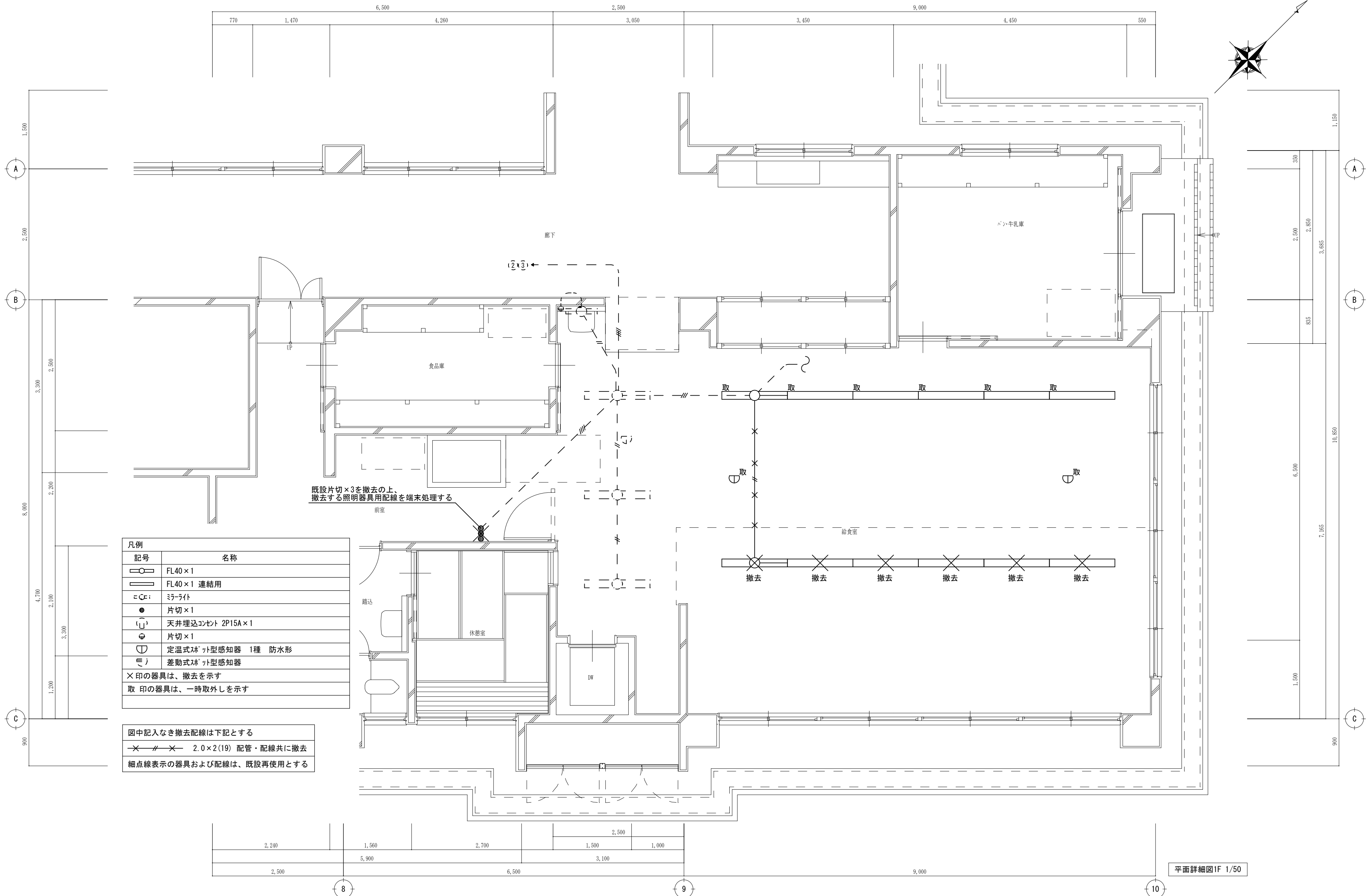
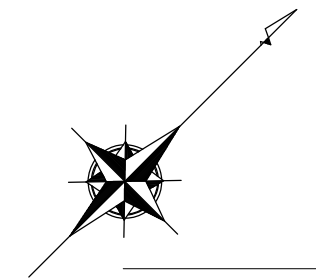
**NISSHIN
SEKKEI**
日新設計株式会社
三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

Job Title 津市立安東小学校給食受入施設改修工事		DATE	
Drawing Title 外構図(改修後)		SCALE A2: 1/50 A3: 1/70	
管理建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.215909 藤分憲之	一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.327099 倉田和彦

A-21

<p>17. 映像・音響設備</p> <p>(1) 設備</p> <p>(2) 映像機器</p> <p>1) 表示機器</p> <p>2) 付属機器</p> <p>(3) 音響機器</p> <p>① 出力</p> <p>② 方式</p> <p>③ 出カインピーダンス</p> <p>2) 付属機器</p> <p>(4) 増幅器</p> <p>1) 形状</p> <p>2) 設置</p> <p>18. 拡声設備</p> <p>(1) 機器</p> <p>(2) 増幅器</p> <p>(3) 付属機器</p> <p>(4) 操作装置</p> <p>(5) スピーカ</p> <p>19. 誘導支援設備</p> <p>(1) 設備</p> <p>(2) 音声誘導装置</p> <p>1) 検出方式</p> <p>2) 設置場所</p> <p>3) 機能</p> <p>4) 機器</p> <p>5) 制御装置</p> <p>6) 送信機</p> <p>7) 受信機</p> <p>(3) インターホン</p> <p>1) 用途</p> <p>2) 機能</p> <p>3) 送話網</p> <p>4) 送話方式</p> <p>5) 接続</p> <p>6) 取極</p> <p>7) 子機</p> <p>(4) トイレ等呼出装置</p> <p>1) 用途</p> <p>2) 機器</p> <p>3) 送話方式</p> <p>4) 呼出スイッチ</p> <p>5) 警報装置</p> <p>20. テレビ共同受信設備</p> <p>(1) 受信放送</p> <p>(2) 機器</p> <p>(3) アンテナ</p> <p>1) 放送</p> <p>2) マスト</p> <p>3) 自立用基礎</p> <p>21. テレビ電波障害防除設備</p> <p>(1) 対象戸数</p> <p>(2) 機器</p> <p>(3) アンテナ</p> <p>1) 放送</p> <p>2) マスト</p> <p>3) 自立用基礎</p> <p>22. 監視カメラ設備</p> <p>(1) 機器</p> <p>(2) 伝送方式</p> <p>(3) カメラ</p> <p>1) 色方式</p> <p>2) 撮影方式</p> <p>3) 撮影条件</p> <p>4) 設置場所</p> <p>(4) モニタ装置</p> <p>1) 色方式</p> <p>2) モニタ</p> <p>3) 設置</p> <p>(5) 録画装置</p> <p>1) 記憶媒体</p> <p>2) 記憶容量</p> <p>3) 時刻修正機能</p>	<p>23. 駐車管理設備</p> <p>(1) 機器</p> <p>(2) 管制盤</p> <p>(3) 検知器</p> <p>(4) 番号灯・警報灯</p> <p>(5) 発券機</p> <p>(6) カゲート</p> <p>24. 防犯・入室管理設備</p> <p>(1) 設備</p> <p>(2) 防犯装置</p> <p>(3) 入室管理装置</p> <p>1) 機器</p> <p>2) 制御装置</p> <p>3) 検知器</p> <p>4) セキュリティゲート</p> <p>25. 自動火災報知設備</p> <p>(1) 機器</p> <p>(2) 受信機</p> <p>(3) 制御装置</p> <p>(4) 中継器</p> <p>(5) 発信機</p> <p>(6) 感知器</p> <p>26. 自動閉鎖設備</p> <p>(1) 機器</p> <p>(2) 運動制御器</p> <p>(3) 感知器</p> <p>(4) 自動閉鎖装置</p> <p>(5) 自動閉鎖装置</p> <p>27. 非常警報設備</p> <p>(1) 設備</p> <p>(2) 非常放送装置</p> <p>1) 消防法基準適合マーク品とする。</p> <p>2) 機器</p> <p>3) 増幅器</p> <p>4) スピーカ</p> <p>5) 非常用リコンマイク</p> <p>(3) 非常ベル (自動式サイレンを含む)</p> <p>28. ガス漏れ火災警報設備</p> <p>(1) 機器</p> <p>(2) 受信機</p> <p>(3) 副受信機</p> <p>(4) 検知器</p> <p>- 受信機</p> <p>- 副受信機</p> <p>- 中継器</p> <p>- 検知器</p> <p>- 警報器</p> <p>1) 回路数</p> <p>2) 種類</p> <p>3) 設置</p> <p>1) 動作</p> <p>2) 定格電圧</p> <p>3) ガス検知出力信号</p>	<p>【中央監視制御設備】</p> <p>29. 中央監視制御設備</p> <p>(1) 監視制御対象設備</p> <p>(2) 既設との取り合い</p> <p>(3) 機器</p> <p>(4) 機能</p> <p>(5) 監視操作装置</p> <p>(6) 信号処理装置</p> <p>(7) 記録装置</p> <p>【医療関係設備】</p> <p>30. 非接地電源用分電盤</p> <p>(1) 機器</p> <p>(2) 仕様詳細</p> <p>31. ナースコール設備</p> <p>(1) 形式</p> <p>(2) 仕様詳細</p> <p>【構内配電線路】</p> <p>32. 構内配電線路</p> <p>(1) 配線方式</p> <p>(2) 建柱</p> <p>(3) 装柱機器</p> <p>(4) 装柱機器</p> <p>(5) ハンドホール・マンホール</p> <p>(6) 錆鉄蓋</p> <p>(7) 地中ケーブル保護材料</p> <p>【構内通信線路】</p> <p>33. 構内通信線路</p> <p>(1) 用途</p> <p>(2) 配線方式</p> <p>(3) 建柱</p> <p>(4) ハンドホール・マンホール</p> <p>(5) 錆鉄蓋</p> <p>(6) 地中ケーブル保護材料</p> <p>【その他】</p> <p>34. 消火器</p> <p>1) 設置</p> <p>2) 消火器</p> <p>3) 消火器収納箱</p>	<p>III. 機器標準取得高さ標準的な高さであり、詳細については監督員と協議する。(〇印はバリアフリー対応)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>名 称</th> <th>備 考</th> <th>取付高さ (mm)</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">電力</td> <td>接地端子盤</td> <td>床下～下端</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>取引用計器</td> <td>地上～窓中心</td> <td>1,800～2,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>引込開閉器</td> <td>床下～中心</td> <td>1,800～2,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>分電盤</td> <td>床下～中心</td> <td>1,500</td> <td>上端1,900mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">電灯</td> <td>スイッチ</td> <td>床下～中心</td> <td>1,300</td> <td>〇1,000mm</td> </tr> <tr> <td>コンセント (一般)</td> <td>床下～中心</td> <td>300</td> <td>〇400mm</td> </tr> <tr> <td>コンセント (和室)</td> <td>床下～中心</td> <td>200</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンセント (台上)</td> <td>床下～中心</td> <td>150</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンセント (WP)</td> <td>床下～中心</td> <td>1,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンセント (地下)</td> <td>床下～中心</td> <td>1,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンセント (土間)</td> <td>床下～中心</td> <td>500</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ブラケット (一般)</td> <td>床下～中心</td> <td>2,100～2,300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ブラケット (鏡上)</td> <td>鏡上端～中心</td> <td>150</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ブラケット (処理場)</td> <td>床下～中心</td> <td>2,500</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">動力</td> <td>壁掛制御盤</td> <td>床下～中心</td> <td>1,500</td> <td>上端1,900mm</td> </tr> <tr> <td>手元開閉器</td> <td>床下～中心</td> <td>1,500</td> <td></td> </tr> <tr> <td>操作スイッチ</td> <td>床下～中心</td> <td>1,300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>端子盤</td> <td>床下～下端</td> <td>300</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">電話</td> <td>保安器盤</td> <td>床下～中心</td> <td>2,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>壁位置ボックス</td> <td>床下～中心</td> <td>300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>壁位置ボックス (和室)</td> <td>床下～中心</td> <td>200</td> <td></td> </tr> <tr> <td>壁位置ボックス (和室)</td> <td>床下～中心</td> <td>200</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">時計・拡声</td> <td>壁掛型時計</td> <td>床下～中心</td> <td>1,500</td> <td>上端1,900mm</td> </tr> <tr> <td>時計計</td> <td>床下～中心</td> <td>2,300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>壁掛型スピーカ</td> <td>床下～中心</td> <td>2,300</td> <td>2,500mm</td> </tr> <tr> <td>アツチネータ</td> <td>床下～中心</td> <td>1,300</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">表示</td> <td>表示器</td> <td>床下～中心</td> <td>2,300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>壁付発信器</td> <td>床下～中心</td> <td>1,300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ベル・ブザー・チャイム</td> <td>床下～中心</td> <td>2,300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>表示灯 (身障者用)</td> <td>床下～中心</td> <td>1,800</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">インターホン</td> <td>壁付インターホン</td> <td>床下～中心</td> <td>1,300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>壁位置ボックス (和室)</td> <td>床下～中心</td> <td>300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>壁位置ボックス (和室)</td> <td>床下～中心</td> <td>200</td> <td></td> </tr> <tr> <td>子機 (身障者用)</td> <td>床下～中心</td> <td>1,100</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">テレビ</td> <td>呼出しボタン (身障者用)</td> <td>床下～中心</td> <td>800～950</td> <td>便座先端から後方100～200mm 2個目 (高700mm、便座先端から前方400mm)</td> </tr> <tr> <td>表示灯 (身障者用)</td> <td>床下～中心</td> <td>1,800</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機器収納箱</td> <td>床下～中心</td> <td>2,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>直列ユニット</td> <td>床下～中心</td> <td>300</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">火災報知</td> <td>直列ユニット (和室)</td> <td>床下～中心</td> <td>200</td> <td></td> </tr> <tr> <td>受信機・副受信機</td> <td>床下～中心</td> <td>1,500</td> <td></td> </tr> <tr> <td>発信器</td> <td>床下～中心</td> <td>1,300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>表示灯</td> <td>床下～中心</td> <td>1,800</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ベル</td> <td>床下～中心</td> <td>2,300</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>参考資料：高齢者が居住する住宅の設計に係る指針 (最終改正 平成21年国土省告示第906号) ユニバーサルデザインのまちづくり推進条例 整備基準の解説等 (平成25年4月 三重県)</p>		名 称	備 考	取付高さ (mm)	備 考	電力	接地端子盤	床下～下端			取引用計器	地上～窓中心	1,800～2,000		引込開閉器	床下～中心	1,800～2,000		分電盤	床下～中心	1,500	上端1,900mm	電灯	スイッチ	床下～中心	1,300	〇1,000mm	コンセント (一般)	床下～中心	300	〇400mm	コンセント (和室)	床下～中心	200		コンセント (台上)	床下～中心	150		コンセント (WP)	床下～中心	1,000		コンセント (地下)	床下～中心	1,000		コンセント (土間)	床下～中心	500		ブラケット (一般)	床下～中心	2,100～2,300		ブラケット (鏡上)	鏡上端～中心	150		ブラケット (処理場)	床下～中心	2,500		動力	壁掛制御盤	床下～中心	1,500	上端1,900mm	手元開閉器	床下～中心	1,500		操作スイッチ	床下～中心	1,300		端子盤	床下～下端	300		電話	保安器盤	床下～中心	2,000		壁位置ボックス	床下～中心	300		壁位置ボックス (和室)	床下～中心	200		壁位置ボックス (和室)	床下～中心	200		時計・拡声	壁掛型時計	床下～中心	1,500	上端1,900mm	時計計	床下～中心	2,300		壁掛型スピーカ	床下～中心	2,300	2,500mm	アツチネータ	床下～中心	1,300		表示	表示器	床下～中心	2,300		壁付発信器	床下～中心	1,300		ベル・ブザー・チャイム	床下～中心	2,300		表示灯 (身障者用)	床下～中心	1,800		インターホン	壁付インターホン	床下～中心	1,300		壁位置ボックス (和室)	床下～中心	300		壁位置ボックス (和室)	床下～中心	200		子機 (身障者用)	床下～中心	1,100		テレビ	呼出しボタン (身障者用)	床下～中心	800～950	便座先端から後方100～200mm 2個目 (高700mm、便座先端から前方400mm)	表示灯 (身障者用)	床下～中心	1,800		機器収納箱	床下～中心	2,000		直列ユニット	床下～中心	300		火災報知	直列ユニット (和室)	床下～中心	200		受信機・副受信機	床下～中心	1,500		発信器	床下～中心	1,300		表示灯	床下～中心	1,800			ベル	床下～中心	2,300	
	名 称	備 考	取付高さ (mm)	備 考																																																																																																																																																																																										
電力	接地端子盤	床下～下端																																																																																																																																																																																												
	取引用計器	地上～窓中心	1,800～2,000																																																																																																																																																																																											
	引込開閉器	床下～中心	1,800～2,000																																																																																																																																																																																											
	分電盤	床下～中心	1,500	上端1,900mm																																																																																																																																																																																										
電灯	スイッチ	床下～中心	1,300	〇1,000mm																																																																																																																																																																																										
	コンセント (一般)	床下～中心	300	〇400mm																																																																																																																																																																																										
	コンセント (和室)	床下～中心	200																																																																																																																																																																																											
	コンセント (台上)	床下～中心	150																																																																																																																																																																																											
	コンセント (WP)	床下～中心	1,000																																																																																																																																																																																											
	コンセント (地下)	床下～中心	1,000																																																																																																																																																																																											
	コンセント (土間)	床下～中心	500																																																																																																																																																																																											
	ブラケット (一般)	床下～中心	2,100～2,300																																																																																																																																																																																											
	ブラケット (鏡上)	鏡上端～中心	150																																																																																																																																																																																											
	ブラケット (処理場)	床下～中心	2,500																																																																																																																																																																																											
動力	壁掛制御盤	床下～中心	1,500	上端1,900mm																																																																																																																																																																																										
	手元開閉器	床下～中心	1,500																																																																																																																																																																																											
	操作スイッチ	床下～中心	1,300																																																																																																																																																																																											
	端子盤	床下～下端	300																																																																																																																																																																																											
電話	保安器盤	床下～中心	2,000																																																																																																																																																																																											
	壁位置ボックス	床下～中心	300																																																																																																																																																																																											
	壁位置ボックス (和室)	床下～中心	200																																																																																																																																																																																											
	壁位置ボックス (和室)	床下～中心	200																																																																																																																																																																																											
時計・拡声	壁掛型時計	床下～中心	1,500	上端1,900mm																																																																																																																																																																																										
	時計計	床下～中心	2,300																																																																																																																																																																																											
	壁掛型スピーカ	床下～中心	2,300	2,500mm																																																																																																																																																																																										
	アツチネータ	床下～中心	1,300																																																																																																																																																																																											
表示	表示器	床下～中心	2,300																																																																																																																																																																																											
	壁付発信器	床下～中心	1,300																																																																																																																																																																																											
	ベル・ブザー・チャイム	床下～中心	2,300																																																																																																																																																																																											
	表示灯 (身障者用)	床下～中心	1,800																																																																																																																																																																																											
インターホン	壁付インターホン	床下～中心	1,300																																																																																																																																																																																											
	壁位置ボックス (和室)	床下～中心	300																																																																																																																																																																																											
	壁位置ボックス (和室)	床下～中心	200																																																																																																																																																																																											
	子機 (身障者用)	床下～中心	1,100																																																																																																																																																																																											
テレビ	呼出しボタン (身障者用)	床下～中心	800～950	便座先端から後方100～200mm 2個目 (高700mm、便座先端から前方400mm)																																																																																																																																																																																										
	表示灯 (身障者用)	床下～中心	1,800																																																																																																																																																																																											
	機器収納箱	床下～中心	2,000																																																																																																																																																																																											
	直列ユニット	床下～中心	300																																																																																																																																																																																											
火災報知	直列ユニット (和室)	床下～中心	200																																																																																																																																																																																											
	受信機・副受信機	床下～中心	1,500																																																																																																																																																																																											
	発信器	床下～中心	1,300																																																																																																																																																																																											
	表示灯	床下～中心	1,800																																																																																																																																																																																											
	ベル	床下～中心	2,300																																																																																																																																																																																											

備 考	NISSHIN SEKKEI 日新設計株式会社	Job Title 津市立安東小学校給食受入施設改修工事	DATE	
	三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹	Drawing Title 電気設備特記仕様書 3	SCALE A2: NS	
	管理建築士 No. 265708 出口基樹	担当建築士 一級建築士 No. 265708 出口基樹	一級建築士 No. 265708 出口基樹	一級建築士 No. 327089 倉田和彦
	E-03			



凡例	
記号	名称
	FL40×1
	FL40×1 連結用
	ミラーライト
	片切×1
	天井埋込コンセント 2P15A×1
	片切×1
	定温式ｽﾍﾞｯﾄ型感知器 1種 防水形
	差動式ｽﾍﾞｯﾄ型感知器
	×印の器具は、撤去を示す
	取印の器具は、一時取外しを示す

图中記入なき撤去配線は下記とする
 × // × 2.0×2(19) 配管・配線共に撤去
 細点線表示の器具および配線は、既設再使用とする

平面詳細図1F 1/50

備考

NISSHIN
SEKKEI
日新設計株式会社
 三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

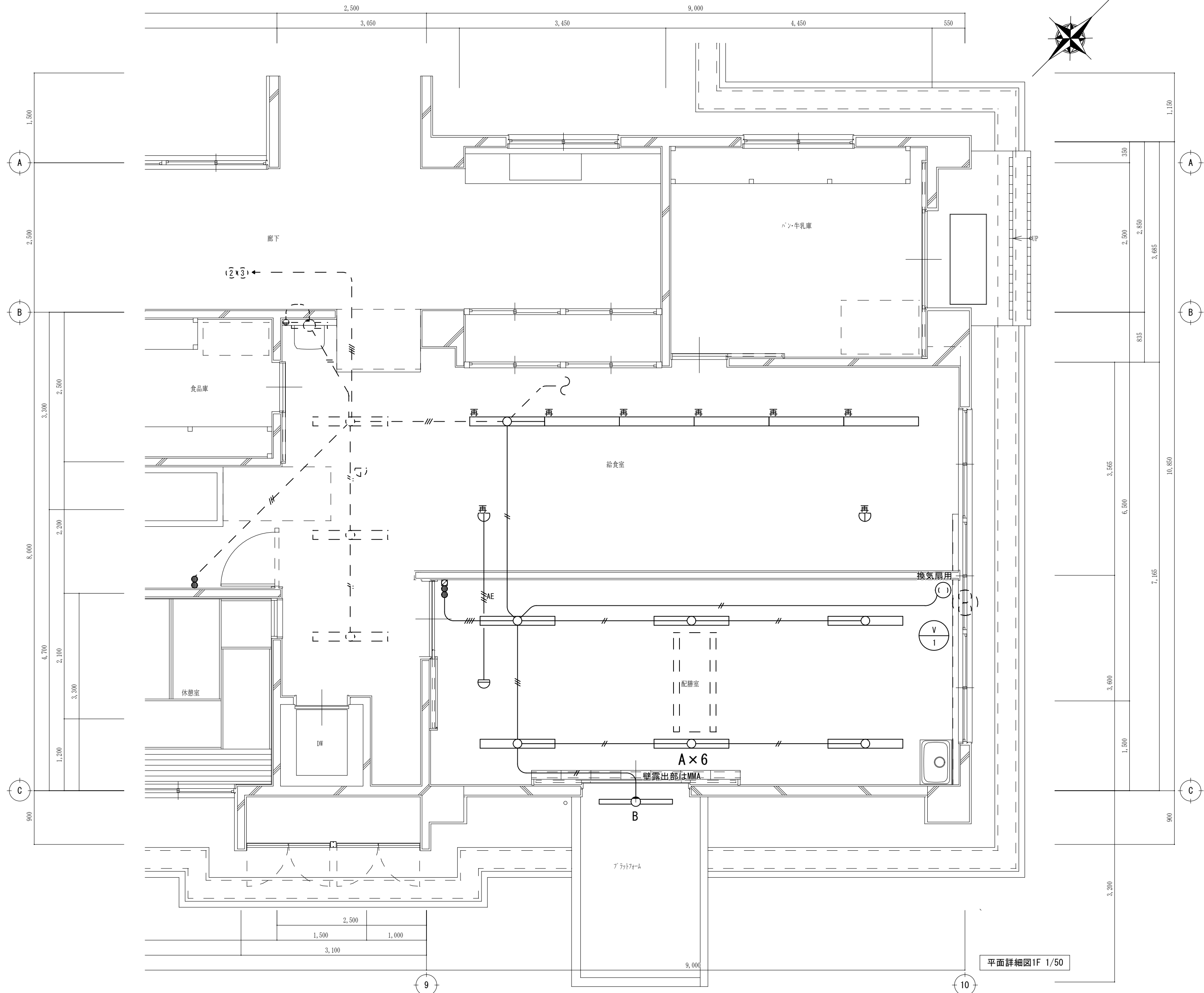
Job Title	津市立安東小学校給食受入施設改修工事			
Drawing Title	電灯設備・自動火災報知設備 1F平面図(改修前)			
管理建築士	担当建築士			
一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.215909 園分恵之	一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.327089 倉田和彦	

DATE	
SCALE	A2:1/50
	E-04

公共施設型番：LSS9-6800LM	
A	LED ^α -スライト Hf32W高出力×2器具相当
LBF3MP/RP-2600LM	
B	LEDウォールライト 防湿型・防雨型

凡例	記号	名称
		LED ^α -スライト
		LED ^α -スライト 連結用
		LEDウォールライト
		片切1P15A × 1
		換気扇スイッチ (機械設備工事)
		差動式スリット型感知器 2種
		定温式スリット型感知器 1種 防水形
		天井換気扇 (機械設備工事)
		抜止コンセント (2P15A × 1)

図中記入なき配線は下記とする	
電灯	VVF1.6-2C
	VVF1.6-3C
火報	AE1.2-2C
点線の器具および配線は、既設とする	
再 印の器具は、再取付けを示す	
壁内は、PF22にて保護とする	



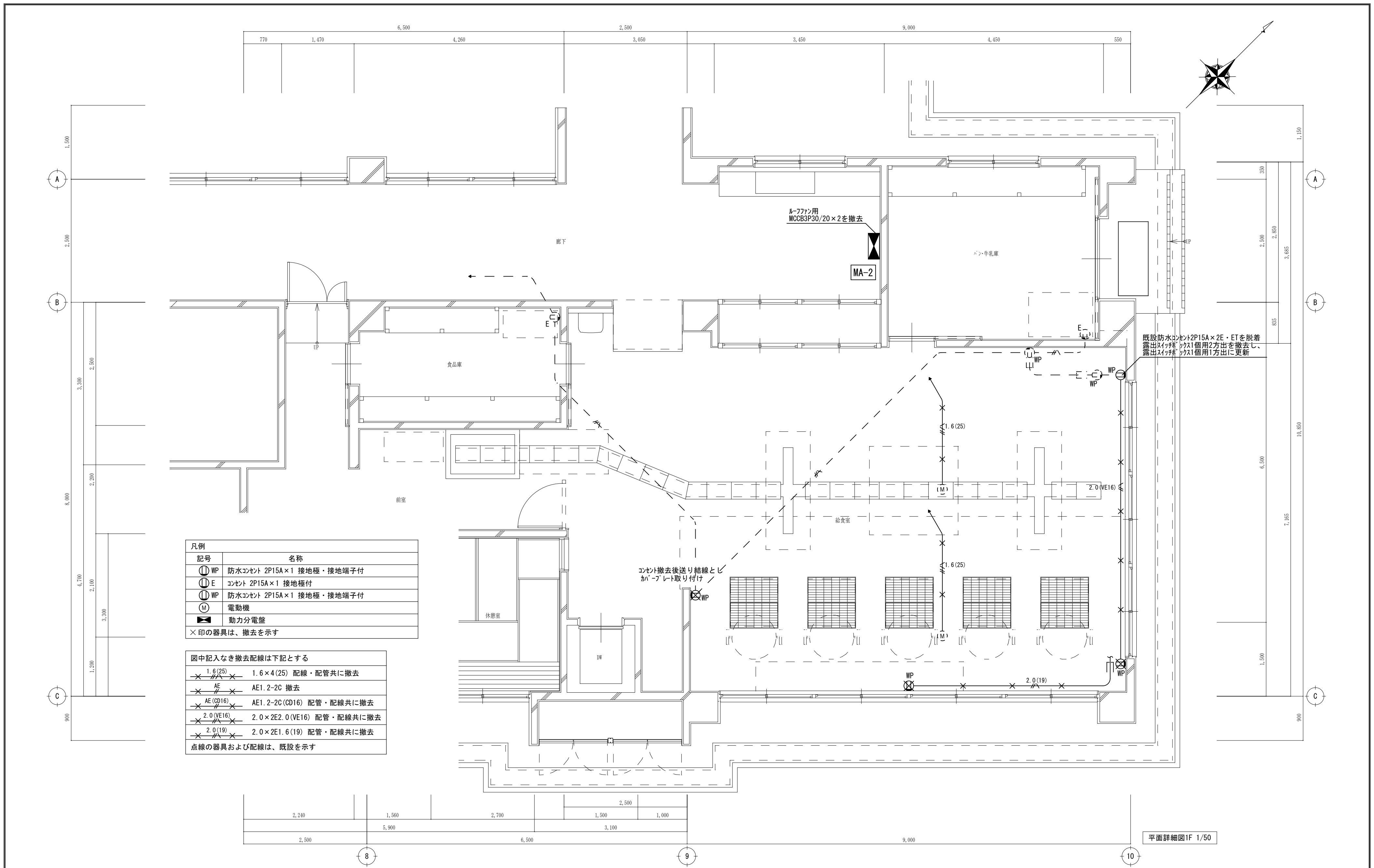
平面詳細図1F 1/50

備考	

NISSHIN
SEKKEI
日新設計株式会社
 三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

Job Title	津市立安東小学校給食受入施設改修工事			
Drawing Title	電灯設備・自動火災報知設備 1F平面図(改修後)			
管理建築士	担当建築士			
一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.215909 園分恵之	一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.327089 倉田和彦	

DATE	
SCALE	A2:1/50
	E-05



凡例	
記号	名称
WP	防水コンセント 2P15A×1 接地極付
E	コンセント 2P15A×1 接地極付
WP	防水コンセント 2P15A×1 接地極付
M	電動機
MA	動力分電盤
×印の器具は、撤去を示す	

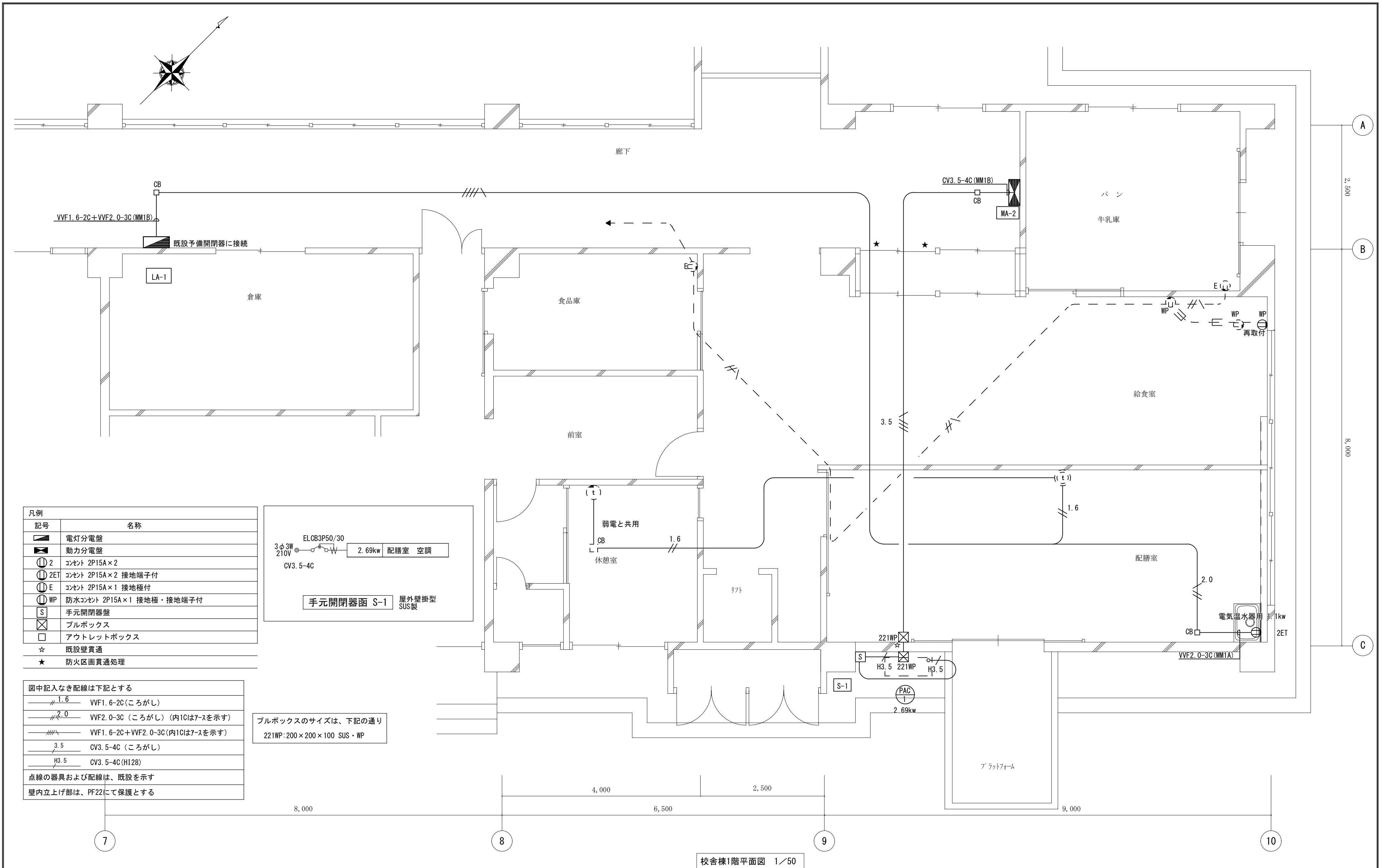
図中記入なき撤去配線は下記とする	
1.6(25)	1.6×4(25) 配線・配管共に撤去
AE	AE1.2-2C 撤去
AE(CD16)	AE1.2-2C(CD16) 配管・配線共に撤去
2.0(VE16)	2.0×2E2.0(VE16) 配管・配線共に撤去
2.0(19)	2.0×2E1.6(19) 配管・配線共に撤去
点線の器具および配線は、既設を示す	

平面詳細図1F 1/50

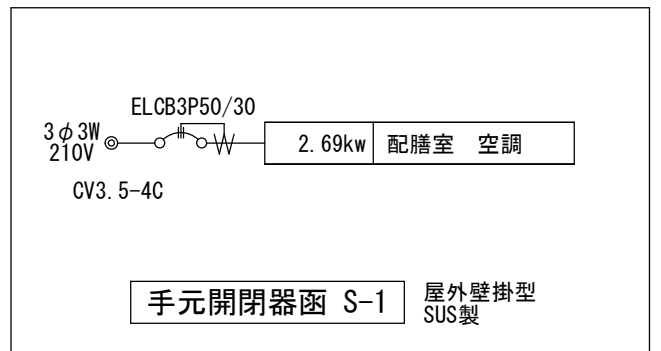
備考

NISSHIN
SEKKEI
日新設計株式会社
 三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

Job Title	DATE
津市立安東小学校給食受入施設改修工事	
Drawing Title	SCALE
コンセント・動力設備 1F平面図(改修前)	A2:1/50
管理建築士	担当建築士
一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.215909 園分恵之
一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.327089 倉田和彦
E-06	



凡例	記号	名称
	☐	電灯分電盤
	⬇	動力分電盤
	⊙ 2	コンセント 2P15A×2
	⊙ 2ET	コンセント 2P15A×2 接地端子付
	⊙ E	コンセント 2P15A×1 接地極付
	⊙ WP	防水コンセント 2P15A×1 接地極・接地端子付
	S	手元開閉器盤
	☒	ブルボックス
	☐	アウトレットボックス
	☆	既設壁貫通
	★	防火区画貫通処理



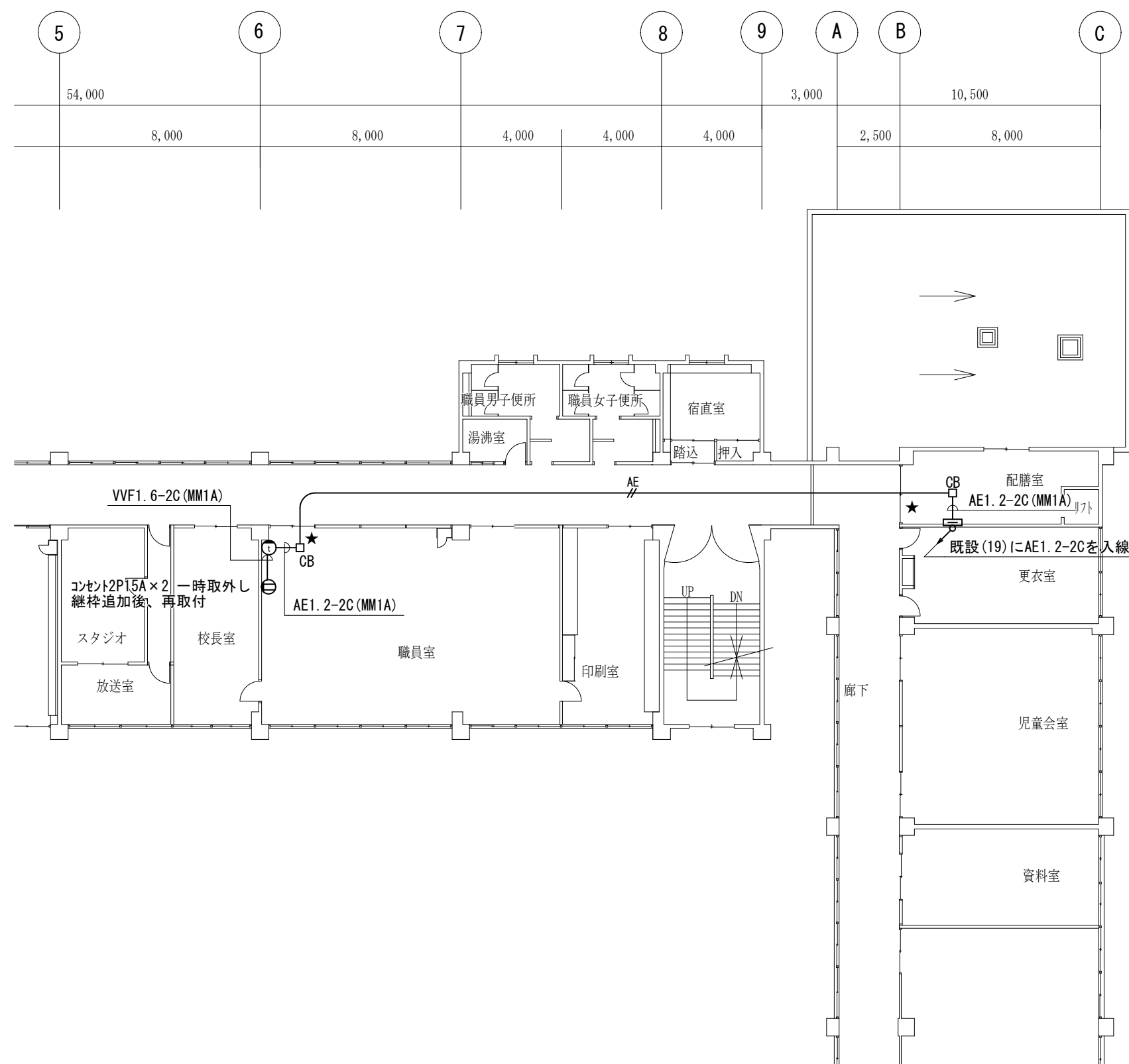
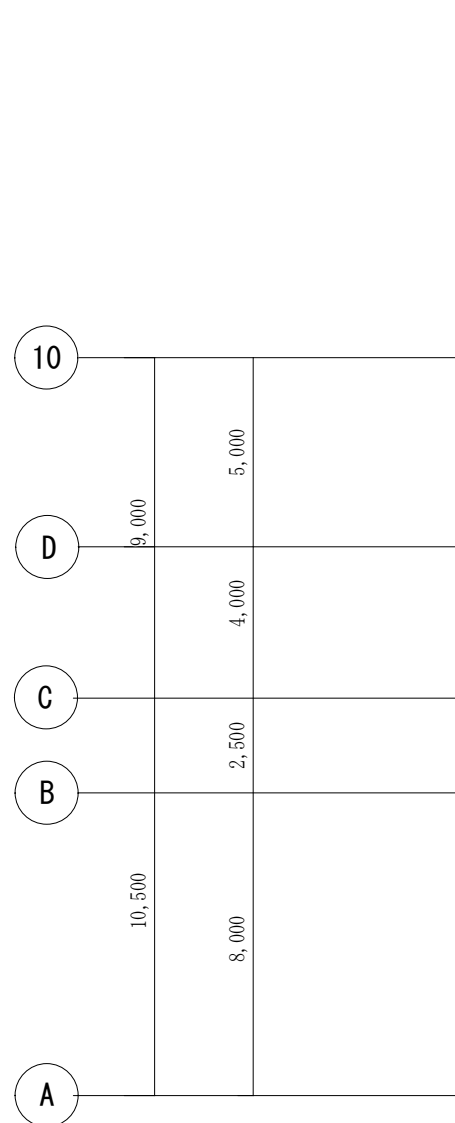
図中記入なき配線は下記とする	
1.6	WF1.6-2C (ころがし)
2.0	WF2.0-3C (ころがし) (内1Cは7-スを示す)
3.5	WF1.6-2C+WF2.0-3C (内1Cは7-スを示す)
3.5	CV3.5-4C (ころがし)
H3.5	CV3.5-4C (H128)

点線の器具および配線は、既設を示す
壁内立上げ部は、PF22にて保護とする

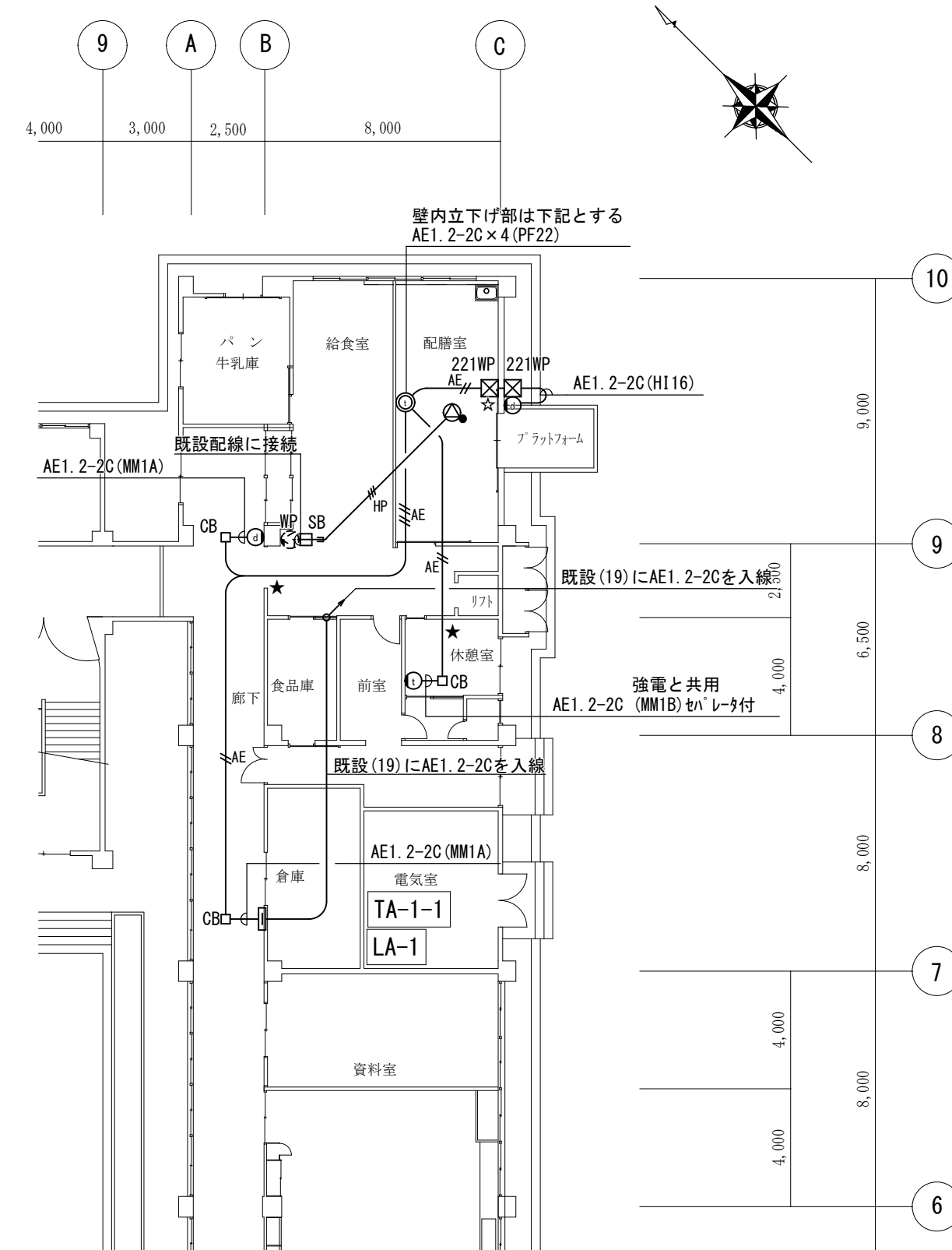
ブルボックスのサイズは、下記の通り
221WP: 200×200×100 SUS・WP

校舎棟1階平面図 1/50

備考	NISSHIN SEKKEI 日新設計株式会社 三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No.265708 出口基樹		Job Title 津市立安東小学校給食受入施設改修工事	DATE	
			Drawing Title コンセント・動力設備 1F平面図(改修後)	SCALE	
			管理建築士 一級建築士 No.265708 出口基樹	担当建築士 一級建築士 No.265708 出口基樹 一級建築士 No.327089 倉田和彦	A2:1/50
					E-07



2階平面図 1/200



1階平面図 1/200

<p>天井埋込スピーカ (ATT付) SC₀H₁-1V₃-M</p> <table border="1"> <tr><td>定格入力</td><td>5W(3.3kΩ)・1W(10kΩ)</td></tr> <tr><td>入力インピーダンス</td><td>3-3kΩ・10kΩ</td></tr> <tr><td>周波数特性</td><td>100Hz~15kHz</td></tr> <tr><td>出力音圧レベル</td><td>92dB (1m-1W)</td></tr> <tr><td>使用スピーカ</td><td>16cmコーンスピーカ</td></tr> <tr><td>パネル</td><td>アルミバッキング</td></tr> <tr><td>音量調整</td><td>付設 (ATT付)</td></tr> </table>	定格入力	5W(3.3kΩ)・1W(10kΩ)	入力インピーダンス	3-3kΩ・10kΩ	周波数特性	100Hz~15kHz	出力音圧レベル	92dB (1m-1W)	使用スピーカ	16cmコーンスピーカ	パネル	アルミバッキング	音量調整	付設 (ATT付)	<p>モニター付親機 1台</p> <p>参考型番: JH-2MAP-T</p> <table border="1"> <tr><td>電源電圧</td><td>AC100V 50/60Hz</td></tr> <tr><td>形状</td><td>壁取付型 (JIS1 専用スイッチボックス)</td></tr> <tr><td>材質</td><td>本体: 自己消火性樹脂・アクリルパネル部: 難燃性樹脂</td></tr> <tr><td>通話方式</td><td>拡声自動交差通話/プレストーク通話</td></tr> <tr><td>モニター</td><td>3.5型 TFTカラー液晶</td></tr> <tr><td>移動視点</td><td>無電圧マークまたはブレーク接触</td></tr> <tr><td>増設親機</td><td>モニター付またはモニター無し合計3台</td></tr> <tr><td>録音機能</td><td>自動・手動録音、再生、保護、消去</td></tr> </table>	電源電圧	AC100V 50/60Hz	形状	壁取付型 (JIS1 専用スイッチボックス)	材質	本体: 自己消火性樹脂・アクリルパネル部: 難燃性樹脂	通話方式	拡声自動交差通話/プレストーク通話	モニター	3.5型 TFTカラー液晶	移動視点	無電圧マークまたはブレーク接触	増設親機	モニター付またはモニター無し合計3台	録音機能	自動・手動録音、再生、保護、消去	<p>モニター付増設親機 2台</p> <p>参考型番: JH-2HD-T</p> <table border="1"> <tr><td>電源電圧</td><td>AC100V 50/60Hz</td></tr> <tr><td>形状</td><td>壁取付型 (JIS1 専用スイッチボックス)</td></tr> <tr><td>材質</td><td>本体: 自己消火性樹脂・アクリルパネル部: 難燃性樹脂</td></tr> <tr><td>通話方式</td><td>拡声自動交差通話/プレストーク通話</td></tr> <tr><td>モニター</td><td>3.5型 TFTカラー液晶</td></tr> </table>	電源電圧	AC100V 50/60Hz	形状	壁取付型 (JIS1 専用スイッチボックス)	材質	本体: 自己消火性樹脂・アクリルパネル部: 難燃性樹脂	通話方式	拡声自動交差通話/プレストーク通話	モニター	3.5型 TFTカラー液晶	<p>カメラ付き玄関子機 2台</p> <p>参考型番: JH-DA</p> <table border="1"> <tr><td>電源電圧</td><td>モニター付親機から供給</td></tr> <tr><td>形状</td><td>壁取付型 (JIS1 専用スイッチボックス)</td></tr> <tr><td>材質</td><td>自己消火性樹脂</td></tr> <tr><td>カメラ</td><td>1/4型カラーCMOS</td></tr> <tr><td>通話方式</td><td>拡声自動交差通話</td></tr> <tr><td>備考</td><td>防雨形 (JIS C 0920 1PX3 相当)</td></tr> </table>	電源電圧	モニター付親機から供給	形状	壁取付型 (JIS1 専用スイッチボックス)	材質	自己消火性樹脂	カメラ	1/4型カラーCMOS	通話方式	拡声自動交差通話	備考	防雨形 (JIS C 0920 1PX3 相当)
定格入力	5W(3.3kΩ)・1W(10kΩ)																																																						
入力インピーダンス	3-3kΩ・10kΩ																																																						
周波数特性	100Hz~15kHz																																																						
出力音圧レベル	92dB (1m-1W)																																																						
使用スピーカ	16cmコーンスピーカ																																																						
パネル	アルミバッキング																																																						
音量調整	付設 (ATT付)																																																						
電源電圧	AC100V 50/60Hz																																																						
形状	壁取付型 (JIS1 専用スイッチボックス)																																																						
材質	本体: 自己消火性樹脂・アクリルパネル部: 難燃性樹脂																																																						
通話方式	拡声自動交差通話/プレストーク通話																																																						
モニター	3.5型 TFTカラー液晶																																																						
移動視点	無電圧マークまたはブレーク接触																																																						
増設親機	モニター付またはモニター無し合計3台																																																						
録音機能	自動・手動録音、再生、保護、消去																																																						
電源電圧	AC100V 50/60Hz																																																						
形状	壁取付型 (JIS1 専用スイッチボックス)																																																						
材質	本体: 自己消火性樹脂・アクリルパネル部: 難燃性樹脂																																																						
通話方式	拡声自動交差通話/プレストーク通話																																																						
モニター	3.5型 TFTカラー液晶																																																						
電源電圧	モニター付親機から供給																																																						
形状	壁取付型 (JIS1 専用スイッチボックス)																																																						
材質	自己消火性樹脂																																																						
カメラ	1/4型カラーCMOS																																																						
通話方式	拡声自動交差通話																																																						
備考	防雨形 (JIS C 0920 1PX3 相当)																																																						

ブルボックスサイズは、下記の通り
221WP: 200×200×100 SUS・WP

図中記入なき配線は下記とする
 AE AE1.2-2C
 AE AE1.2-2C×2
 HP HP1.2-3C (ころがし)
 点線の器具および配線は、既設を示す

記号	名称
☐	端子盤
◎	モニター付親機
○	モニター付増設親機
⊙	カメラ付き玄関子機
☒	ブルボックス
☐CB	コーナボックス
☆	既設壁貫通
★	防火区画貫通処理
⊙	天井埋込スピーカ ATT付
⊙WP	壁掛スピーカ 防滴形
☐SB	スイッチボックス

職 業 者 印			

NISSHIN
SEKKEI
日新設計株式会社
 三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No.265708 出口基樹

Job Title	津市立安東小学校給食受入施設改修工事				DATE
Drawing Title	弱電設備 1F・2F平面図(改修後)				SCALE
管理建築士					A2:1/200
一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.215909 園分恵之	一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.327089 倉田和彦		E-08

機械設備工事特記仕様書		(11) 発生材の処理等 ■ 建築工事に準じる 1) 引渡しを要するもの () 上記以外の引き渡しを要するものについては別途、監督員が指示する。 2) 特別管理産業廃棄物 () 処理方法 () 3) 現場内において再利用を図るもの □発生土 □その他 () 4) 再資源化を図るもの (□コンクリート塊 □アスファルトコンクリート塊 □建設発生木材) 5) 発注者へ引き渡すものについては「現場発生品調書」を提出すること。また再利用を図るものについても調書を作成し、監督員へ提出すること。 6) 引渡しを要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切処理し、監督員に報告すること。(マナハ、B2、D票を提示すること。) (12) 電気保安技術者 □ 適用する ■ 適用しない (13) 施工条件 監督員及び依頼部局と協議調整し決定すること。 1) 施工可能日 (□ 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり ■ 指定なし) () 2) 施工可能時間帯 ■ 指定なし □ 指定あり (時 ~ 時) (14) 概成工期 建築物等の使用を想定して総合試運転調整を行ううえで、関連工事を含めた各工事が支障のない状態で完了していること。 ■ 指定なし □ 指定あり (平成 年 月 日) (15) 仮設工事 構内既存の施設 ■ 建築工事に準じる 1) 便所 □ 利用できる □ 利用できない 2) 工事用水 □ 利用できる (有償) □ 利用できる (無償) □ 利用できない 3) 工事用電力 □ 利用できる (有償) □ 利用できる (無償) □ 利用できない ※ 本工事で新規受電または既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金とは本工事に含まれる。 (16) 足場 ■ 建築工事に準じる 1) 内部足場 □ 脚立 □ 足場板 2) 外部足場 □ A種 □ B種 □ C種 □ D種 □ E種 □ F種 3) 防護シートによる養生 □ 適用する □ 適用しない ※設置する足場については、「手すり先工法等に関するガイドライン」(厚生労働省平成21年4月)により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先専用足場方式により行うこと。 (17) 建築材料等 1) 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とするほか別記記載の指定資材及び参考見積メーカー又はこれらと同等品以上とする。 品質が求められる水準以上であれば、市内生産品の優先使用に努めること。 2) 本工事で使用する建設資材の調達にあたっては、極力市内の取り扱い業者から購入するよう努めること。 3) 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用すること。ただし認定製品が入手できない場合は、監督員と別途協議を行うこと。 (認定製品の品名：) 4) 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するように努めること。 (認定製品の品名： 関係材製工用バリエード 関係材工事看板 関係材表示板) (18) 建設副産物 1) 請負額1億円以上の工事について、再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合、受注者は工事の着手までに「再生資源利用計画書」(建設資材を搬入する場合)及び「再生資源利用促進計画書」(建設副産物を搬出する場合)を施工計画書に綴じ込んで監督員に提出する。 また、工事が変更又は完了した場合には「再生資源利用実施書」(建設資材を搬出した場合)及び「再生資源利用促進実施書」(建設副産物を搬出した場合)を作成し、監督員に提出する。 なお、計画書及び実施書の提出とともにJACI Cが運営する「建築副産物情報交換システム」へのデータ入力も併せて行う。 2) 請負額1億円以上の工事について、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」に従い、再資源化等が完了した後に報告書を提出すること。 (19) 三重県産業廃棄物税 本工事は産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表(マニフェストの数量の集計)を超えて請求することはできない。 (20) 事故の発生時 工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員へ通報するとともに、所定の様式により事故発生報告書を監督員が指示する期日までに監督員へ提出すること。 なお、事故発生後の措置について、監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。 (21) 既設との取合い・養生 本工事施工に伴う、既存設備の軽微な加工・改造は、本工事とする。 また、工事施工の際し、既存部分を汚損・破損等しないよう養生を行うこと。なお汚損・破損等した場合は、機能・仕上げ共、既設にない限り復旧すること。 (22) 不正軽油の使用の禁止 1) 一般事項 工事の施工に当たり、工事現場で使用し、又は使用される車両(資機材等の搬入車両を含む。)並びに建設機械等の燃料として、不正軽油(地方税法第144条の32(製造等の承認を受ける義務等)の規定に違反する燃料をいう。)を使用してはならない。 2) 調査の協力 受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は下請負者等に同調査を協力するよう管理及び監督しなければならない。 3) 是正措置 受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。	(23) その他 1) 使用機械 低騒音型、低振動型の建設機械の使用に努めること。 2) 測定機器の校正記録 工で使用する測定機器に対しては適正に校正した器具を使用しなければならない。 測定に先立ち使用する測定機器の検査済証(写し)又は校正記録(写し)を監督員に提示すること。 3) フロン回収及び充填 当該工事を施工するに当たって施工時にフロンの充填、回収作業を行う場合は、フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(平成27年4月1日施行)等の関係法令を遵守し、第1種フロン類充填回収登録業者が行うこと。	6 工事種目 給排水衛生設備工事 □ 屋外給水設備工事 ■ 屋内給水設備工事 □ 屋外排水設備工事 ■ 屋内排水通気設備工事 ■ 衛生器具設備工事 □ 消火設備工事 □ 給湯設備工事 □ 屋外ガス設備工事 □ 屋内ガス設備工事 □ 浄化槽設備工事 □ 厨房機器設備 空調設備工事 ■ 機器設備工事 ■ 換気設備工事 7 工事概要 給排水衛生設備工事 (1) 給水設備工事 本工事は図示のごくを工事範囲とし、直圧式により所要の各所に給水する。直圧部の弁類は、水道局規格品JIS 10Kを使用する。 (2) 屋内排水通気設備工事 本工事は汚水、雑排水を合流式により屋外樹に接続放流する。 (3) 衛生器具設備工事 衛生器具を所定の位置に附属金具により堅固に取り付けるものとし、陶器の色は監督員と協議の上決定する。 空調設備工事 (1) 機器設備工事 本工事は、空冷ヒートポンプパッケージエアコンにより冷暖房をおこなうものとする。 各機器の据付・試運転調整を含めて機器設備工事とする。 空調設備工事に於ける外気、室内の温湿度条件 表 外気条件 夏期 34.5 27.3 57.6 冬期 1.7 -1.3 49.6 室内条件 夏期 26 - 成行き 冬期 22 - 成行き	9 工事細目 (1) 配管材料 部分的に配管種類を変更する場合は、図面に明記すること。 ■ 給水管 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWMA K116 (一般:SGP-VB 地中:SGP-VU) □ フランジ付硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 011 (一般:SGP-FVA、FVB 地中:SGP-FVD) ※ 継ぎ手はコア内蔵型とする。 ※ 給水管100Aはねじ又はフランジ接合、125A以上はフランジ接合(ねじ加工)とする。 □ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6742 (一般:地中: H1VP) □ 水道配水ポリエチレン管 JWMA K 144 (地中:PE) □ 水道用ステンレス鋼鋼管 JWMA G 115 □ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 JIS G 3448 ※ 地中埋設管は、取出し位置の乱面又はSL.FL面より+100立ち上げた所までとする。 ■ 雑排水管 □ 配管用炭素鋼鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) ※ 継ぎ手はドレネジ継ぎ手又は、M D継ぎ手を使用(地中・コンクリート埋設は防食テープ2重巻き) ■ 土間・一般: 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 (VP・VU) ■ 土間: リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 9798 (RF-VP) ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。 □ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741(硬質塩化ビニル管VP)又はJIS K 9798(リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管RF-VP)規格品に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。 ■ 通気管 □ 配管用炭素鋼鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) ※ 継ぎ手はドレネジ継ぎ手又は、M D継ぎ手を使用(地中・コンクリート埋設は防食テープ2重巻き) □ 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 (VP・VU) □ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 9798 (RF-VP) ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。 RF-VPは屋外露出不可 □ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741(硬質塩化ビニル管VP)又はJIS K 9798(リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管RF-VP)規格品に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。 □ 汚水管 □ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 042 ※ 同上M D継ぎ手 JPF MDJ 002 ■ 土間・一般: 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 (VP・VU) ■ 土間: リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 9798 (RF-VP) ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。 □ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741(硬質塩化ビニル管VP)又はJIS K 9798(リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管RF-VP)規格品に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。 □ 鉛管 □ 排水・通気用鉛管 SHASE-S203 □ 給湯管 □ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWMA K 140 (一般:SGP-HVA 地中:WH1LP 内外耐熱性硬質塩化ビニル管) □ 水道用ステンレス鋼鋼管 JWMA G 115 □ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 JIS G 3448 □ ガス管 □ 配管用炭素鋼鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) □ 土間: 塩化ビニル被覆鋼管(黒) □ ガス用ポリエチレン管 JIS K 6774 (地中:PE) ※ 地中埋設鋼管は、取出し位置の乱面又はSL.FL面より+100立ち上げた所までとする。 □ ガス事業者の供給規定に準じる。 □ 消火管 □ 配管用炭素鋼鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) □ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管(白) WSP041 (SGP-VS) ※ 地中埋設管VSは、取出し位置の乱面又はSL.FL面より+100立ち上げた所までとする。 □ 屋外埋設排水 □ 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 (VP・VU) □ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 9798 (RF-VP) □ 排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管 AS-58 (RE P-VU) □ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 9797 (RS-VU) ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。 □ コンクリート管 JIS A 5372 (プレキャスト鉄筋コンクリート製品)(1期水路用適力鉄筋コンクリート管) □ 冷水水管 □ 配管用炭素鋼鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) □ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWMA K 140 (一般:SGP-HVA) □ 冷却水管 □ 配管用炭素鋼鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) □ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWMA K116 (一般:SGP-VA、VB) □ フランジ付硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 011 (一般:SGP-FVA、FVB) ■ ドレノ管 □ 配管用炭素鋼鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) □ 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 (VP・VU) ■ 保温層付硬質ポリ塩化ビニル管 □ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 9798 (RF-VP) ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。 RF-VPは屋外露出不可。 □ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741(硬質塩化ビニル管VP)又はJIS K 9798(リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管RF-VP)規格品に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。 ■ 冷媒管 □ 鋼及び銅合金無目管 硬質、軟質または半硬質 JIS H3300 ■ 断熱材被覆鋼管 原管はJIS H3300による。製造者標準品。ただし、保温層は ガス管 20mm、液管 10mm(液管の呼び径が9.52mm以下の断熱厚さは3mmとしてよい)とする。 ※ 冷媒用鋼管の内厚は、冷凍保安規則関係基準の規定による。 □ 油管 □ 配管用炭素鋼鋼管(黒) JIS G 3452 溶接接合 □ 蒸気管 □ 配管用炭素鋼鋼管(黒) JIS G 3452 □ プライン管 □ 配管用炭素鋼鋼管(黒) JIS G 3452 ※ 弁類 揚水ポンプ(二次側)、消火ポンプ(二次側)、水道直圧部は 10Kとし、それ以外は 5K とする。 塩化ビニル管に使用する際は、管端防食コア付き、又はライニング弁を使用すること。
		NISSHIN SEKKEI 目新設計株式会社 三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No.265708 出口基樹		job Title 津市立安東小学校給食受入れ施設改修工事 DATE Drawing Title 機械設備 特記仕様書-1 SCALE A2:NS A3:NS 管理棟建築士 担当建築士 一級建築士 No.265708 一級建築士 No.265708 一級建築士 No.265708 一級建築士 No.265708 出口基樹 関分孝之 出口基樹 倉柳和彦 M-01 (原図:A2)	

図示記号

記号	名称
———	給水管
- - - - -	通気管
———	排水管
——— ———	給湯管
——— G ———	ガス管
——— R ———	冷媒管
——— D ———	ドレン管
———	換気ダクト
⊕	給水栓
●	給湯栓
♀ ♂ ⊗	弁類
⊕+	ガスコック
▽	ヒューズコック
⊖	床上掃除口
⊗	排水金物

衛生器具表

名称	参考品番	付属品	給入室	配膳室	合計
混合水栓	TKS05311J	壁付シングルレバー		1	1
	SF-WM435SY				
横水栓	T200SNR13C	呼び径 13mm	1		1
	LF-7R-13	呼び径 13mm			
電気温水器 (飲料・洗い物用)	REKB12A12	貯湯量：12L 電源：AC100V 消費電力：1.1KW		1	1
	EHPN-KA12ECV2	付属品：ウイクリータイマー 自動給排水 開放式排水ホッパー アンクル止水栓 他一式			
流し台	建築工事			(1)	(1)

備考	

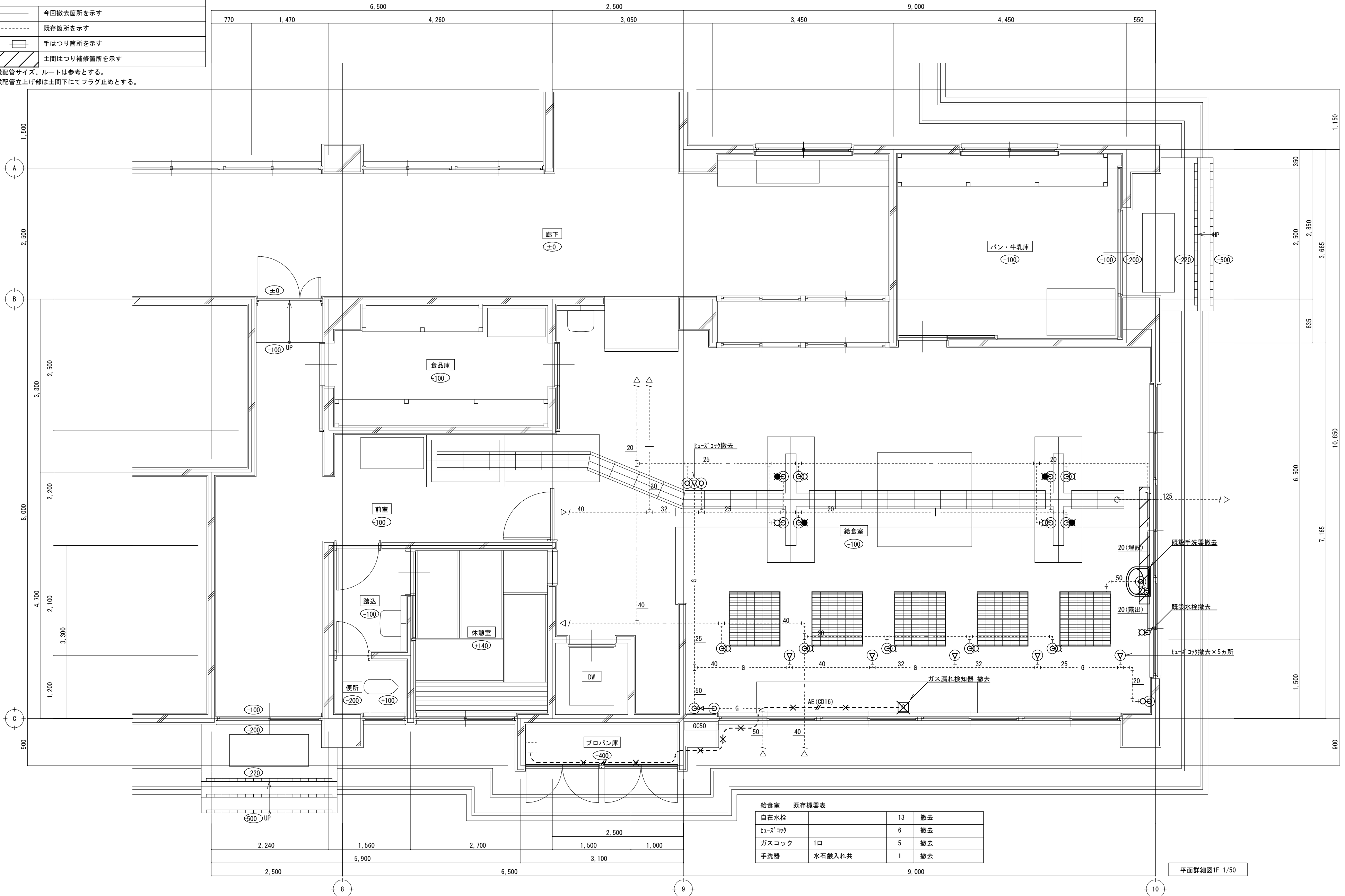
NISSHIN
SEKKEI
日新設計株式会社
三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

Job Title 津市立安東小学校給食受入施設改修工事		DATE	
Drawing Title 図示記号・衛生器具表		SCALE	
		A2: NS A3: NS	
管理建築士	担当建築士	一級建築士	一級建築士
No. 265708 出口基樹	No. 215909 関分孝之	No. 265708 出口基樹	No. 327089 倉田和彦

M-03
 (原図：A2)

凡例	今回撤去箇所を示す
	既存箇所を示す
	手はつり箇所を示す
	土間はつり補修箇所を示す

注記) 既設配管サイズ、ルートは参考とする。
既設配管立上げ部は土間下にてプラグ止めとする。



機器名	数量	処置
自在水栓	13	撤去
たゞしコック	6	撤去
ガスコック 1口	5	撤去
手洗器 水石鹸入れ共	1	撤去

平面詳細図 1F 1/50

審 査	

**NISSHIN
SEKKEI**
日新設計株式会社

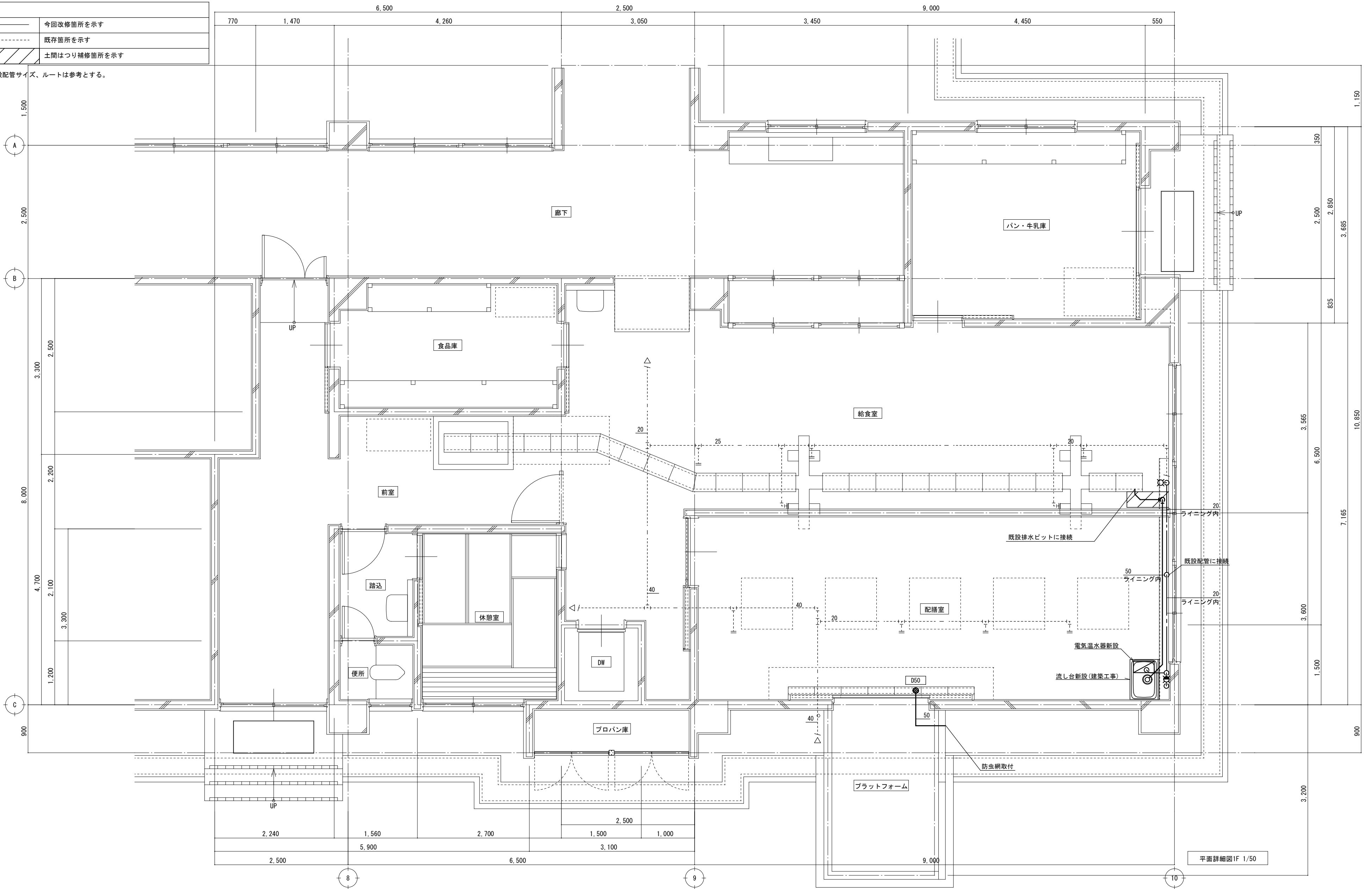
三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

Job Title	津市立安東小学校給食受入施設改修工事	DATE	
Drawing Title	平面詳細図 1F (改修前) 給排水衛生設備	SCALE	A2:1/50 A3:1/70
管理建築士		担当建築士	
一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.215909 関分孝之	一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.327089 倉田和彦

M-04
(原図: A2)

凡例	今回改修箇所を示す
	既存箇所を示す
	土間はつり補修箇所を示す

注記) 既設配管サイズ、ルートは参考とする。



平面詳細図1F 1/50

階 号	

**NISSHIN
SEKKEI**
日新設計株式会社
三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

Job Title	津市立安東小学校給食受入施設改修工事
Drawing Title	平面詳細図1F(改修後) 給排水衛生設備
管理建築士	担当建築士
一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.215909 関分孝之 一級建築士 No.265708 出口基樹 一級建築士 No.327089 倉田和彦

DATE	
SCALE	A2:1/50 A3:1/70
	M-05 (原図: A2)

空調機器表 形式：空冷ヒートポンプ式

機器番号	機器名称	形式・仕様	電気容量			台数	設置場所及び備考
			電源	圧縮機	消費電力		
			(V)	(KW)	(KW)		
PAC-1	パッケージエアコン	形式 天井カセット形 2方向	3-200	1.85	冷 2.59	1	配膳室
		冷房能力 10.0(2.5~11.2) kW			暖 2.69		
		暖房能力 11.2(2.8~14.0) kW			低温 4.18		
		付属品 化粧パネル、ワイドリモコン、防護ネット、他一式共					室外機転倒防止金物支持
		基礎 既成コンクリート基礎（防振ゴム敷）					
注記	運転特性、能力はJIS条件による。電源容量値は参考とする。 空調機トッランナー基準改定仕様とする。冷媒ガスはオゾン破壊係数ゼロとする。 室外機—室内機間の二次側配線は冷媒管と抱き合わせの上本工事とする。 リモコン配線共本工事とする。室外機・室内機共耐震振れ止め、転倒防止を施す事。 機器は同等品以上とする。 機器の製作仕様は国土交通省仕様とする。但し該当しない機器については製造者標準仕様とする。						

換気機器表

機器番号	機器名称 参考型番	形式・仕様	電気容量		台数	設置場所及び備考
			電源	送風機		
			(φ-V)	(W)		
V-1	換気扇	形式 低騒音形	1-100	18.0	1	配膳室
	EX-20SC3-S	風量 460 m3/h				
		付属品 SUS深形フード(防鳥網)、電源スイッチ 他一式共				
0A-1	給排気グリル	形式 壁付形(フィルター付き)200φ			1	配膳室
		付属品 SUS深形フード(防虫網) 他一式共				
注記	消費電力は参考とする					

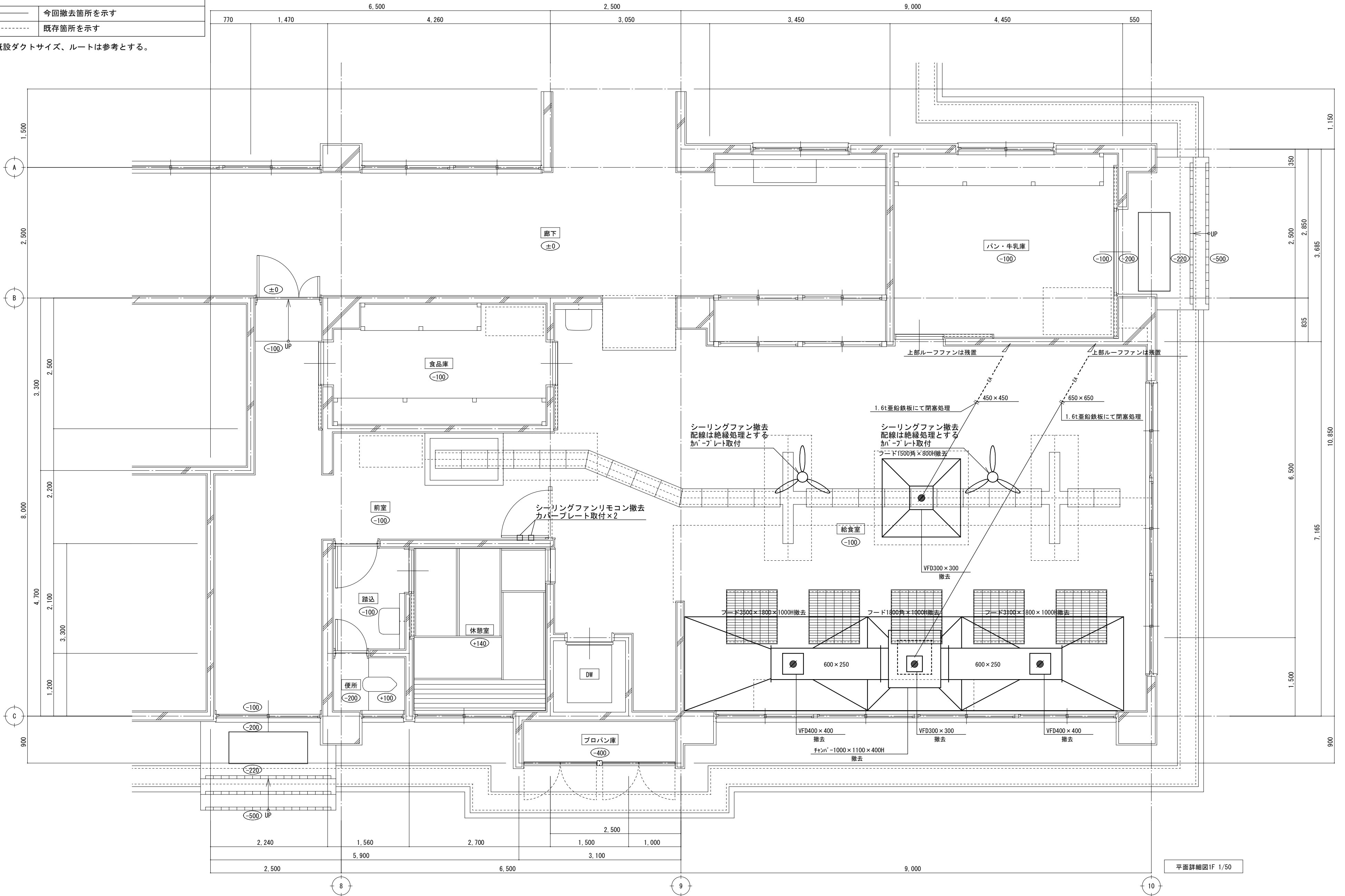
備考	

NISSHIN
SEKKEI
日新設計株式会社
三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No.265708 出口基樹

Job Title	津市立安東小学校給食受入施設改修工事	DATE
Drawing Title	空調機器表・換気機器表	SCALE
管理建築士	担当建築士	A2: NS A3: NS
一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.215909 関分憲之 一級建築士 No.265708 出口基樹 一級建築士 No.327089 倉田和彦	M-06 (原図: A2)

凡例	
——	今回撤去箇所を示す
-----	既存箇所を示す

注記) 既設ダクトサイズ、ルートは参考とする。



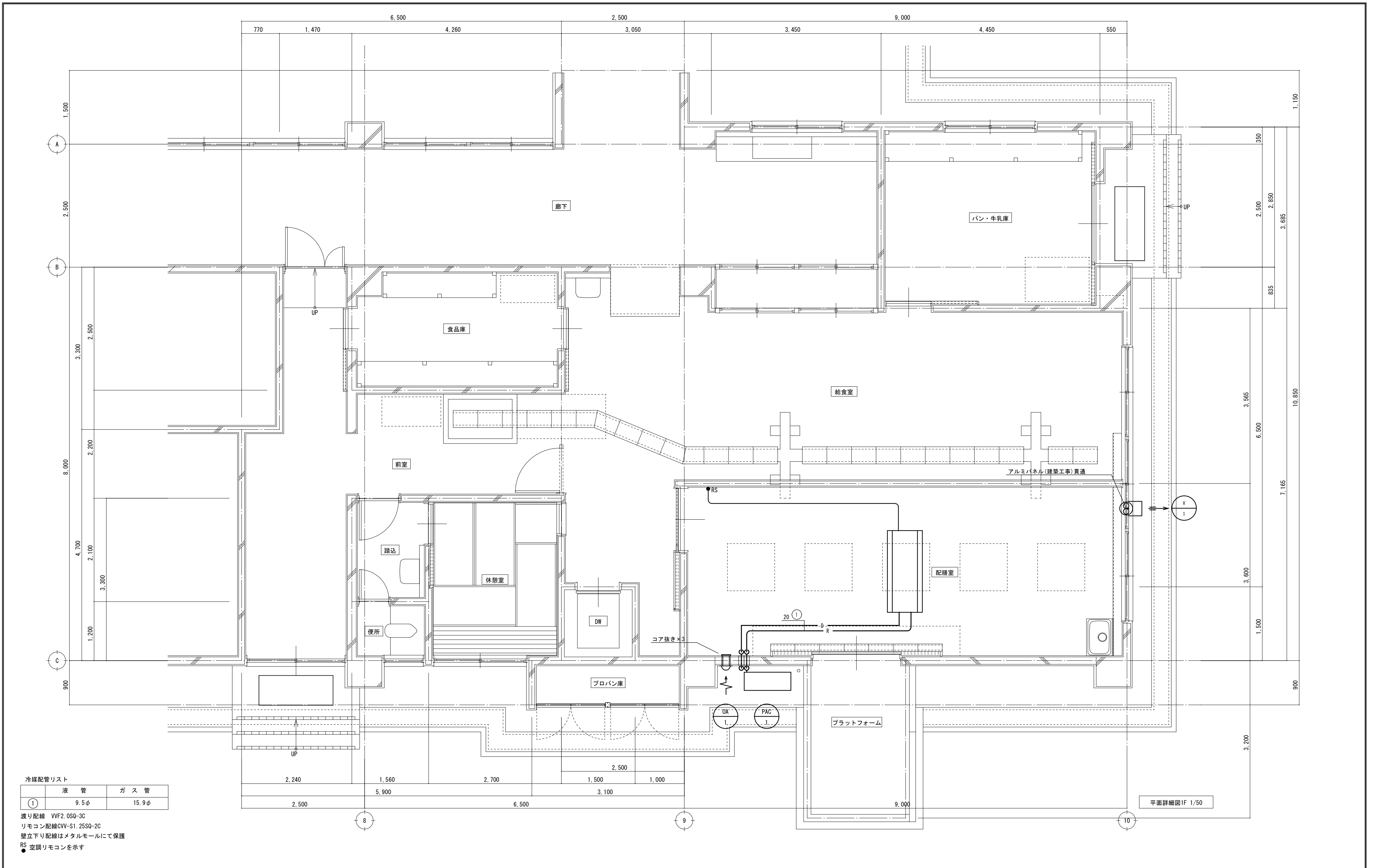
平面詳細図1F 1/50

備考 	

NISSHIN
SEKKEI
日新設計株式会社
三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No. 265708 出口基樹

Job Title	津市立安東小学校給食受入施設改修工事
Drawing Title	平面詳細図1F(改修前) 空調換気設備
管理建築士	担当建築士
一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.215909 関分孝之 一級建築士 No.265708 出口基樹 一級建築士 No.327089 倉田和彦

DATE	
SCALE	A2:1/50 A3:1/70
M-07 (原図:A2)	



冷媒配管リスト

	液管	ガス管
①	9.5φ	15.9φ

渡り配線 VVF2.0S0-3C
 リモコン配線CVV-S1.25S0-2C
 壁立下り配線はメタルモールにて保護
 RS 空調リモコンを示す

備考	

NISSHIN
SEKKEI
日新設計株式会社
三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No.265708 出口基樹

Job Title	津市立安東小学校給食受入施設改修工事	DATE	
Drawing Title	平面詳細図1F(改修後) 空調換気設備	SCALE	A2:1/50 A3:1/70
管理棟築士		担当建築士	
一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.215909 関分孝之	一級建築士 No.265708 出口基樹	一級建築士 No.327089 倉田和彦
			M-08 (原図: A2)